

(受教支7-1) Ujiふれあい教室改修工事

図面リスト					
A-01	表紙・図面リスト	—	M-01	機械設備工事 特記仕様書 - 1	—
A-02	共通特記仕様書	—	M-02	機械設備工事 特記仕様書 - 2	—
A-03	建築改修工事特記仕様書	—	M-03	凡例 保温・塗装の種別他	—
A-04	付近見取図、配置図、仮設計画図	1/300 1/2500	M-04	配置図	1/200
A-05	現況平面図、天井伏図、仕上表	1/100	M-05	衛生器具表 系統図	—
A-06	現況便所平面図、展開図	1/50	M-06	1・2階改修平面図 換気改修平面図	1/100
A-07	現況断面詳細図	1/30	M-07	1・2階改修便所平面詳細図	1/30
A-08	現況・改修断面詳細図	1/30	M-08	1・2階撤去平面図 換気撤去平面図	1/100
A-09	改修平面詳細図	1/30	M-09	1・2階撤去便所平面図	1/50
A-10	既存便器・配管ふさぎ詳細図	1/30			
A-11	改修展開図・天井伏図(1階)	1/50	E-01	電気設備工事 特記仕様書 - 1	—
A-12	改修展開図・天井伏図(2階)	1/50	E-02	電気設備工事 特記仕様書 - 2	—
A-13	排水、外構詳細図	図示	E-03	分電盤結線図	—
A-14	スロープ手すり詳細図	1/20 1/100	E-04	照明器具姿図	—
A-15	1階 男・女子便所 トイレブース平面図	1/2 1/20	E-05	改修前電灯設備 平面図	1/100
A-16	2階 男・女子便所 トイレブース平面図	1/2 1/20	E-06	改修前コンセント設備 平面図	1/100
A-17	トイレブース展開図	1/30	E-07	改修前弱電設備 平面図	1/100
A-18	トイレブース詳細図	1/2	E-08	改修前自動火災報知設備 平面図	1/100
A-19	建具詳細図(参考図) LSD-1	1/2 1/30	E-09	改修後電灯設備 平面図	1/100
A-20	建具詳細図(参考図) LSD-2	1/4 1/30	E-10	改修後コンセント設備 平面図	1/100
A-21	建具断面詳細図(参考図) LSD-2	1/3	E-11	改修後弱電設備 平面図	1/100
			E-12	改修後自動火災報知設備 平面図	1/100

建築改修工事 特記仕様書

- 【4】 工事仕様
 1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修仕様」のほか別記の適用基準による。
 2.項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
 3.特記事項は、 印の付いたものを適用する。 印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。
 4.項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「改修仕様」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項 目 特 記 事 項

② 土・鉄筋・コンクリート工事	3 鉄筋の種類 (5.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">異形鉄筋</td> <td>○ S D 2 9 5 A</td> <td>D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S D 3 4 5</td> <td>D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類	種類の記号	径 (mm)	備 考	異形鉄筋	○ S D 2 9 5 A	D 1 6 以下		S D 3 4 5	D 1 9 以上																					
	種類	種類の記号	径 (mm)	備 考																													
	異形鉄筋	○ S D 2 9 5 A	D 1 6 以下																														
		S D 3 4 5	D 1 9 以上																														
	④溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 150 x 150 鉄線の径 6 mm																															
	⑤コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート (表6.2.1)																															
	⑥コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">設計基準強度 (F_c)</th> </tr> <tr> <th>打 設 部 位</th> <th>F_c (N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造体</td> <td>基礎</td> <td>2 4</td> <td>1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>上部</td> <td>2 4 ○ 2 1</td> <td>○ 1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>床コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>2 1</td> <td>1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート</td> <td>1 8</td> <td></td> <td>1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>○ 2 1</td> <td></td> <td>2 1 1 8</td> </tr> <tr> <td>無筋コンクリート</td> <td>1 8</td> <td></td> <td>1 5 1 8 標仕6.14.1による</td> </tr> </table> <p>構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { F_c + 構造体強度補正值 (S) } N/mm² (6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)</p>	設計基準強度 (F _c)				打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考	構造体	基礎	2 4	1 5 1 8	上部	2 4 ○ 2 1	○ 1 5 1 8	床コンクリート	1 8	2 1	1 5 1 8	捨コンクリート	1 8		1 5 1 8	軽量コンクリート	○ 2 1		2 1 1 8	無筋コンクリート	1 8		1 5 1 8 標仕6.14.1による
	設計基準強度 (F _c)																																
	打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考																													
	構造体	基礎	2 4	1 5 1 8																													
上部		2 4 ○ 2 1	○ 1 5 1 8																														
床コンクリート	1 8	2 1	1 5 1 8																														
捨コンクリート	1 8		1 5 1 8																														
軽量コンクリート	○ 2 1		2 1 1 8																														
無筋コンクリート	1 8		1 5 1 8 標仕6.14.1による																														
⑦セメントの類別 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 高炉セメント B 種 (適用箇所 _____) シリカセメント フライアッシュセメント B 種 (施工箇所 _____)																																
8 骨材 (6.3.1)	粗骨材 砂利 (JIS A5308), 砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材 H 細骨材 砂 (JIS A5308), 砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材 H																																
9 混和材料 (6.3.1)	アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) 混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の 種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)																																
⑩構造体強度補正值 (6.3.2)	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">気温による構造体強度補正值 (S)</th> </tr> <tr> <th>予想平均気温 (°C)</th> <th>補正值 (S)</th> <th colspan="2">期 間 (打 設 日)</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>早強</td> <td>南部地域</td> <td>中部地域 北部地域</td> </tr> <tr> <td>8以上</td> <td>5以上</td> <td>3</td> <td>3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>N/mm²</td> <td>9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31</td> </tr> <tr> <td>0以上</td> <td>0以上</td> <td>6</td> <td>11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満</td> <td>5未満</td> <td>N/mm²</td> <td></td> </tr> </table> <p>南部地域 (京都市 (一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)</p>	気温による構造体強度補正值 (S)				予想平均気温 (°C)	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)		普通	早強	南部地域	中部地域 北部地域	8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10			N/mm ²	9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm ²					
気温による構造体強度補正值 (S)																																	
予想平均気温 (°C)	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)																															
普通	早強	南部地域	中部地域 北部地域																														
8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10																														
		N/mm ²	9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31																														
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10																														
8未満	5未満	N/mm ²																															
11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する																																
⑬コケ-ド物-車の過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車 1 台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。																																

章 項 目 特 記 事 項

③ 防水改修工事

⑤ 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)

⑥ 漏水試験

⑦ 保証書

8 施工標識

9 シーリング (3.7.2) ~ (3.7.8)

④ 外壁改修工事

⑬ 仕上塗材 (4.1.5) (4.2.2) (4.6.5)

⑪ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑫ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑬ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑤ 建具改修工事

⑪ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑫ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑬ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

種 別 及 び 工 程		防水層	施工箇所	仕上塗料	
○ P 0 X 工法	X-1 ○ X-2	表3.6.1	2階床	ウレタン系	
L 4 X 工法	X-1 X-2				
P 1 Y 工法	Y-2	表3.6.2			
P 2 Y 工法	___				

脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / ___ m²)
 保護層 設ける 設けない

水張り試験を行う (屋内 屋外)

受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
 (保証年限は工事目的物引渡しより 1 0 年間以上とする。)

8 施工標識
 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。
 材質 真鍮製エッチング仕上 150 x 100 _____
 設置数量 () 箇所

9 シーリング
 シーリング材の種類 改修標仕表3.7.1による

改 修 工 法 の 種 別		施 工 箇 所
シーリング充填工法		図示
シーリング再充填工法		
拡幅シーリング再充填工法		
ブリッジ工法		

⑥ 内装改修工事

⑬ 仕上塗材 (4.1.5) (4.2.2) (4.6.5)

⑪ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑫ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑬ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑥ 内装改修工事

⑬ 仕上塗材 (4.1.5) (4.2.2) (4.6.5)

⑪ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑫ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑬ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑤ 建具改修工事

⑪ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑫ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑬ 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)

⑱ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)

⑤ 建具改修工事

⑱ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)

⑤ 建具改修工事

⑱ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)

⑤ 建具改修工事

⑱ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)

⑥ 内装改修工事

⑱ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)

⑤ 建具改修工事

⑱ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)

⑥ 内装改修工事

⑱ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)

⑤ 建具改修工事

⑱ ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)

⑯ モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)

⑱ セルフレパリング材塗り (6.17.2)

⑤ トイレブース (20.2.5)

⑨ 鏡 (20.2.9)

⑩ 表示・標識 (20.2.10) (20.2.11)

⑫ 流し台ユニット

⑥ 内装改修工事

⑯ モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)

⑱ セルフレパリング材塗り (6.17.2)

⑤ トイレブース (20.2.5)

⑨ 鏡 (20.2.9)

⑩ 表示・標識 (20.2.10) (20.2.11)

⑫ 流し台ユニット

⑥ 内装改修工事

⑯ モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)

⑱ セルフレパリング材塗り (6.17.2)

⑤ トイレブース (20.2.5)

⑨ 鏡 (20.2.9)

⑩ 表示・標識 (20.2.10) (20.2.11)

⑫ 流し台ユニット

⑥ 内装改修工事

⑯ モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)

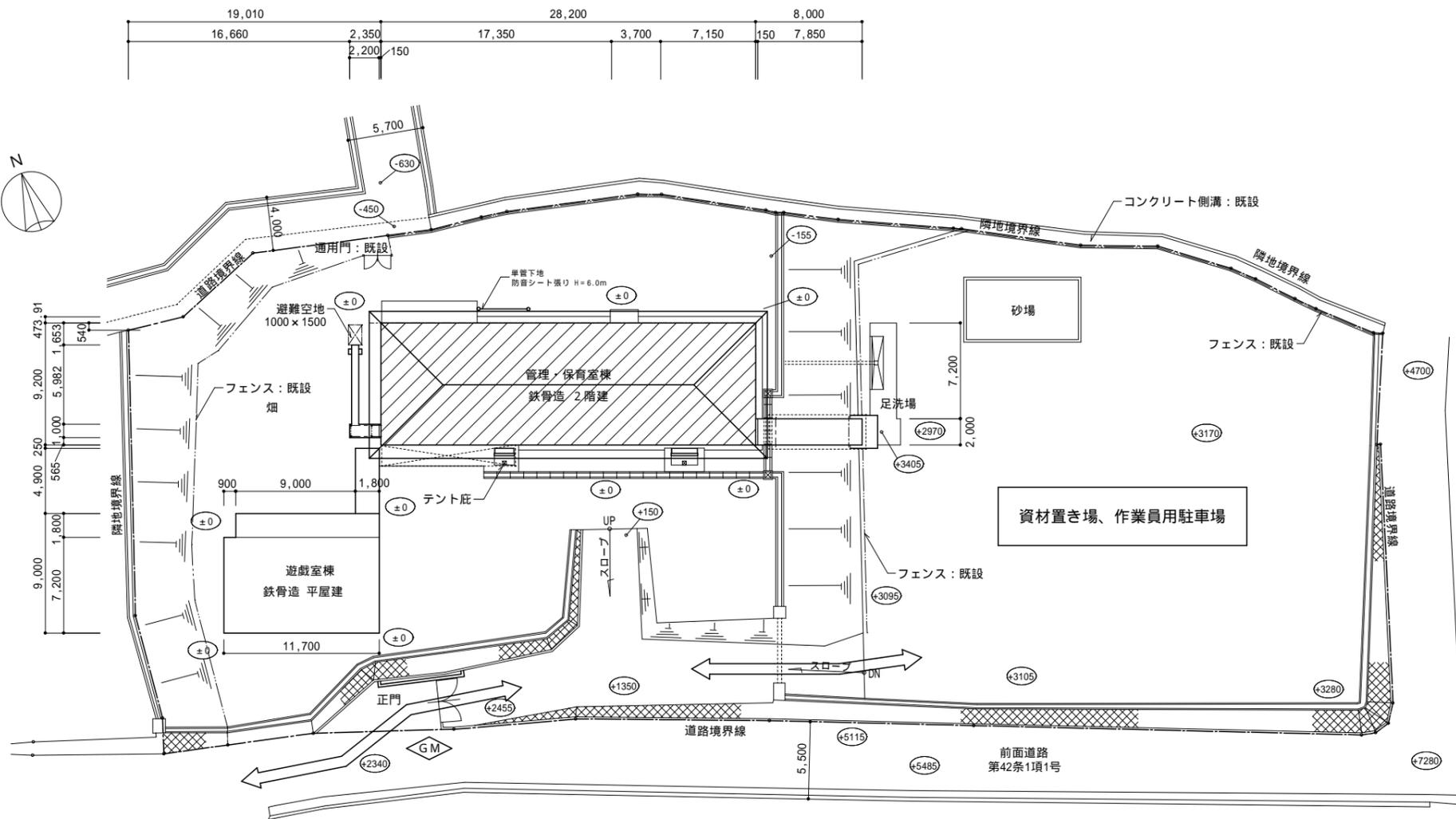
⑱ セルフレパリング材塗り (6.17.2)

⑤ トイレブース (20.2.5)

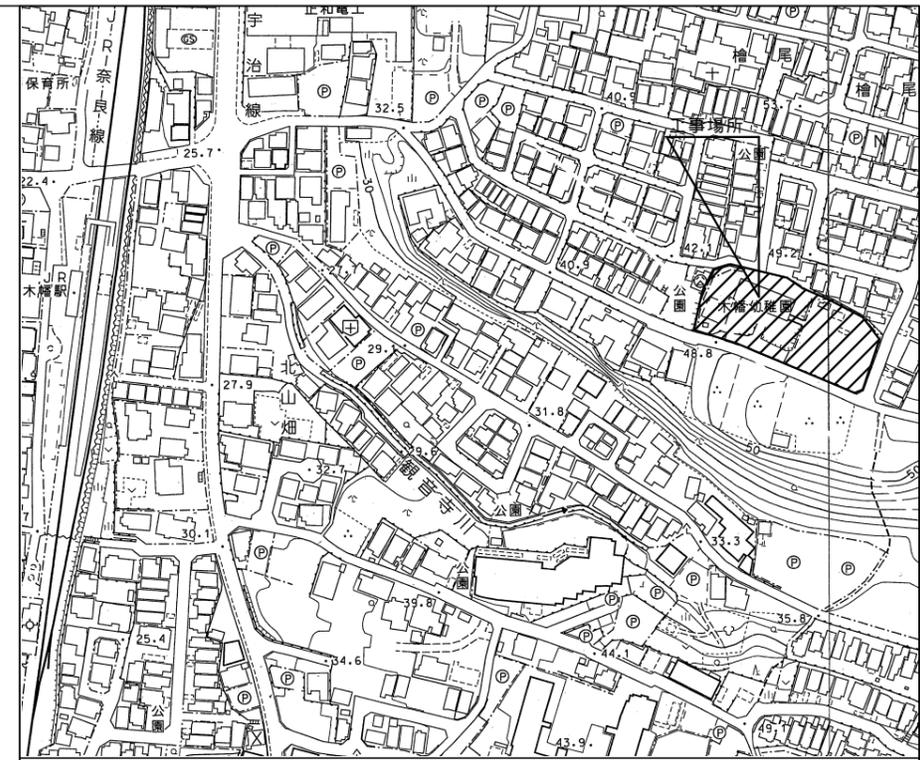
⑨ 鏡 (20.2.9)

⑩ 表示・標識 (20.2.10) (20.2.11)

⑫ 流し台ユニット



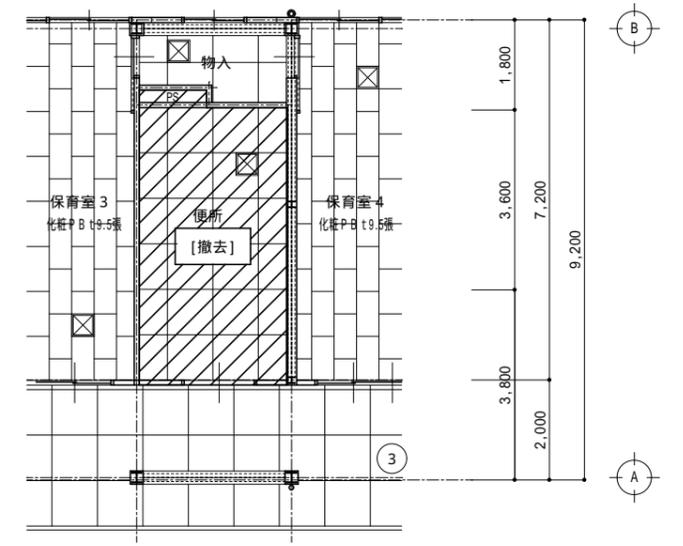
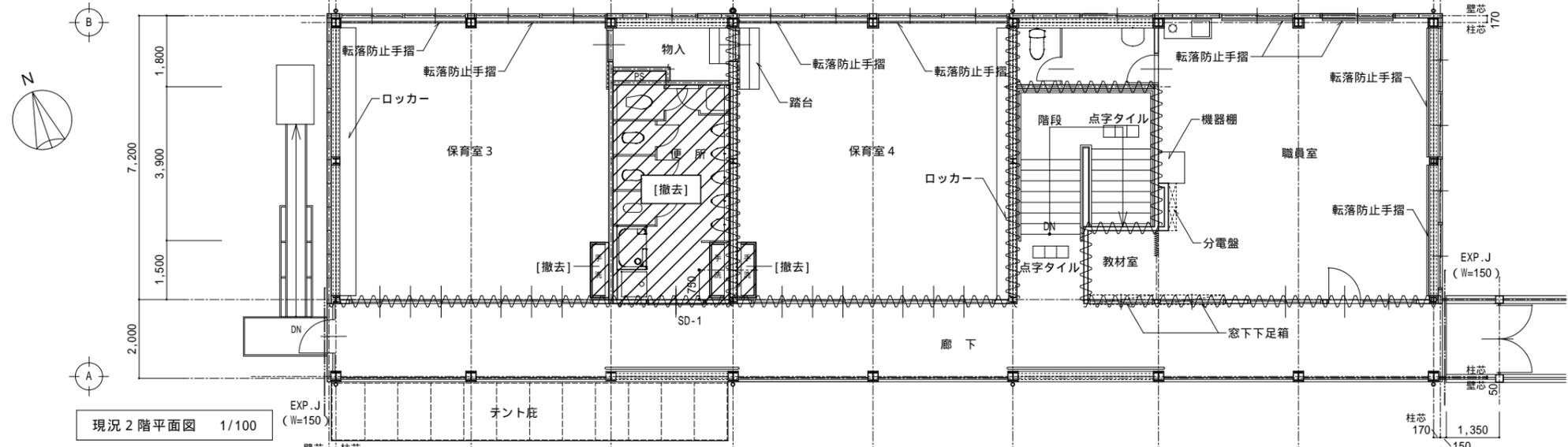
配置図 1/300



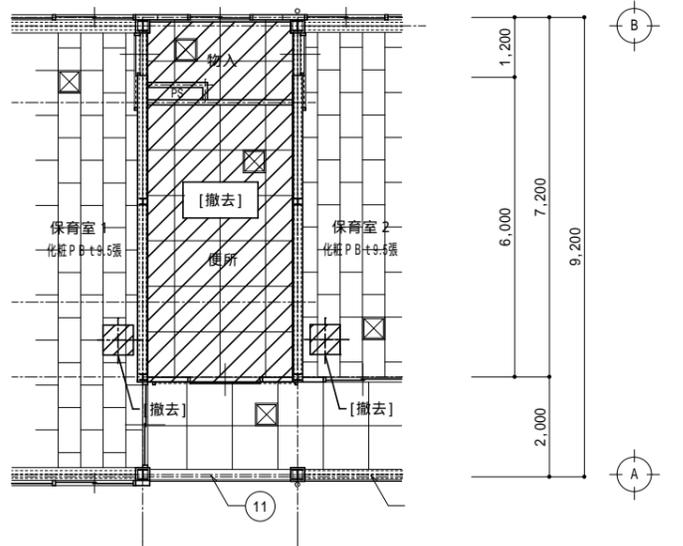
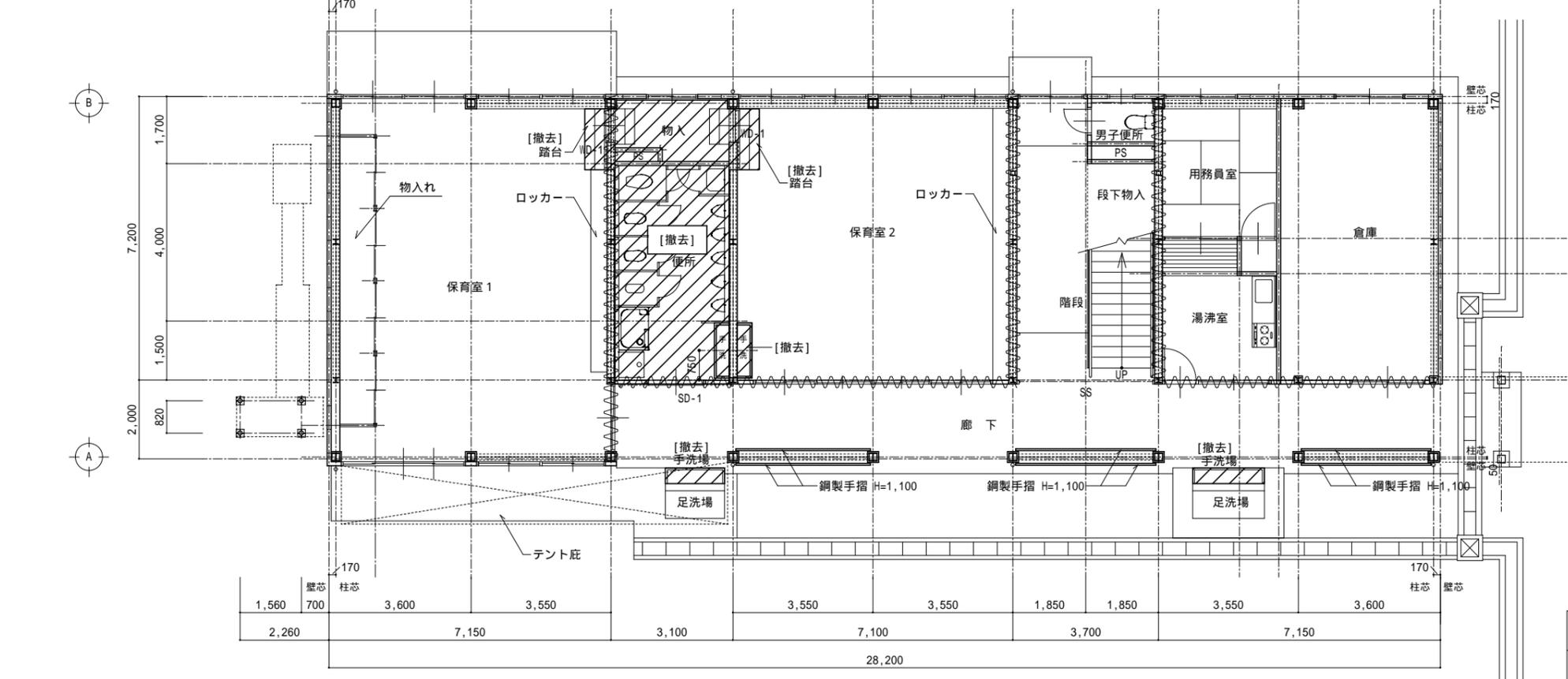
附近見取図 1/2500

資材置き場、作業員用駐車場については、最終整地を施す。

凡例・特記事項	
GM	交通誘導員の配備位置を示す。 資材の搬出入及び大型車両の出入り等、必要に応じて配置する。
[Hatched Box]	改修建物を示す
[Arrow]	工事用車両進入路を示す



凡例
 撤去部分を示す



凡例
 外壁 ALC t100の上複層塗材E吹付 壁を示す
 軽量鉄骨造間仕切壁を示す
 防火上主要な間仕切壁を示す (建第1358号第1(-)(口))
 (外部) 内部面PB t 12.5 2枚張 外部面リプラスモルタル刷毛引き (床下または小屋裏まで)
 (内部) PB t 12.5 + PB t 12.5 両面張 (床下または小屋裏まで)

内部仕上表

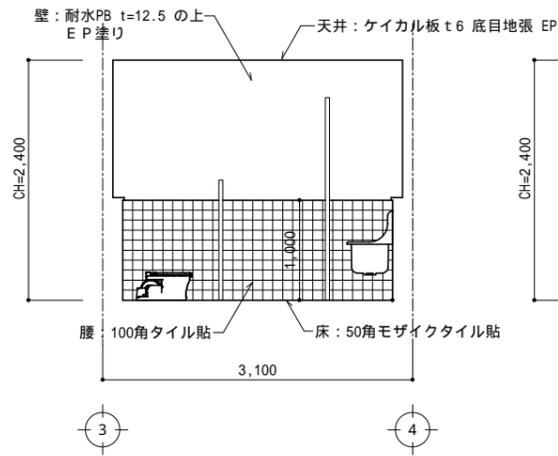
室名	床高	下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	廻縁	天井高	室名	備考
物入		W	構造用合板 t=12の上 長尺塩ビシート貼	ビニール巾木 H=100	LGS	P B t=12.5張 EP	LGS	P B t=9.5張 EP	塩ビ製	2,300	物入	
便所		MO	50角モザイクタイル貼 一部樹脂マット敷き	100角タイル貼 H=100	LGS	PB t=12.5+耐水PB t=12.5の上100角タイル貼 H=1,000 上部 PB t=12.5+耐水PB t=12.5張の上E P塗り	LGS	ケイカル板 t=6 底目地張 EP	塩ビ製	2,400	便所	トイレブース、便器、手洗、シャワー、洗濯パン、手摺、化粧鏡、SK:新設 室名札 : 既設一時撤去の上再設置
廊下		C	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え H=100	C	ラスモルタル刷毛引の上外装薄塗材E吹付	LGS	ケイカル板 t=6 底目地張 EP	塩ビ製	2,370	廊下	鋼製手すり H=1100 : 新設

足立建築工房 一級建築士事務所
 京都府宇治市木幡平尾1-65
 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

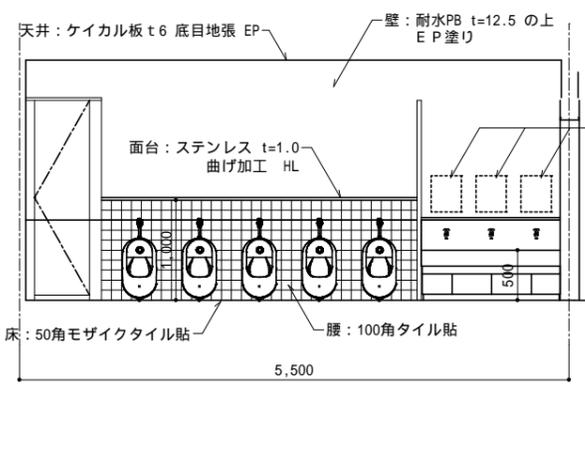
所長 主任 担当

工事名 Ujiふれあい教室改修工事
 図面名 現況平面図、天井伏図、仕上表

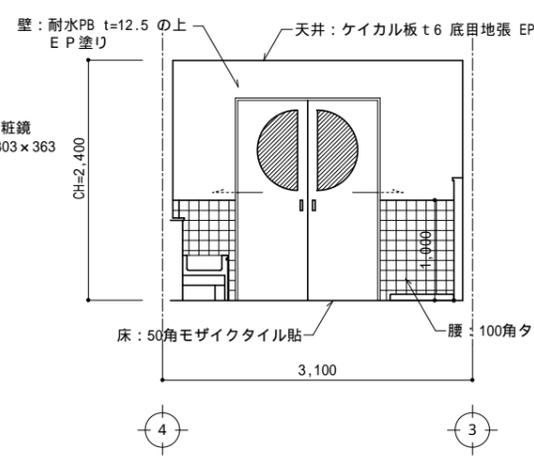
縮尺 1/100
 SHEET A-05
 年月日 R7.05



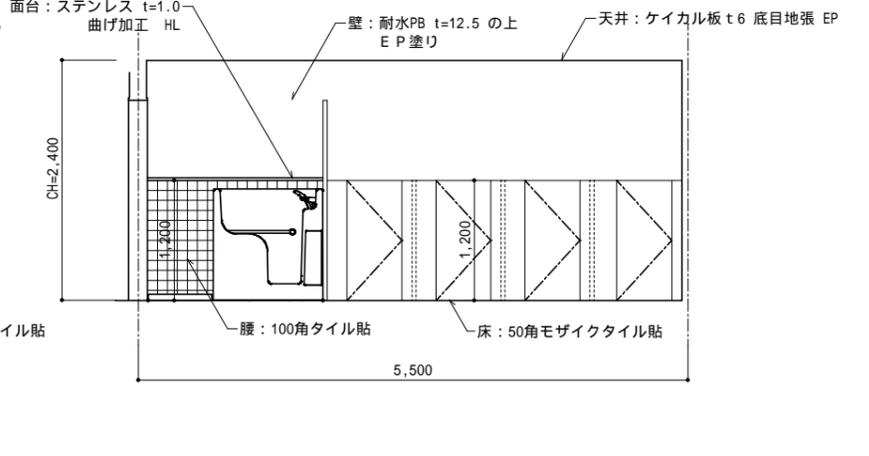
便所 A



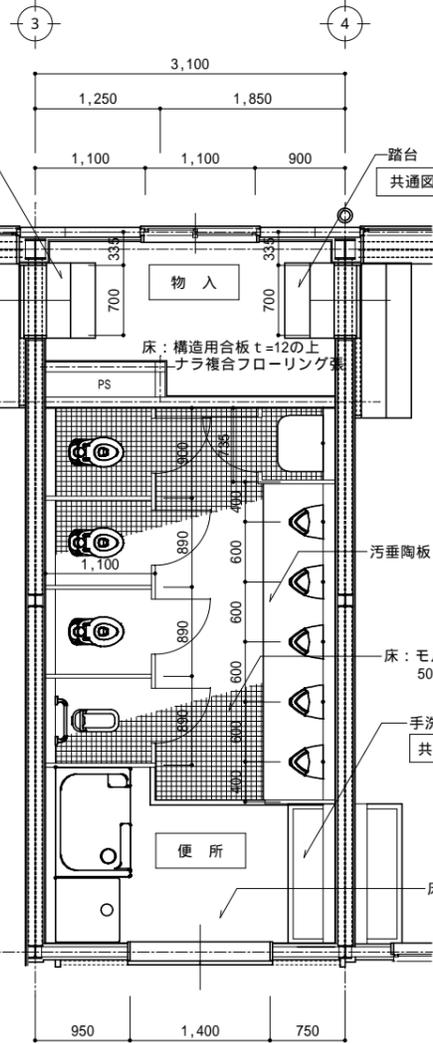
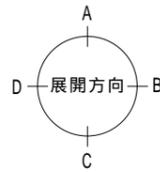
便所 B



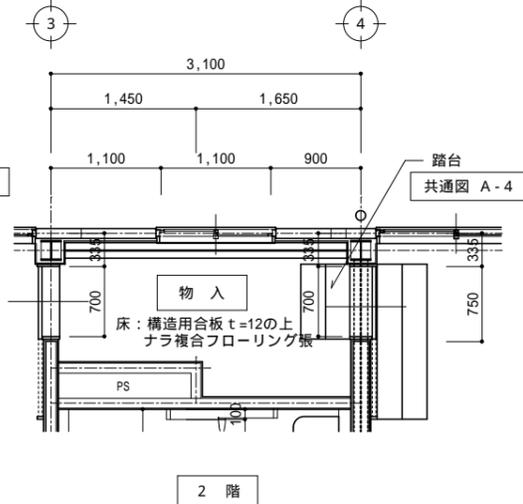
便所 C



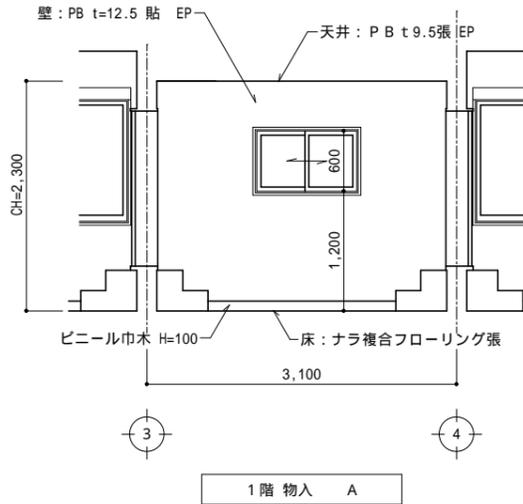
便所 D



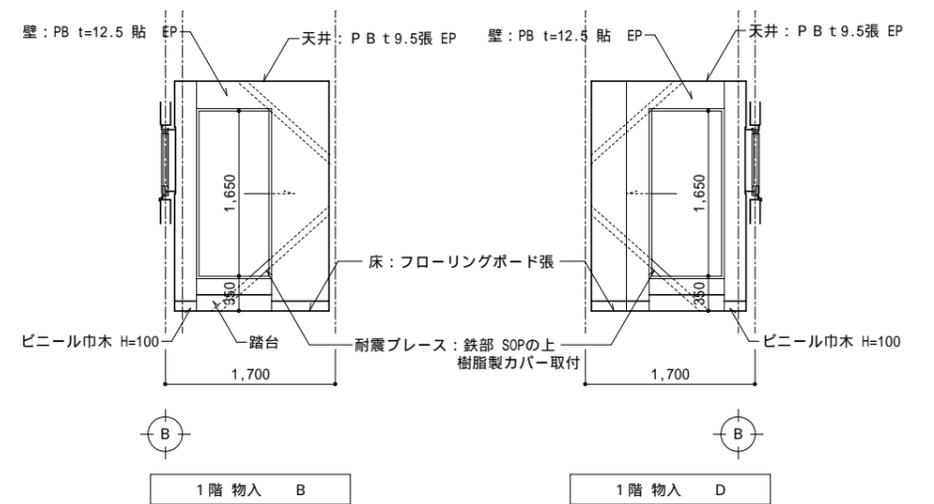
1階



2階

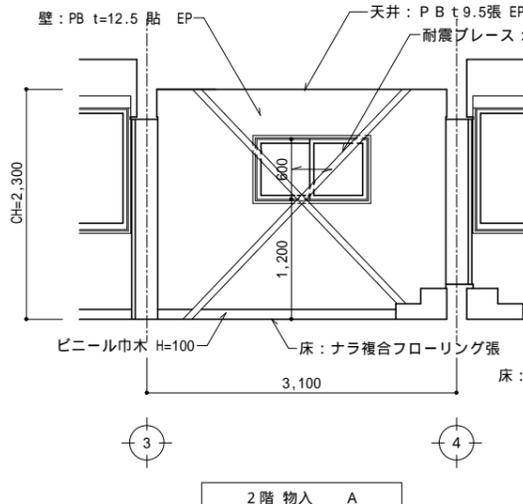


1階物入 A

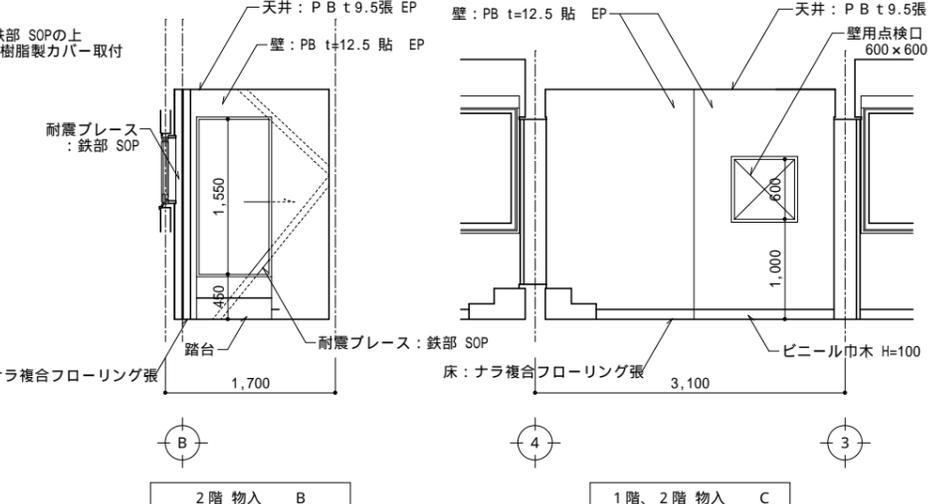


1階物入 B

1階物入 D



2階物入 A



2階物入 B

1階、2階物入 C

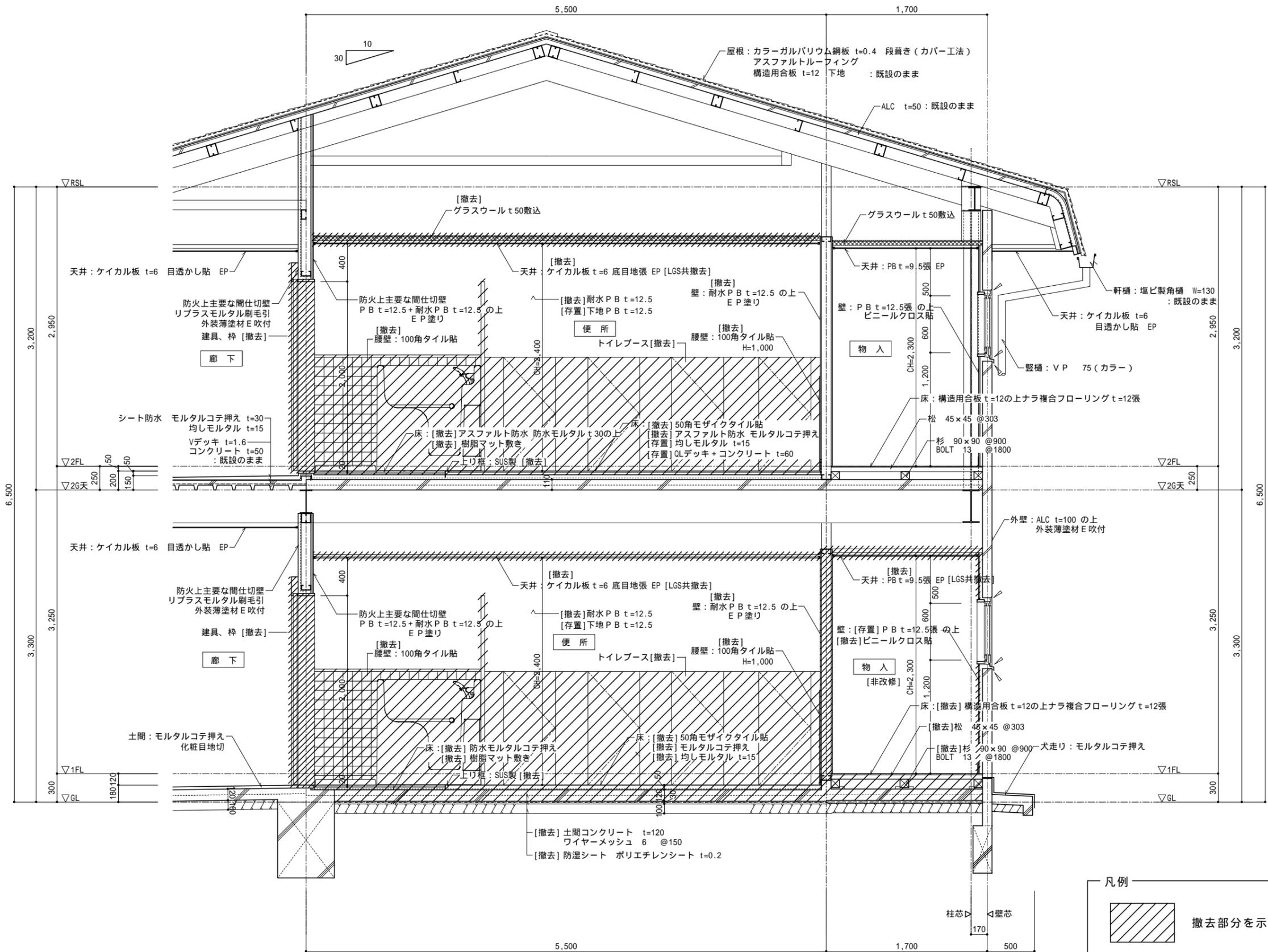
便所、物入 平面詳細図 1/50

足立建築工房 一級建築士事務所
 京都府宇治市木幡平尾 1-65
 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

所長 主任 担当

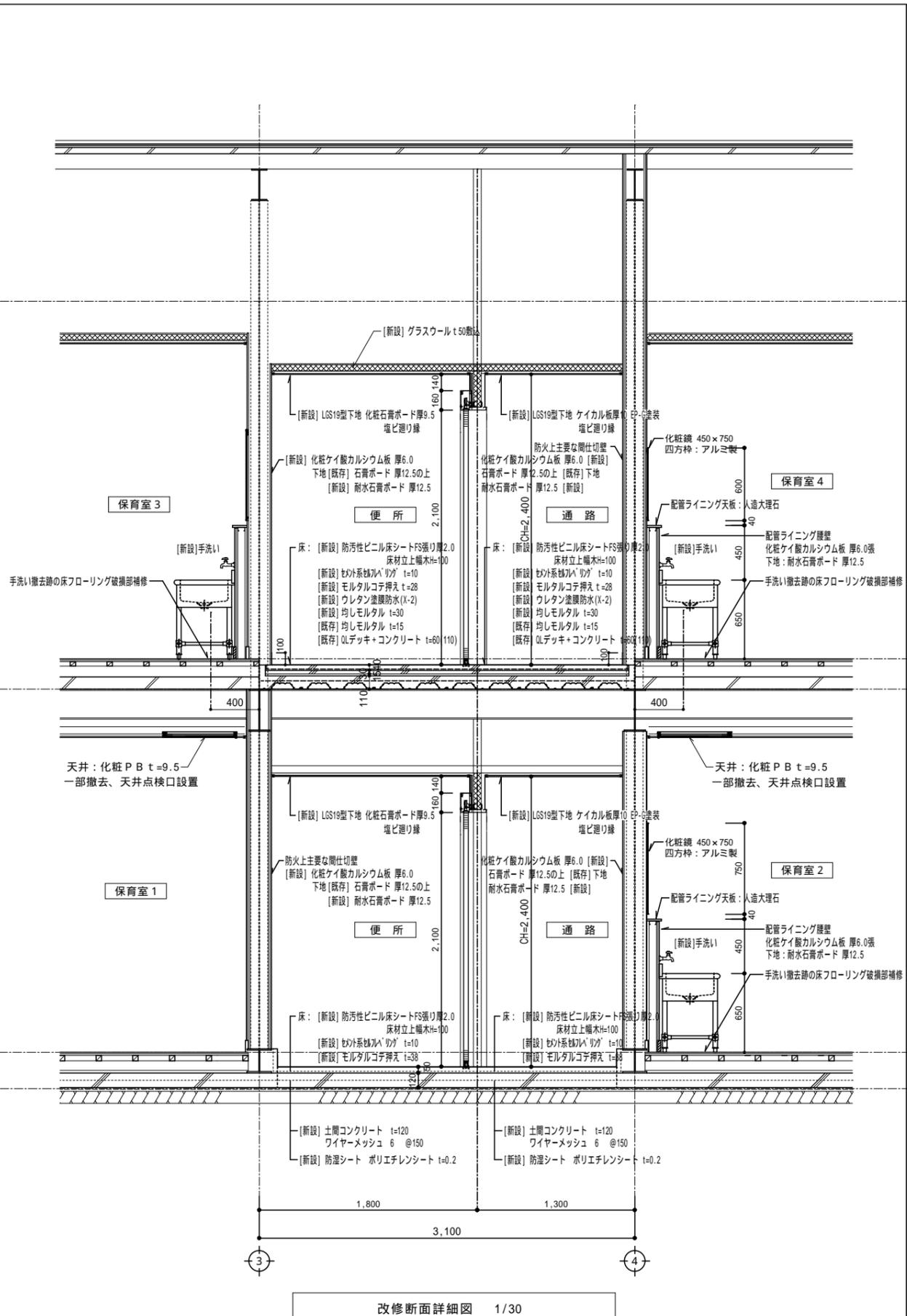
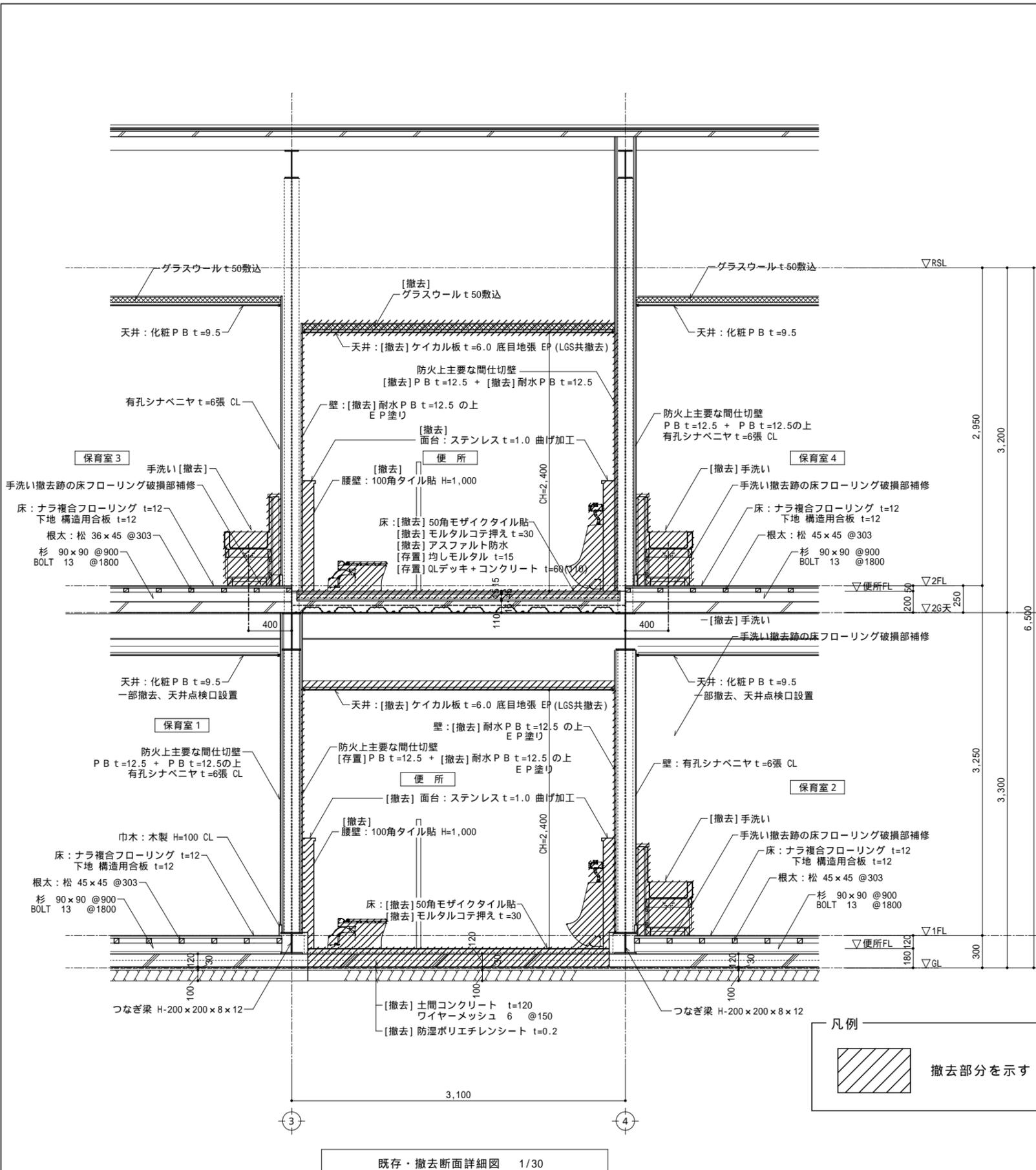
工事名 Ujiふれあい教室改修工事
 図面名 現況 便所平面図、展開図

縮尺 1/50 SHEET A-06 年月日 R7.05

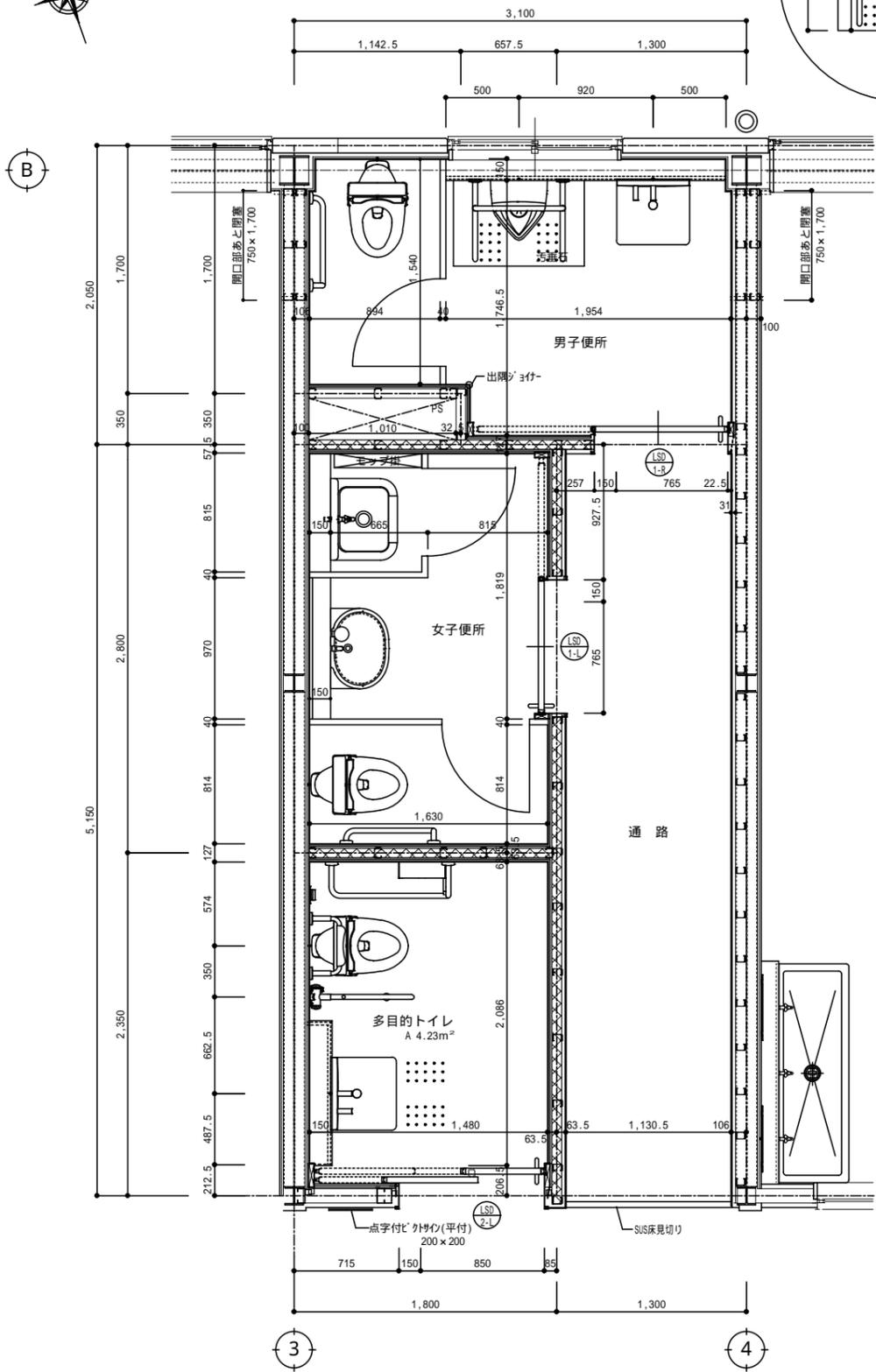
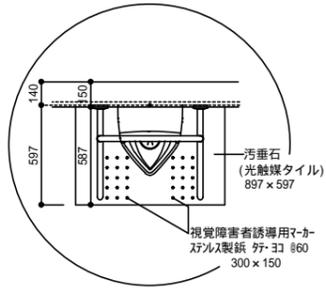
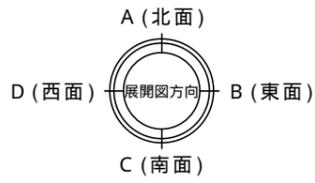


断面詳細図 1/30

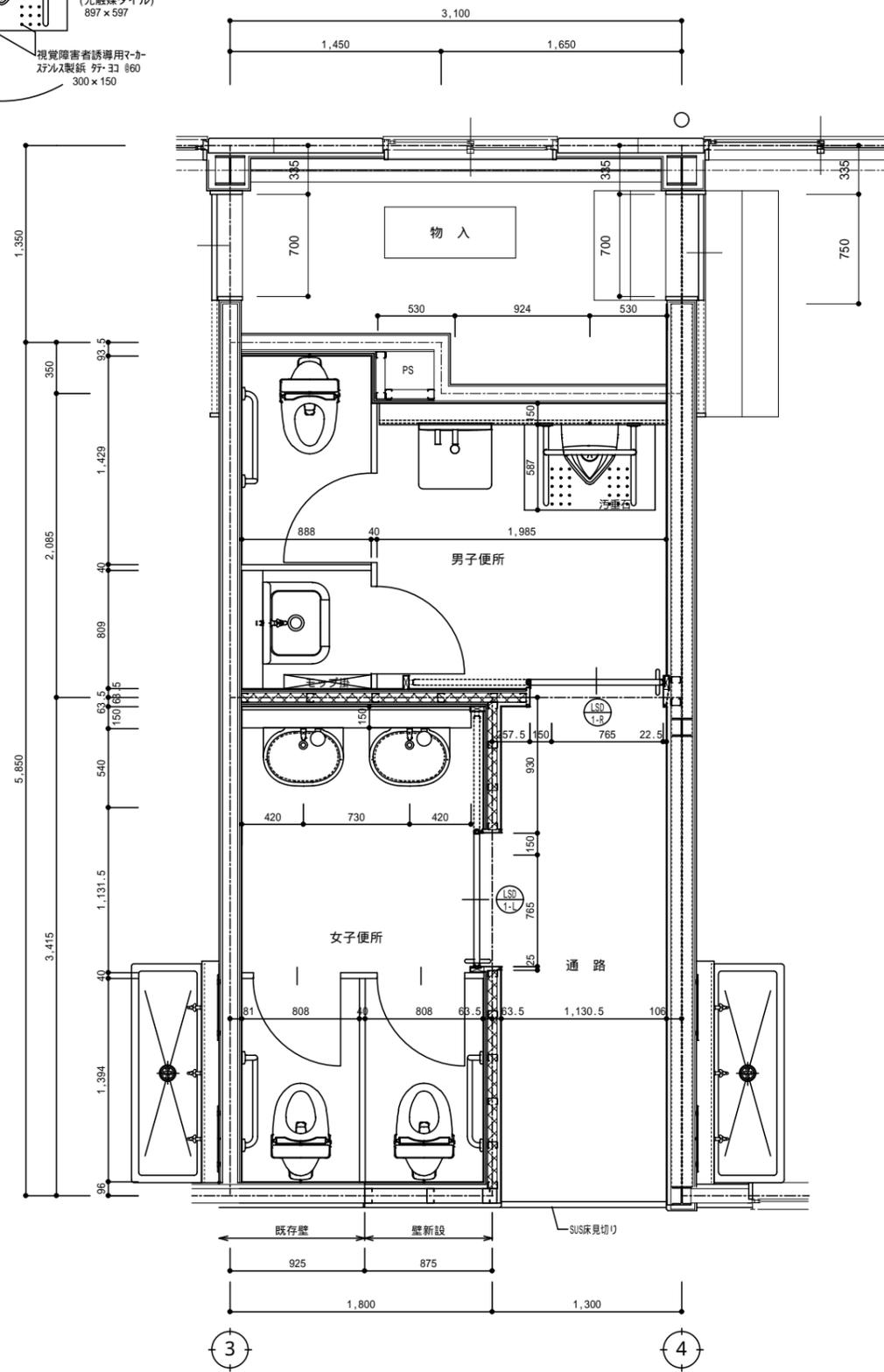
 足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040	所長 主任 担当	工事名 Ujiふれあい教室改修工事	縮尺 1/30	SHEET A-07	年月日 R7.05



 足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾 1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040		所長	主任	担当	工事名 Ujiふれあい教室改修工事 図面名 現況・改修断面詳細図	縮尺 1/30	SHEET A-08	年月日 R7.05
--	--	----	----	----	---	------------	---------------	--------------



1階便所平面詳細図 1/30



2階便所平面詳細図 1/30

仕上表 (1・2階便所)

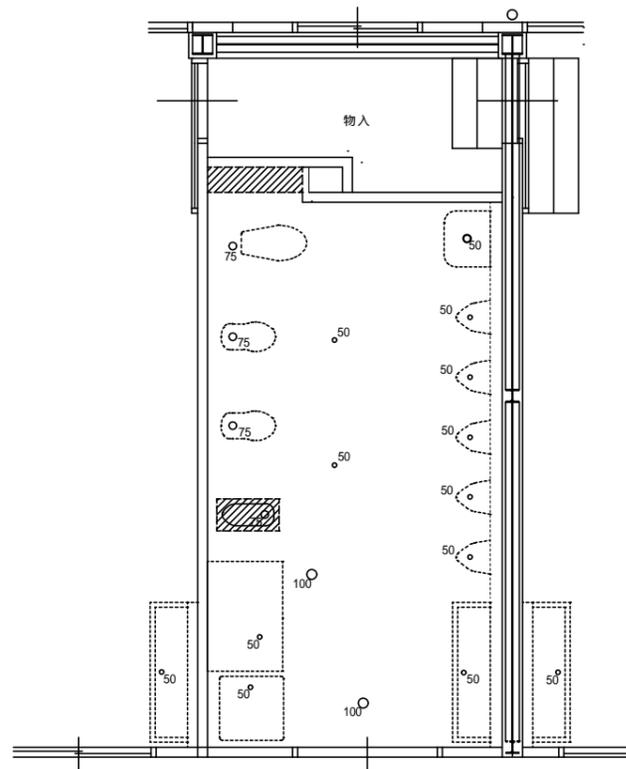
床	仕上 下地 (2階)	防汚性ビニル床シートFS張り厚2.0 一部 汚垂石張り [既存]均しモルタル塗りの上、[新設]モルタル塗 厚30+ウレタン塗膜防水の上、 t=10 + 防汚性ビニル床シートFS張り 厚2.0
	下地 (1階)	[新設]モルタルコテ押え t=38 + t=10 + 防汚性ビニル床シートFS張り厚2.0 [新設]下地土間コンクリート t=120 (747・860 @150)
巾木		床材立上げ H=100
壁	仕上 下地 間仕切壁軸組	化粧ケイ酸カルシウム板 厚6.0 [既存]石膏ボード 厚12.5の上、[新設]耐水石膏ボード 厚12.5 LS665型 ③03 (便所側 グラスウールボード 厚50充填) [元開口部分: 軽量鉄骨下地]
天井		LS19型下地 化粧石膏ボード 厚9.5、廻り縁: 塩ビ
備考		配管ライニング (天板: 人造大理石、腰壁: 化粧ケイ酸カルシウム板 厚6.0) 化粧鏡、洗面カウンター、L型手摺、小便器用手摺、可動式手摺、点字板、紙巻器 モップ架、トイレブース、汚垂石、ビクトサイン、天井点検口 (450角)

仕上表 (1・2階通路)

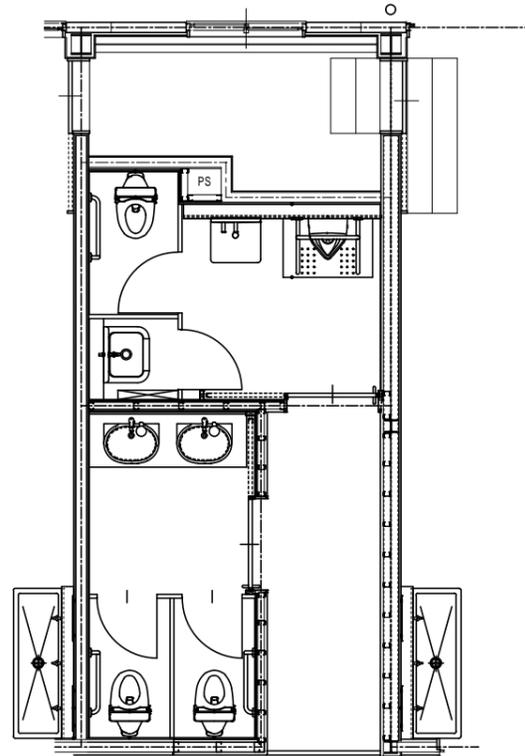
床	仕上 下地 (2階)	防汚性ビニル床シートFS張り厚2.0 一部 汚垂石張り [既存]均しモルタル塗りの上、[新設]モルタル塗 厚30+ウレタン塗膜防水の上、 t=10 + 防汚性ビニル床シートFS張り 厚2.0
	下地 (1階)	[新設]モルタルコテ押え t=38 + t=10 + 防汚性ビニル床シートFS張り厚2.0 [新設]下地土間コンクリート t=120 (747・860 @150)
巾木		床材立上げ H=100
壁	仕上 下地 間仕切壁軸組	化粧ケイ酸カルシウム板 厚6.0 [既存]石膏ボード 厚12.5の上、[新設]耐水石膏ボード 厚12.5 LS665型 ③03 (便所側 グラスウールボード 厚50充填) [元開口部分: 軽量鉄骨下地]
天井		LS19型下地 ケイカル板 厚10 EP-G塗装、廻り縁: 塩ビ
備考		

凡例





[既存] 2階床改修平面図 S=1/50



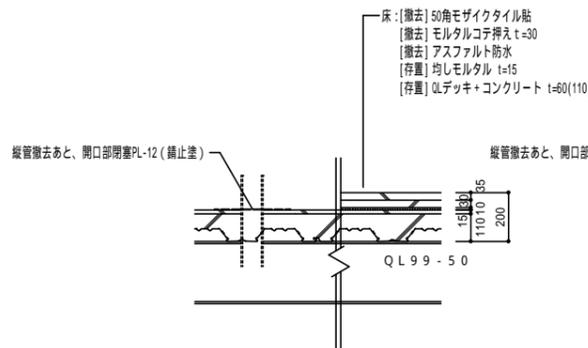
[改修] 2階平面図 S=1/50

凡例

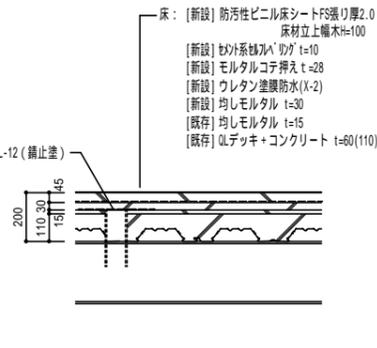
既設コンクリートスラブ閉鎖部分を示す。

既設床貫通配管の閉塞位置を示す。

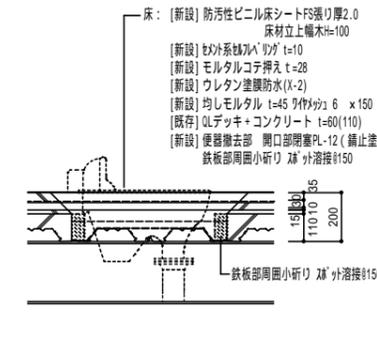
既存2階デッキプレート仕様	
デッキプレート仕様	QL99-50-12
コンクリート仕様	普通コンクリート Fc=18 山上厚60
溶接金網	6-150×150



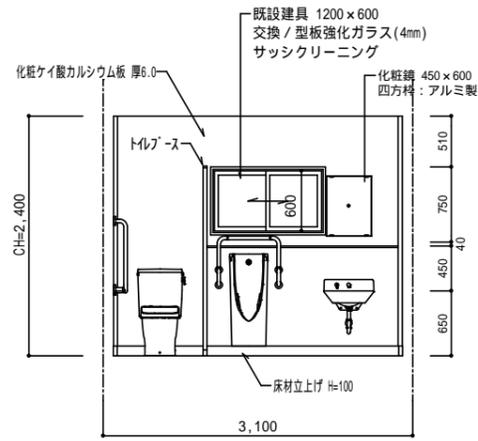
現況・撤去断面図 S=1/30



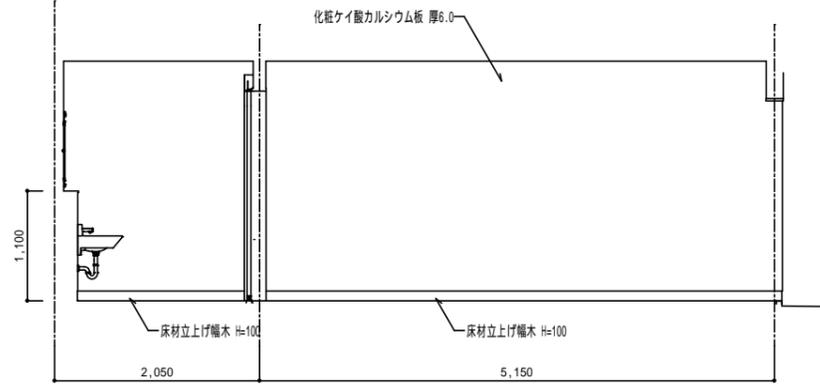
配管撤去跡ふさぎ断面図 S=1/30



PS跡、便器撤去跡ふさぎ断面図 S=1/30

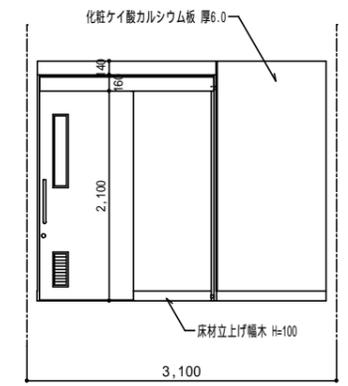


男子便所 -A-

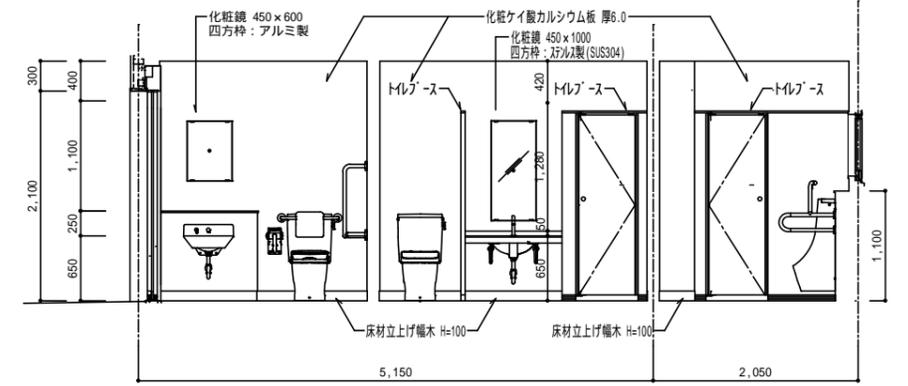


男子便所 -B-

通路 -B-



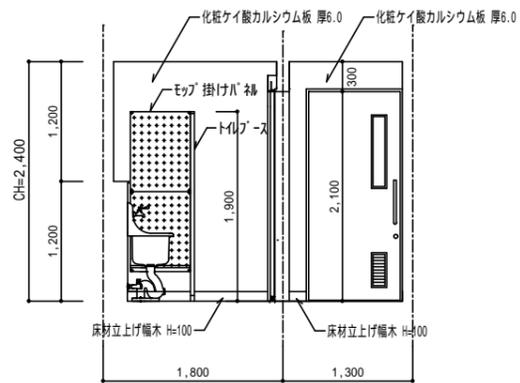
男子便所 -C-



多目的トイレ -D-

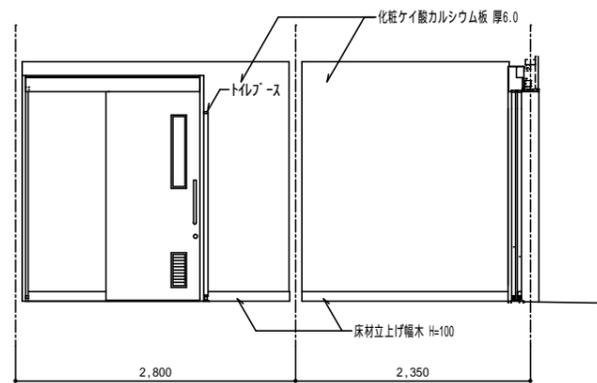
女子便所 -D-

男子便所 -D-



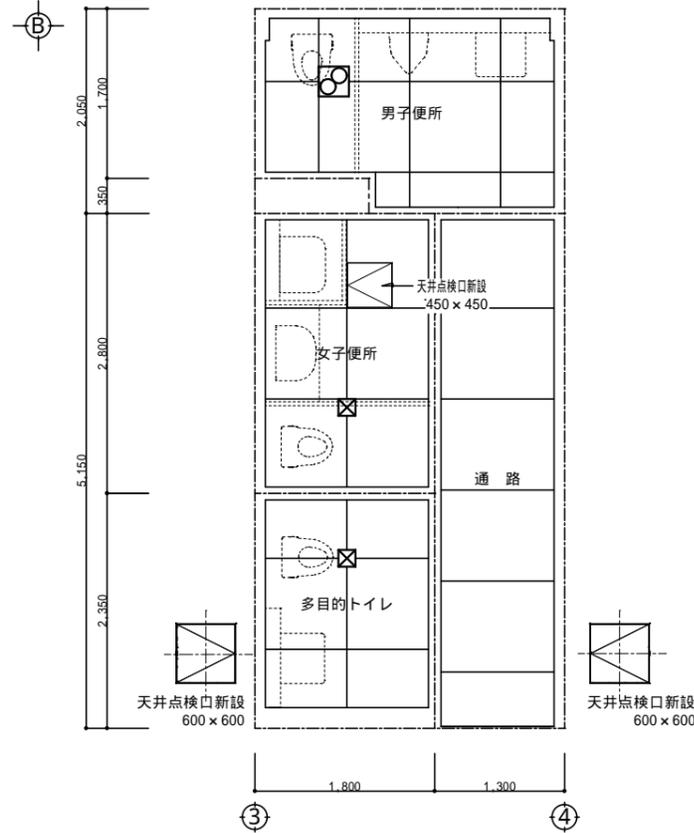
女子便所 -A-

通路 -A-

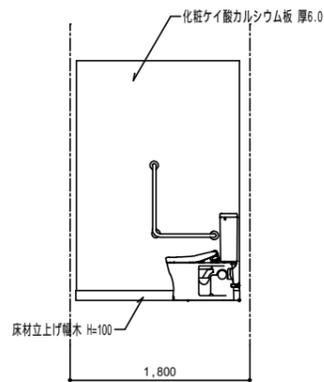


女子便所 -B-

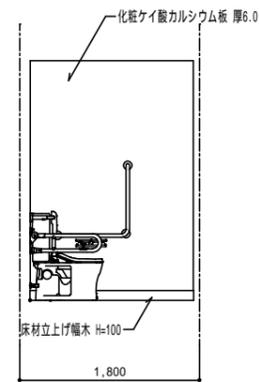
多目的トイレ -B-



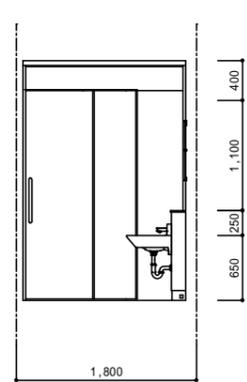
1階天井伏図



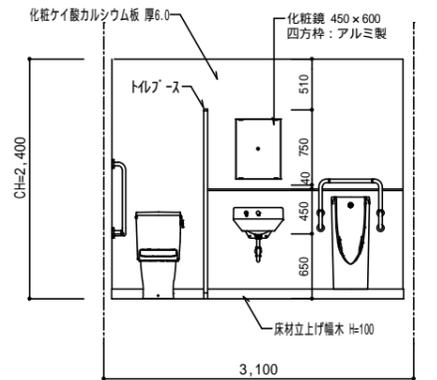
女子便所 -C-



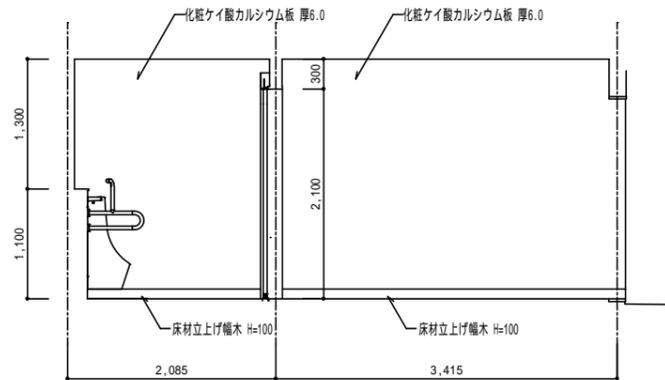
多目的トイレ -A-



多目的トイレ -C-

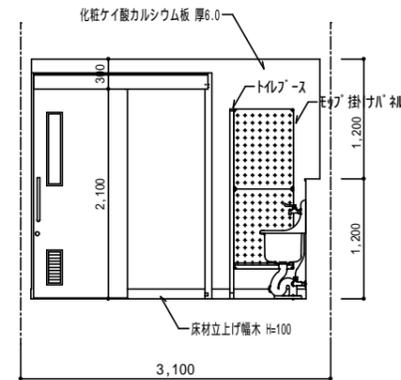


男子便所 -A-

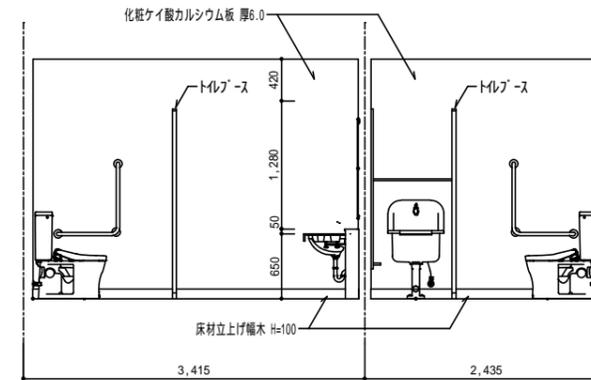


男子便所 -B-

通路 -B-

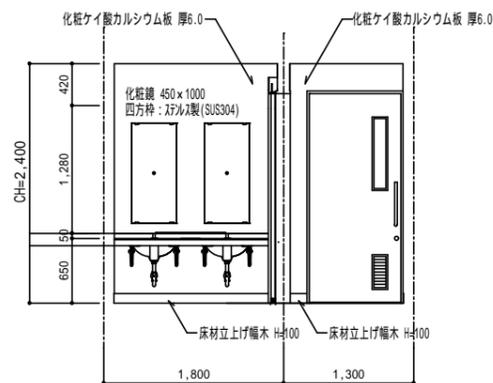


男子便所 -C-



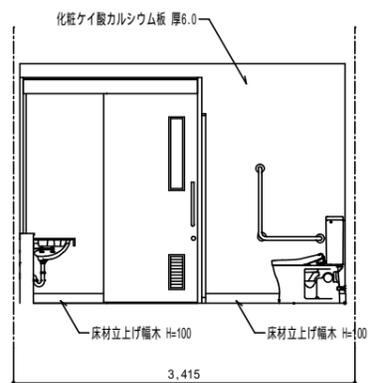
女子便所 -D-

男子便所 -D-

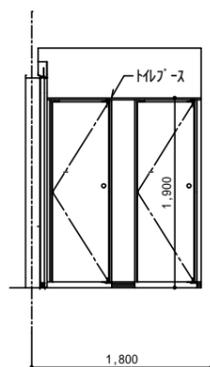


女子便所 -A-

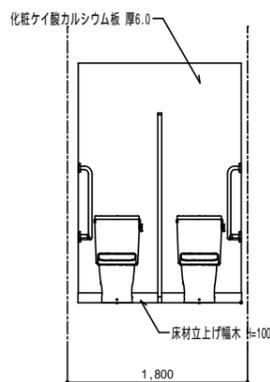
通路 -A-



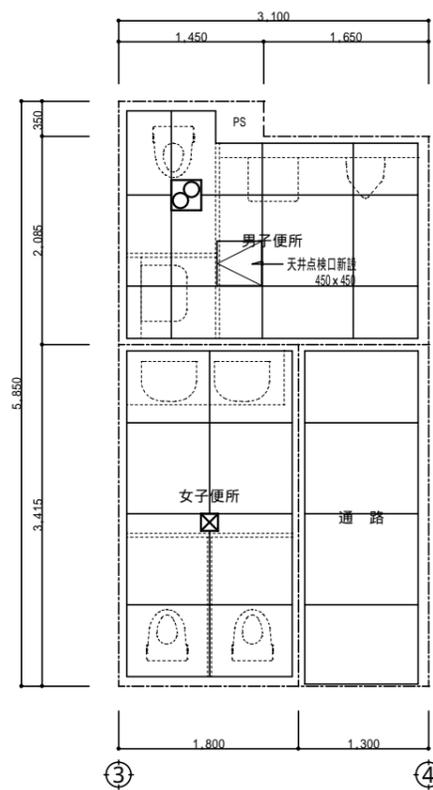
女子便所 -B-



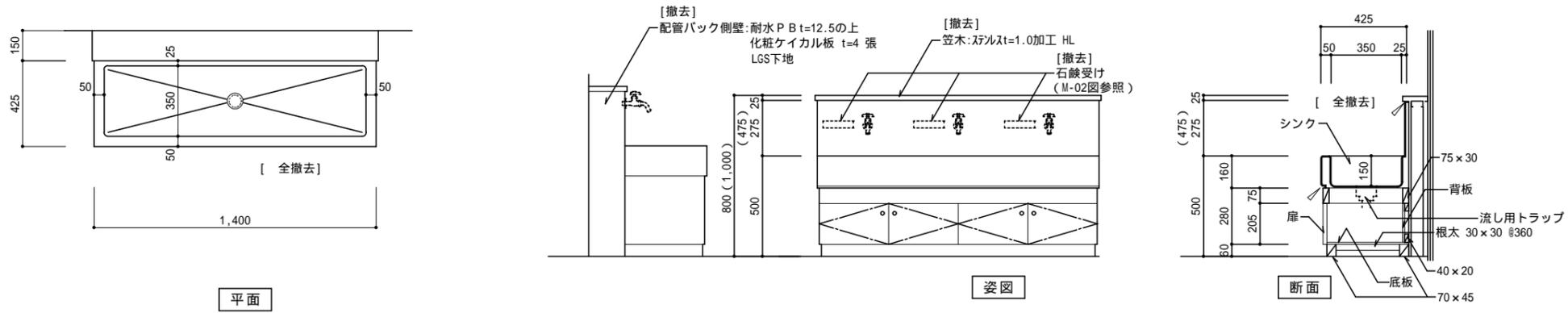
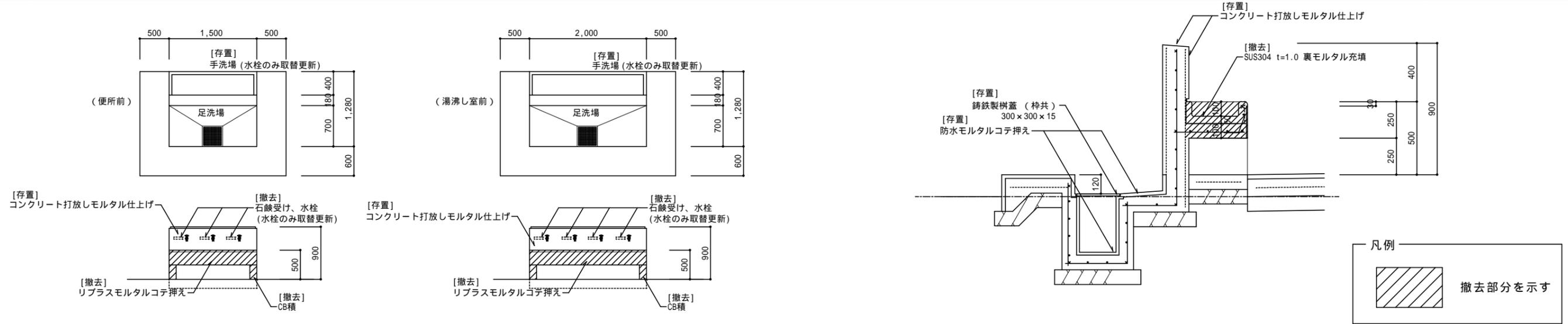
女子便所 -C-



女子便所 -C-



1階天井伏図



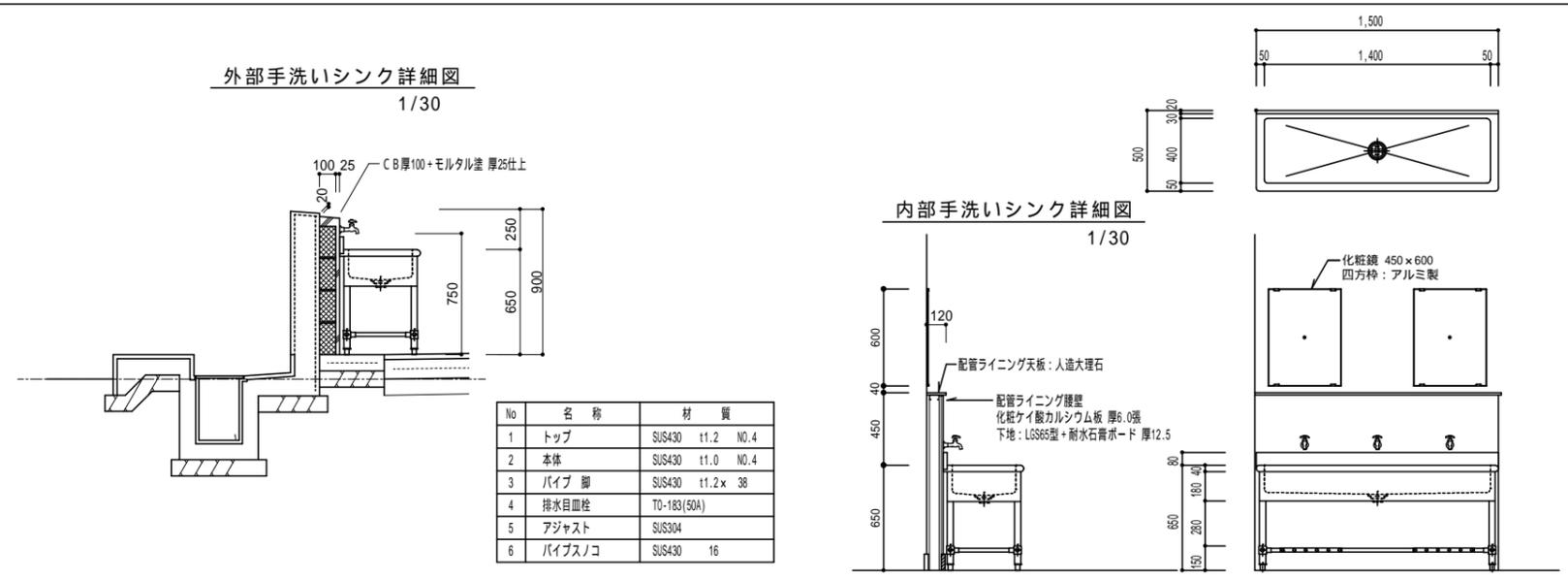
- [全撤去]
 シンク ステンレスt=0.8曲げ加工 発砲ウレタンt=10
 扉 耐水合板フラッシュ戸 見込20mm
 見付:メラミン化粧板貼
 金物:ツマミ、隠れ丁番、マグネットキャッチ
 エプロン・側板他見え掛り部分:メラミン化粧板貼
 背板・底板:耐水合板t=5.5貼

() 内は各階便所の手洗い寸法を示す

[撤去] 建具リスト

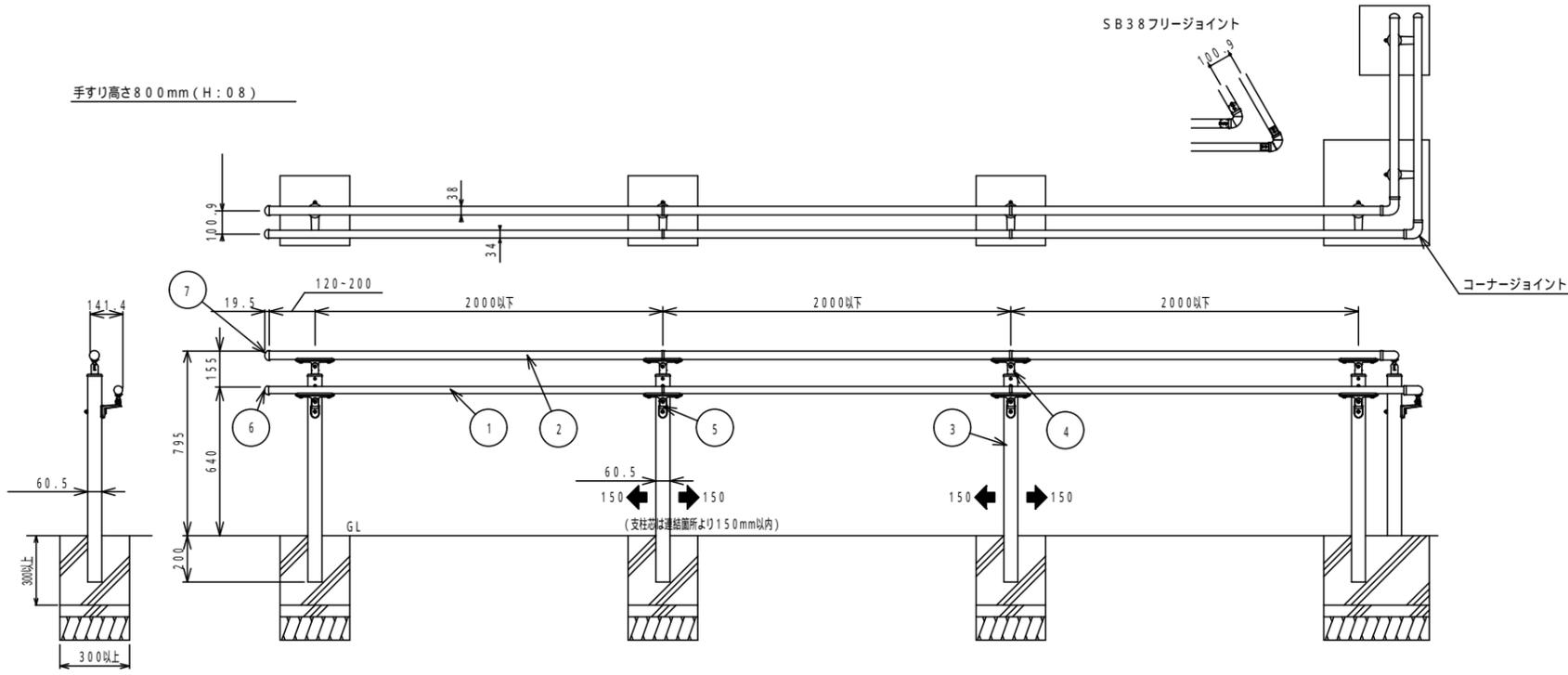
符号	数量	WD - 1	2	SD - 1	2
形 式	見 込	片引きフラッシュ戸	36	スチール製吊下げ引分け戸	ドア 40 枠 185
金 物		戸車、Vレール、引手、引戸鍵錠、木製四方枠、付属金物一式		彫込引手、シリング-鍵錠、吊下げレール一式	付属金物一式
硝 子				型板 t 4.0	
塗装・仕上	取付場所	ポリ合板フラッシュ	保育室 1, 2 - 物入	アクリル焼付塗装	1、2階便所 - 廊下

手洗いシンク詳細図 1/30



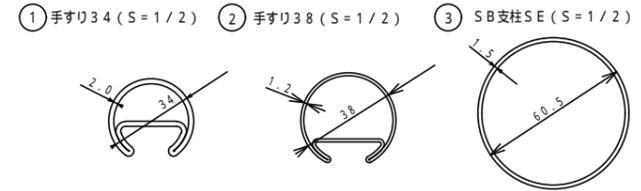
型式コード	商品名	サイズ	型式コード	商品名	サイズ
SB34-HS15	SB34手すりS(15)	15	SB38N-FJS2	SB38NフリージョイントSA2	
SB34-HS20	SB34手すりS(20)	20	SB38N-CJS	SB38NコーナージョイントS	
SB34-HS28	SB34手すりS(28)	28	SB34-ECS	SB34端部キャップS	
SB34-HS40	SB34手すりS(40)	40	SB34-RECS	SB34アル端部キャップS	
SB38-HS15	SB38手すりS(15)	15	SB34N-TSJS	SB34N手すりストレート継手S	
SB38-HS20	SB38手すりS(20)	20	SB38N-ECS	SB38N端部キャップS	
SB38-HS28	SB38手すりS(28)	28	SB38N-RECS	SB38Nアル端部キャップS	
SB38-HS40	SB38手すりS(40)	40	SB38N-TSJS	SB38N手すりストレート継手S	
SB3-PSE08	SB支柱SE(08)	08	SB2-LCS15	SB2溝ふさぎ材S(15)	
SB34-FJS	SB34フリージョイントSA		SB2-LCS20	SB2溝ふさぎ材S(20)	
SB34-FJS2	SB34フリージョイントSA2		SB2N-LCS15	SB2N溝ふさぎ材S(15)	
SB34-CJS	SB34コーナージョイントS		SB2N-LCS20	SB2N溝ふさぎ材S(20)	
SB38N-FJS	SB38NフリージョイントSA				

ボルト・ナット・座金	ステンレス(SUS)
⑦ SB38 端部キャップ	アルミダイカスト (パフ研磨・アクリル溶剤塗装)
⑥ SB34 端部キャップ	アルミダイカスト (パフ研磨・アクリル溶剤塗装)
⑤ 直付金具	アルミダイカスト (パフ研磨・アクリル溶剤塗装)
④ 支柱キャップ	アルミダイカスト (パフ研磨・アクリル溶剤塗装)
③ SB支柱E(08)	ステンレス (SUS304#400番)
② 手すり38	ステンレス (SUS304#400番)
① 手すり34	ステンレス (SUS304#400番)
主要部材	仕様(材質・塗装)
品名	セイフティビーム 標準タイプ (ステンレスタイプ SB34支柱E仕様) 同等品

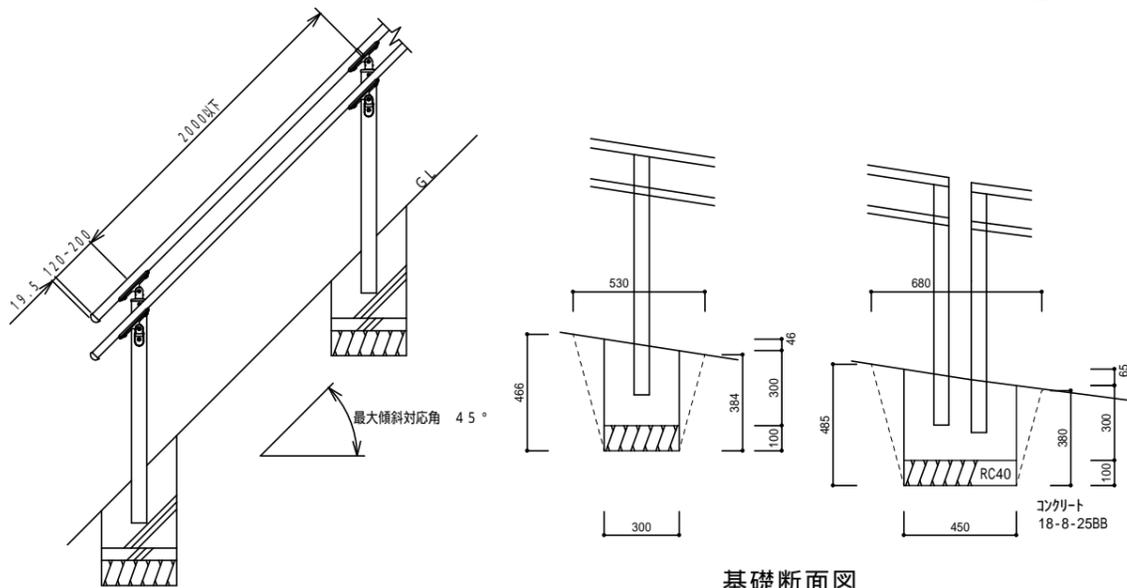


手すり詳細図(参考図)
1/20

主要部材断面図



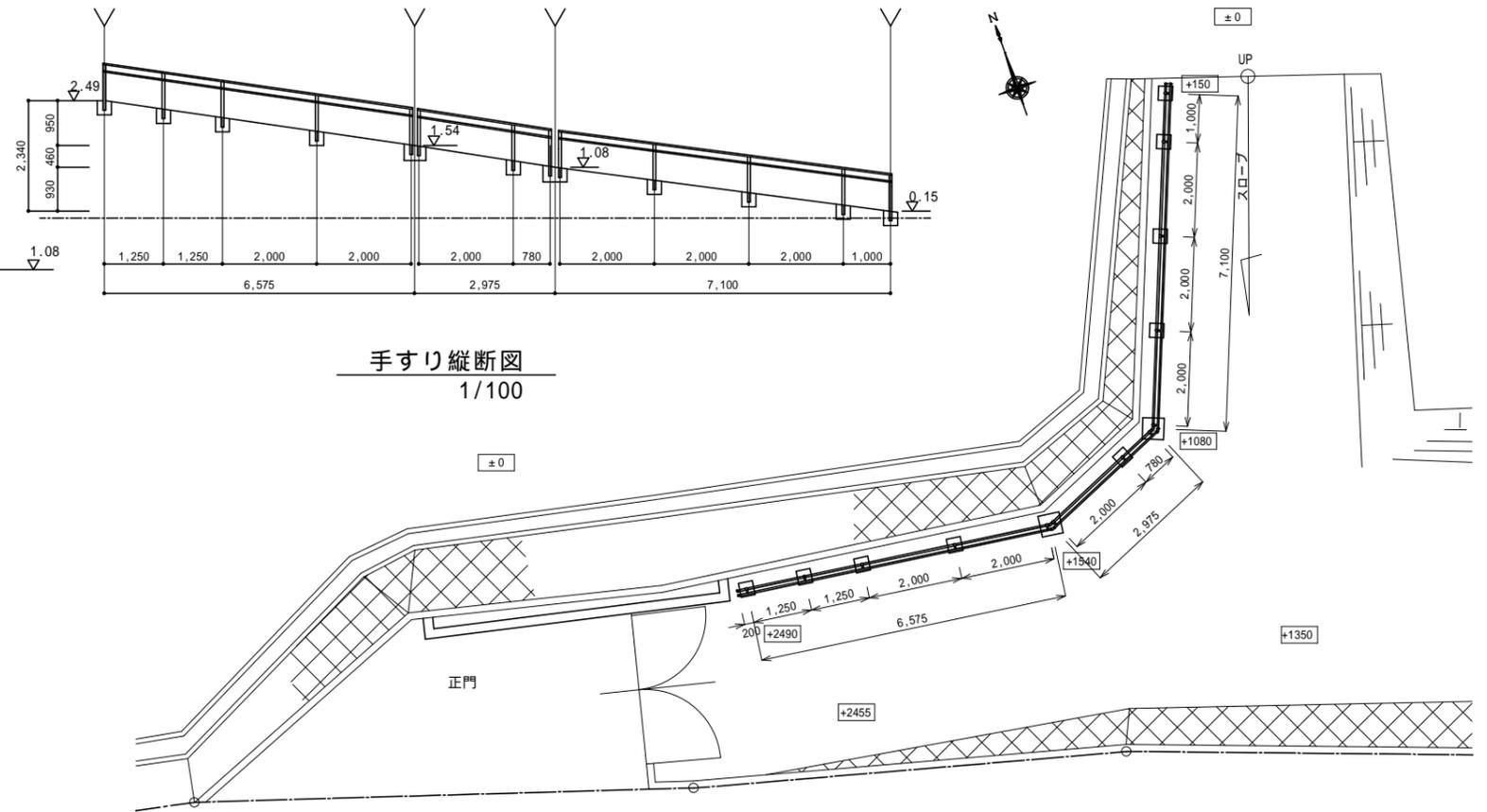
註 基礎配置、手すり寸法については現地確認の上、施工の事



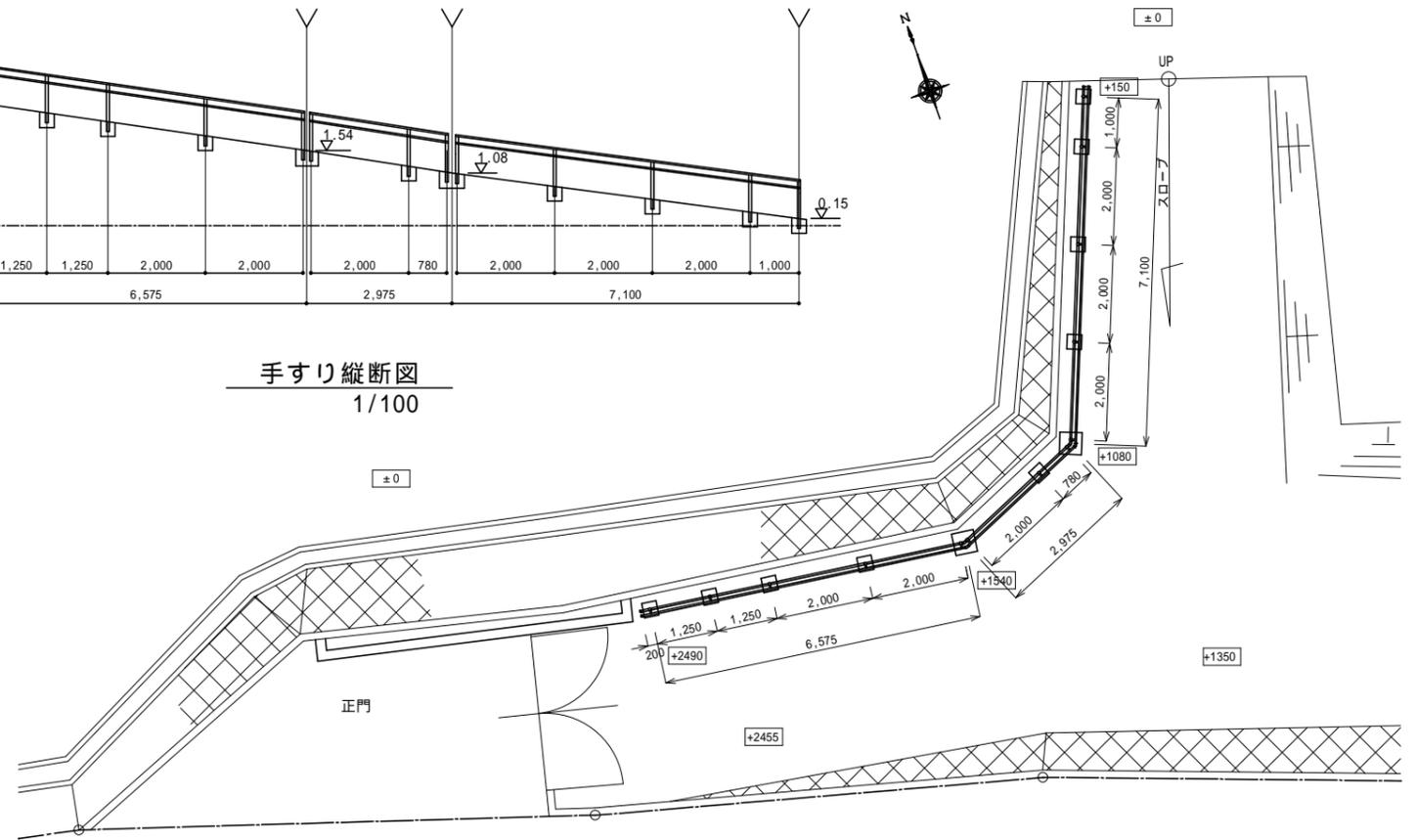
基礎断面図
1/20



基礎平面図
1/20



手すり縦断面図
1/100



手すり平面図
1/100

足立建築工房 一級建築士事務所
京都府宇治市木幡平尾 1-65
TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

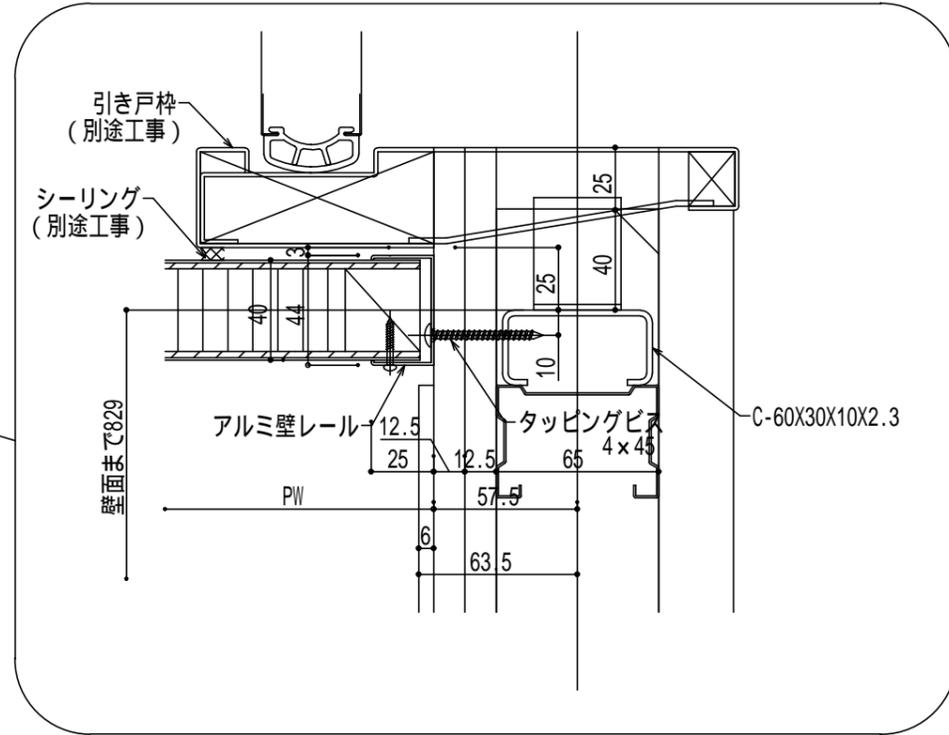
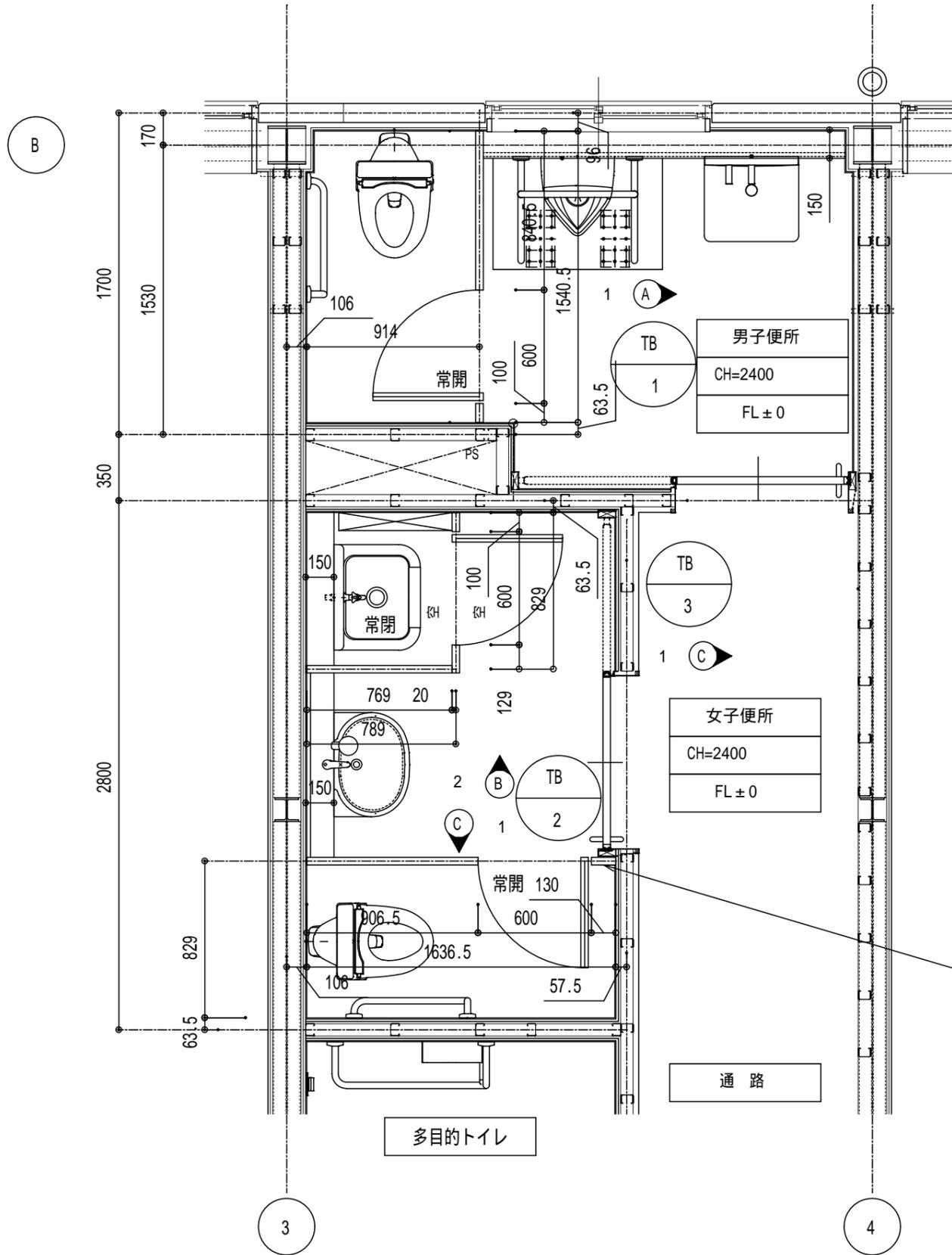
所長 主任 担当

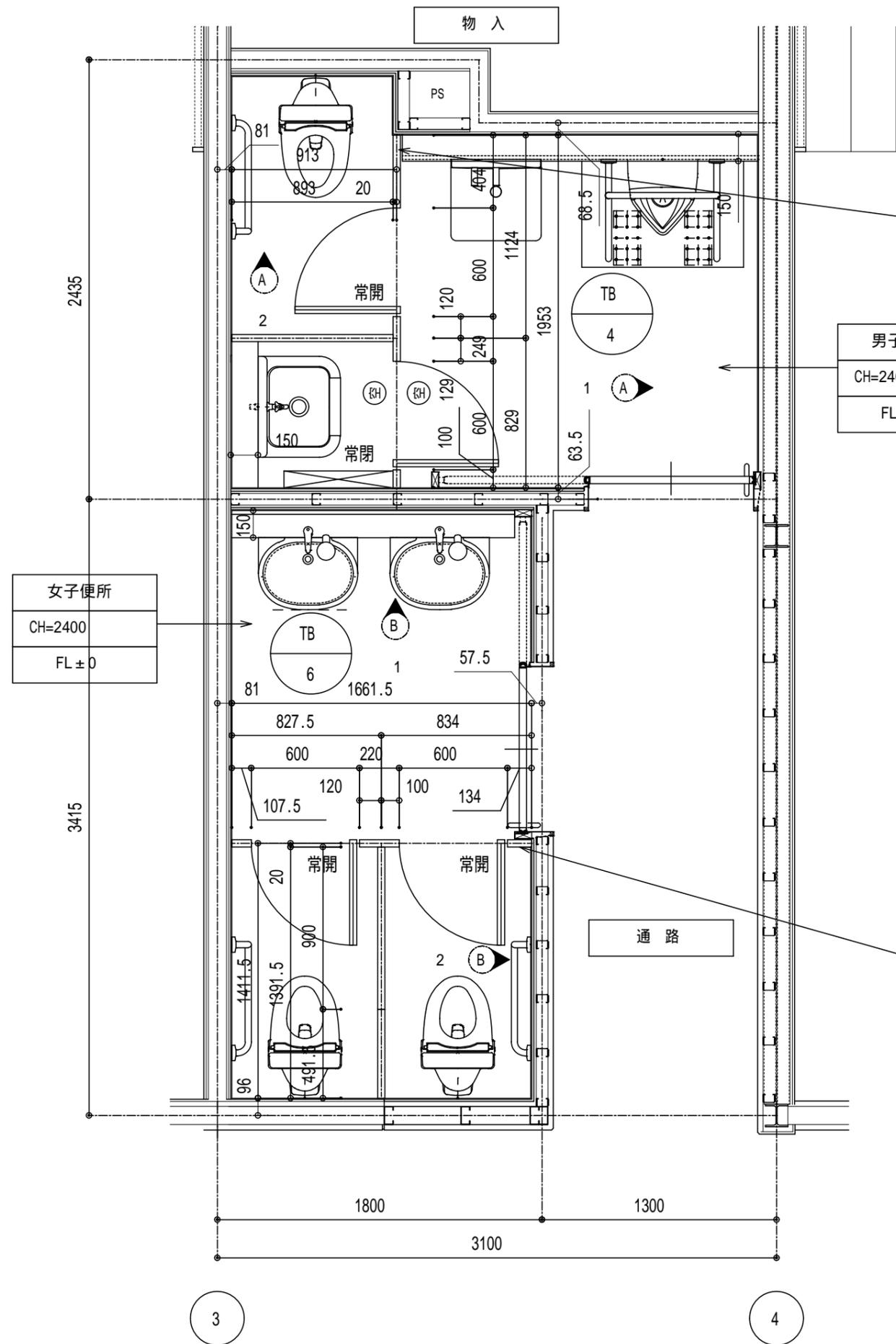
工事名 Ujiふれあい教室改修工事
図面名 スロープ手すり詳細図

縮尺 1/20
SHEET A-14
年月日 R7.05

表面材 (A' 裨)	高压マニ化粧板 (MDF2.5mm裏打ち)
表面材・色番号 (A' 裨)	未定
表面材 (D' ア)	高压マニ化粧板 (MDF2.5mm裏打ち)
表面材・色番号 (D' ア)	未定
枠材	単板積層材
芯材	^'-A'-コア
笠木	7#押し出形材 A6063S-T5、陽極酸化皮膜 CL仕上

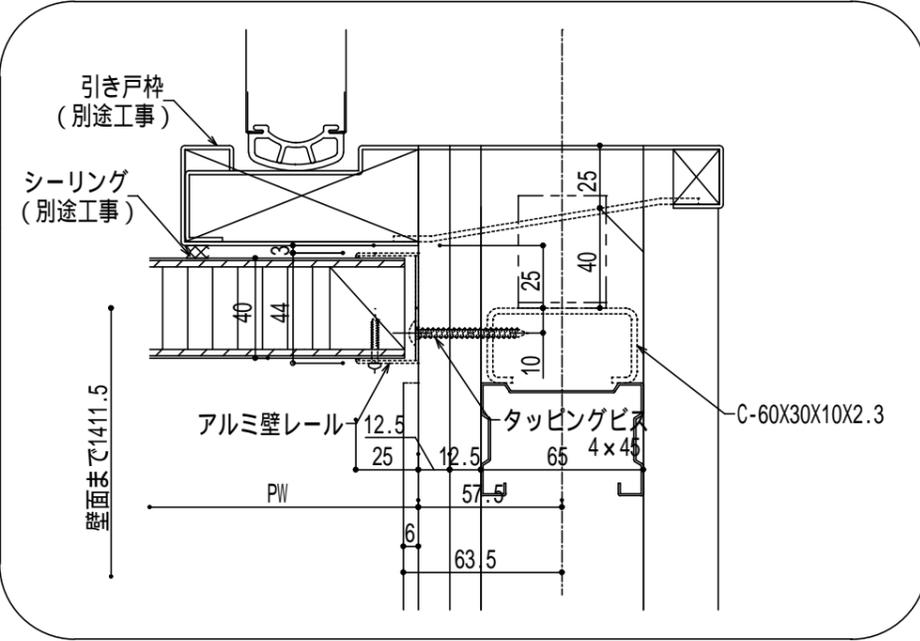
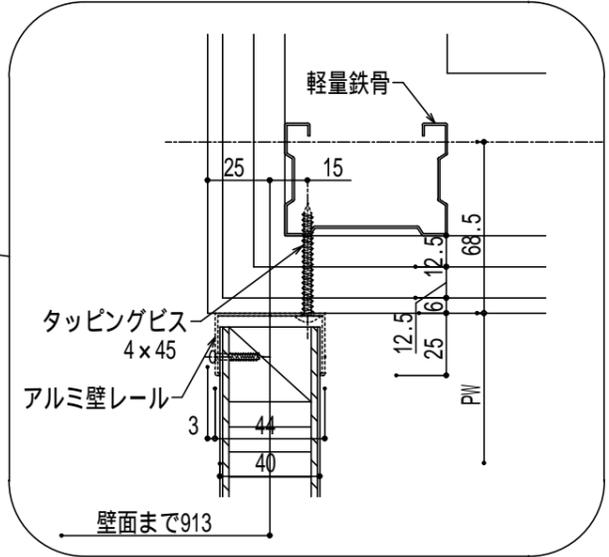
エッジ	7#押し出形材 A6063S-T5、陽極酸化皮膜 CL仕上
壁レール・大手材・コナレール	7#押し出形材 A6063S-T5、陽極酸化皮膜 CL仕上
脚金物	巾木
ピン	ダレビ' ティン
スイッチ (内)	表示' 灯: ^' スト 1812N (SUS304HL)
SK錠	MIWA: OMCCケ-ス' ド' (SUS304HL)
帽子掛戸当り	SUS304HL
笠木戸当り	SUS304HL
笠木レス戸当り	SUS304HL
外開き戸当り	SUS304/A' 裨仕上





男子便所
CH=2400
FL±0

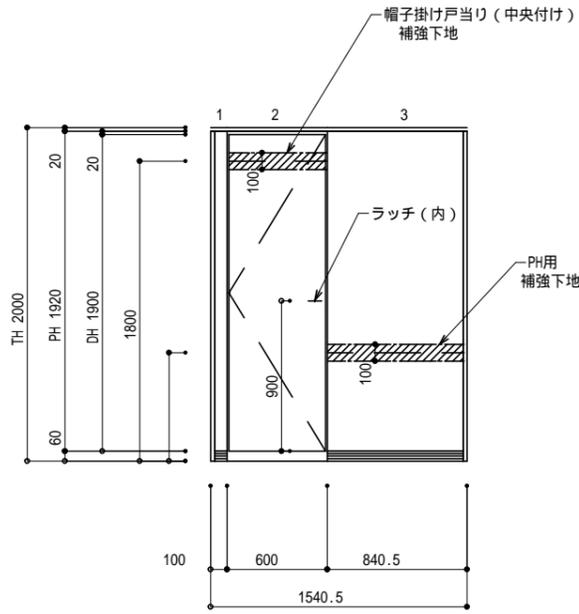
女子便所
CH=2400
FL±0



3

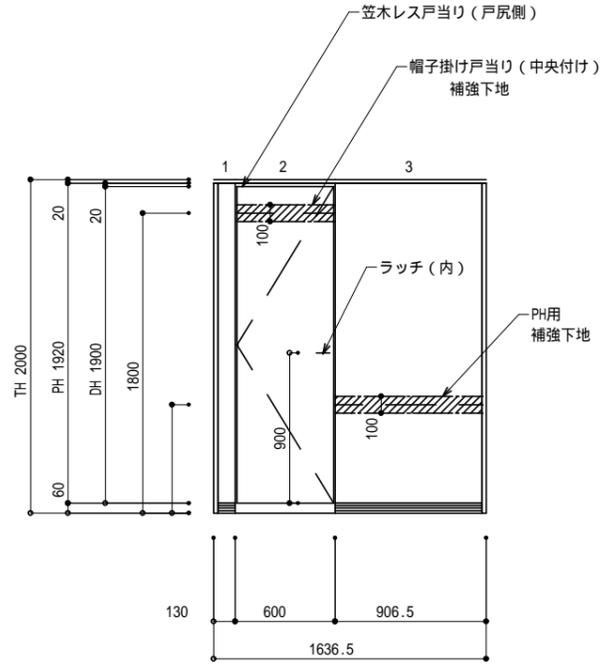
4

TB 1 A 1

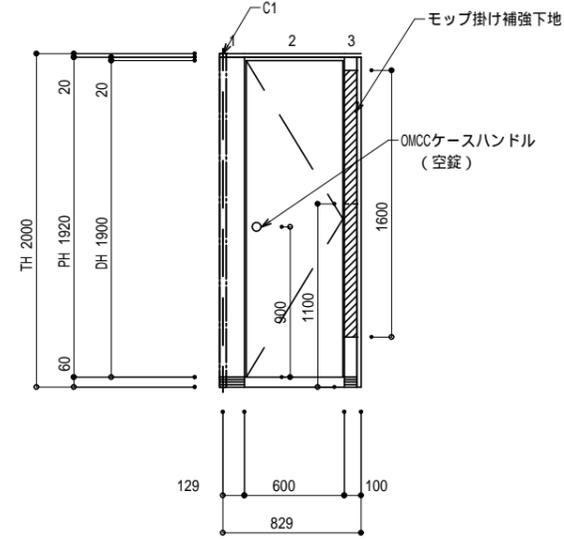


TB 2 B 1

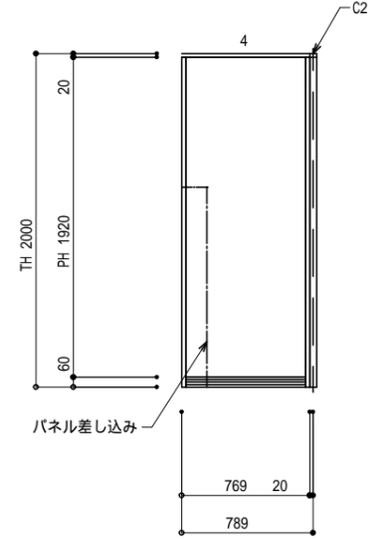
1階 男子便所 女子便所 展開図



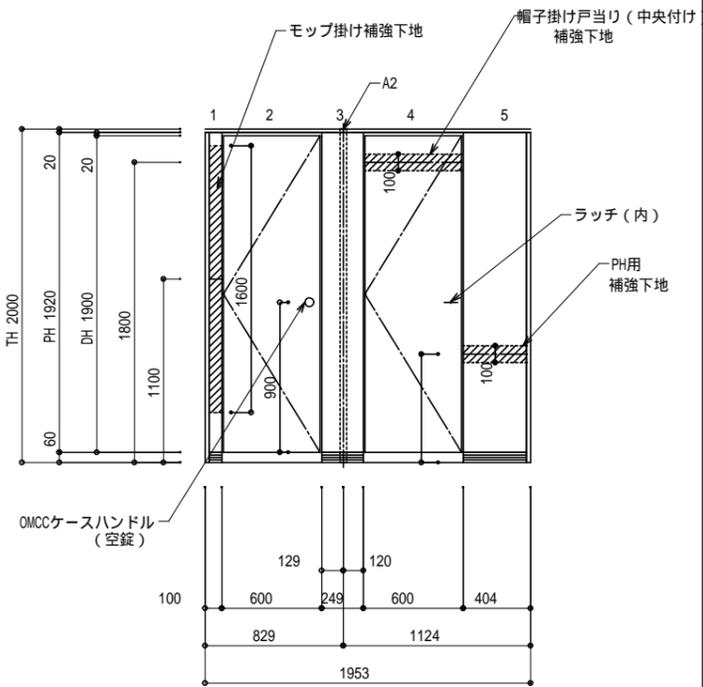
TB 3 C 1



C 2

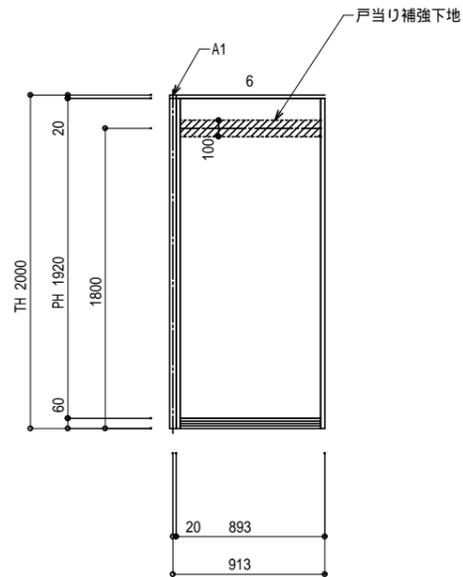


TB 4 A 1

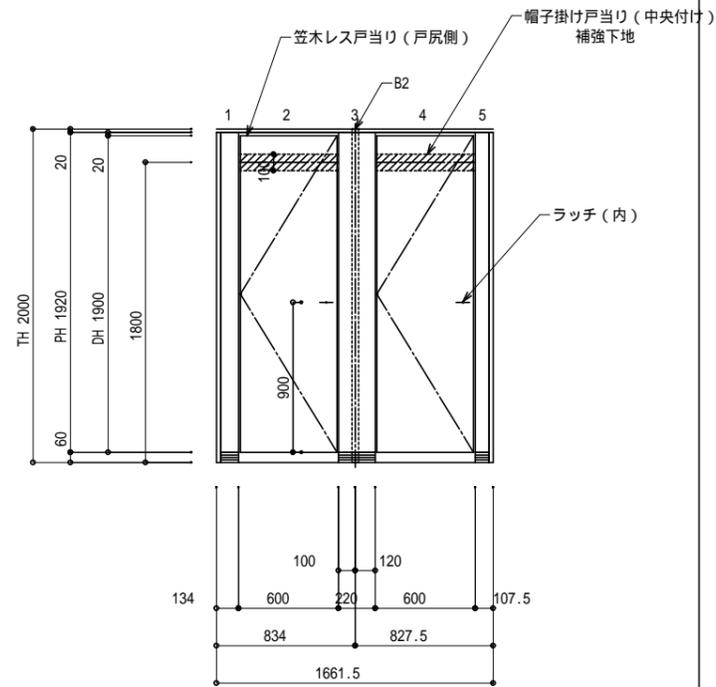


*符号TB-4にはTB-5を含むものとする。

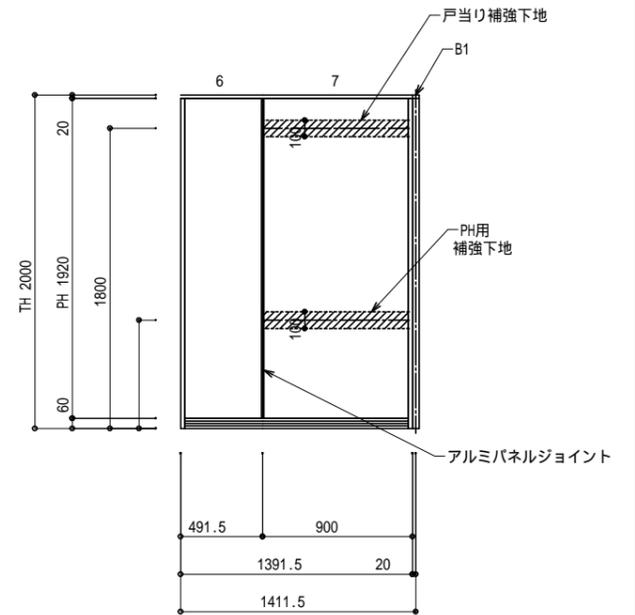
A 2



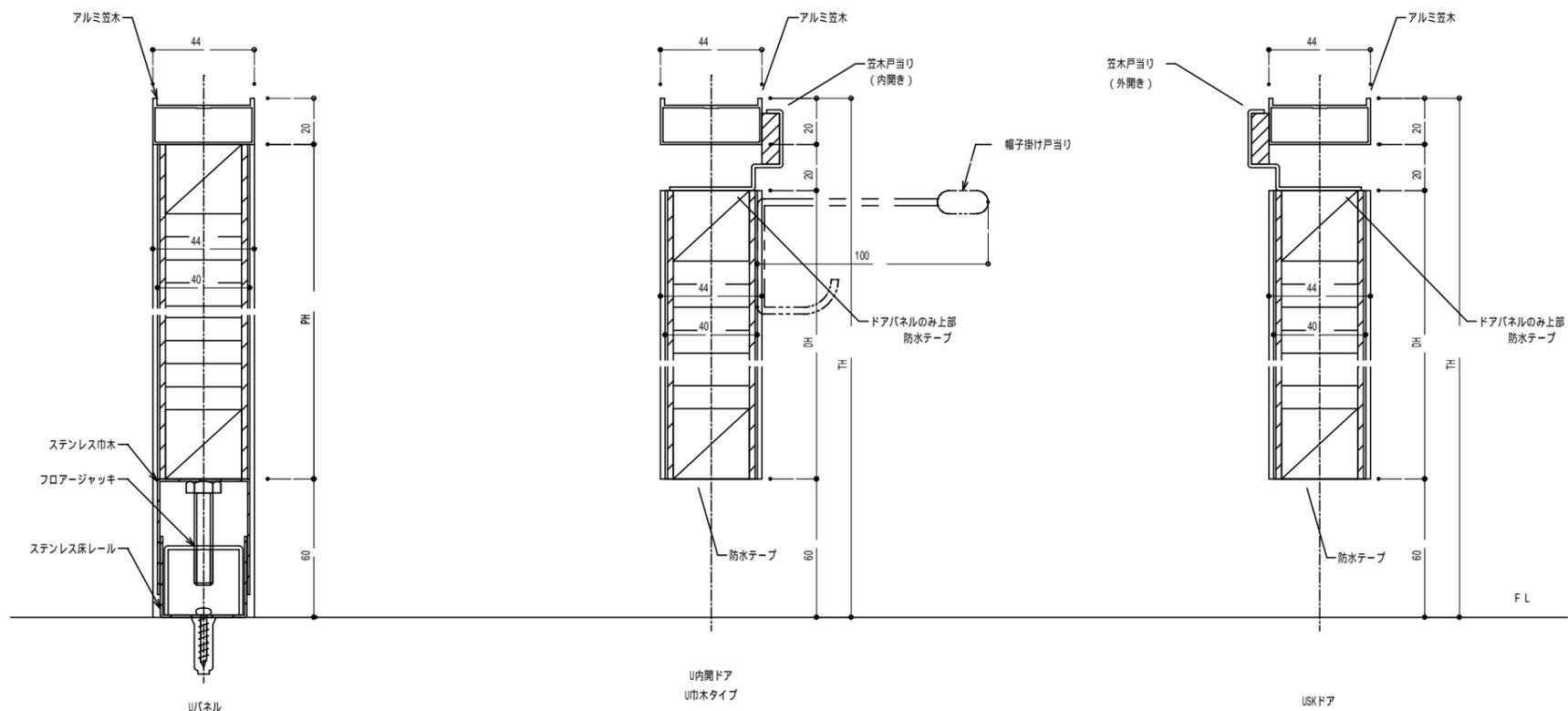
TB 6 B 1



B 2

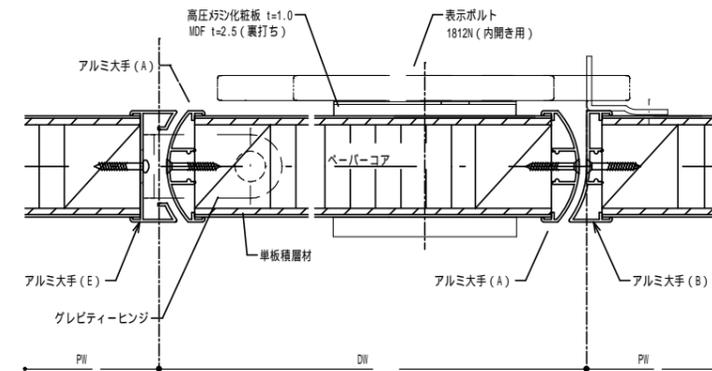


パネル・ドアパネル縦断面詳細

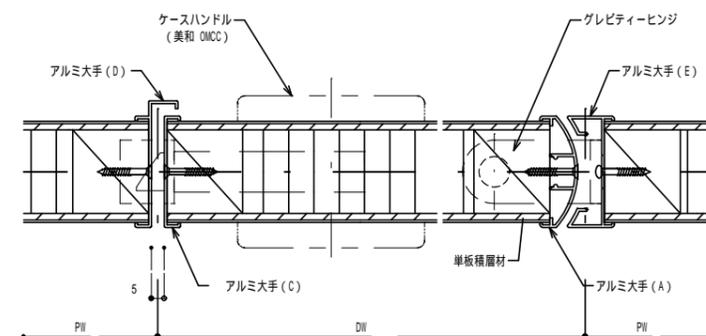


内開きドア横断面詳細

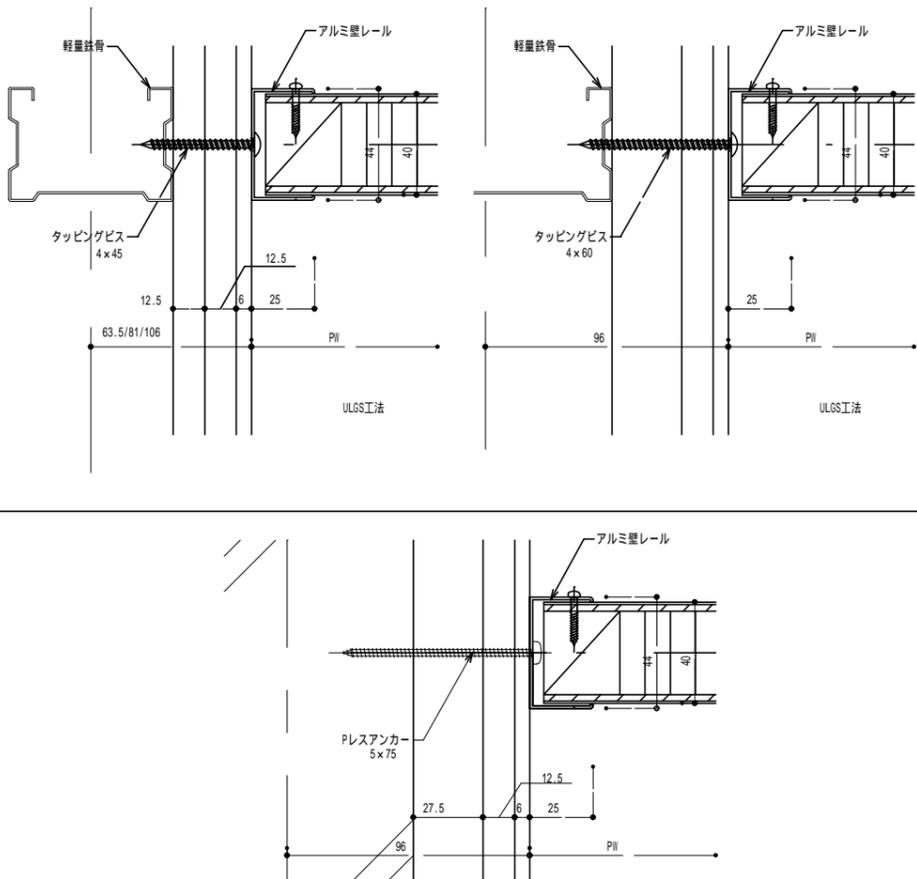
T440_RR_巾木



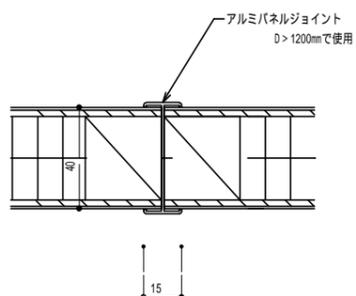
SKドア横断面詳細



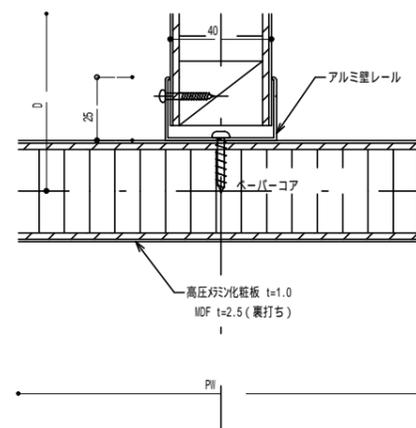
壁面納まり詳細



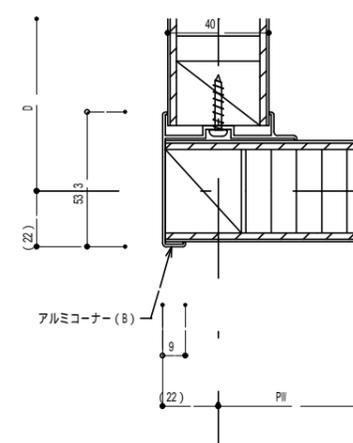
パネルジョイント部詳細



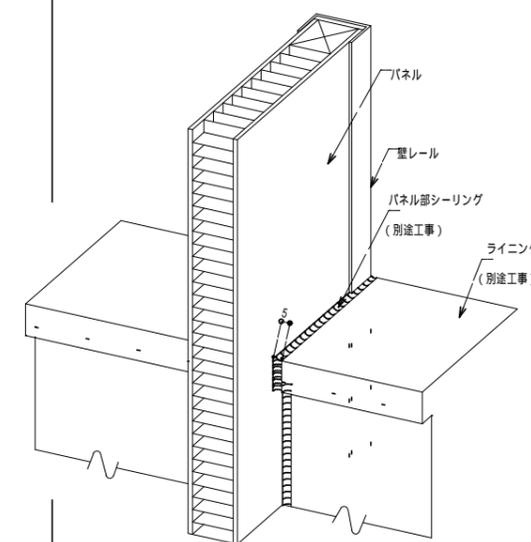
T字パネル詳細



コーナーパネル詳細



パネル優先ライニング分割納まり



右向..配置は平面図参照ください。

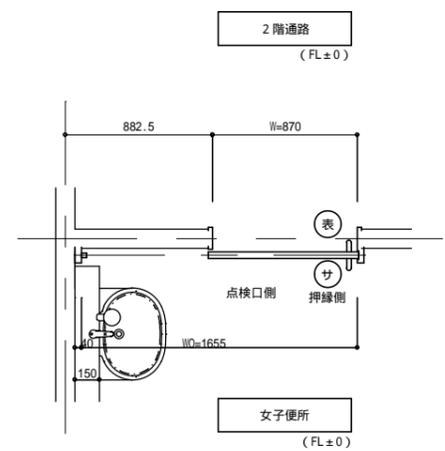
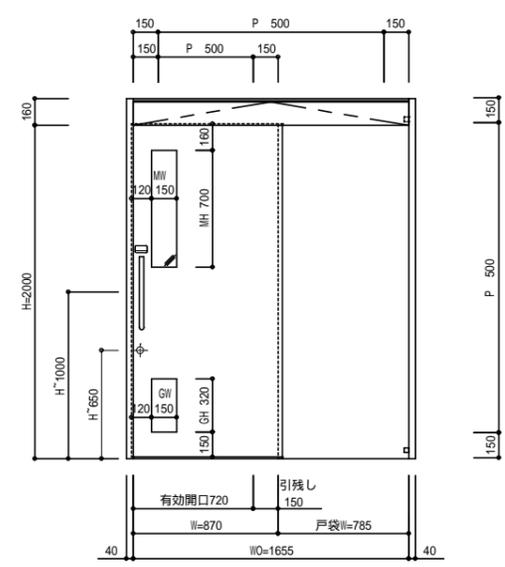
足立建築工房 一級建築士事務所
京都府宇治市木幡平尾 1-65
TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

所長 主任 担当

工事名 Ujiふれあい教室改修工事
図面名 トイレブース詳細図

縮尺 1/2 SHEET A-18 年月日 R7.05

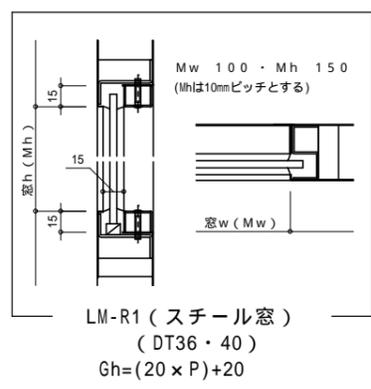
—液型ウレタン塗料は建具には不適合です。
 ゴム接触面が付着によりゴムが軟化したり、塗膜が剥離・変色します。



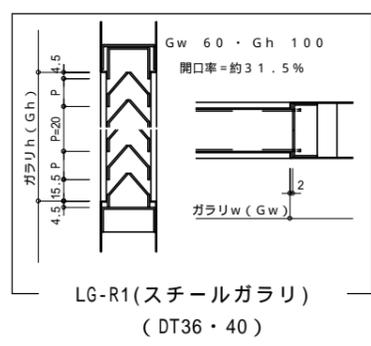
スムードS-NPS
 枠: 1.6t メラミン焼付 色: 3分艶
 扉: 0.6t メラミン焼付 色: 3分艶

符号	勝手	数量	枠性能	充填材	防火区分
LSD 1	R	2	4	ST	指定なし
	L	2			
ガラリ スチール、山型			ガラリタイプ	LG-R1	
ガラス F3			窓タイプ	LM-R1	
金具品名		メーカー・品番	1ヶ所数量	備考	
付属部品		三和標準一式	1		
リッド錠		美和 SW1SD11(L=)	1		
リッドストップ		リョービ SWST-01	1		
リッド錠用シグナ		美和 SWM40-8 dt 40	1		
リッド錠シグナ		美和 SWSD-SKT	1		
引き棒		リョービ SB-SUS425-W	1		

枠: ノックダウン
 製品コード: SSNPS11CF
 KSM33

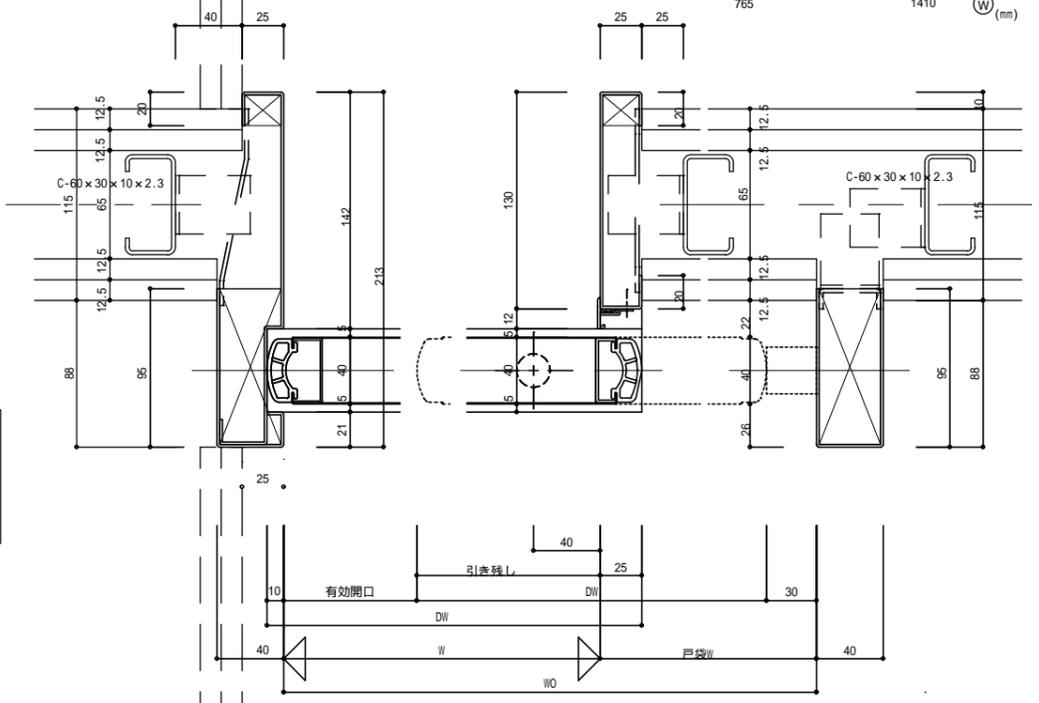
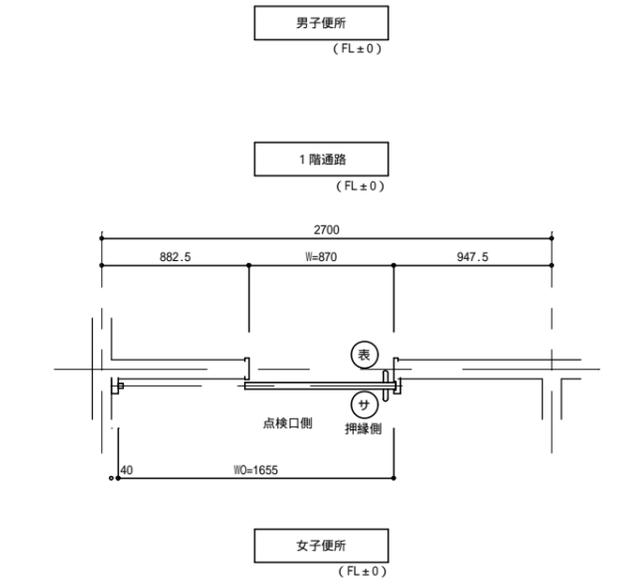
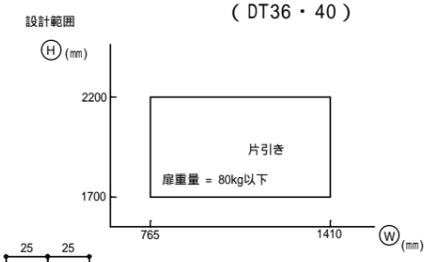
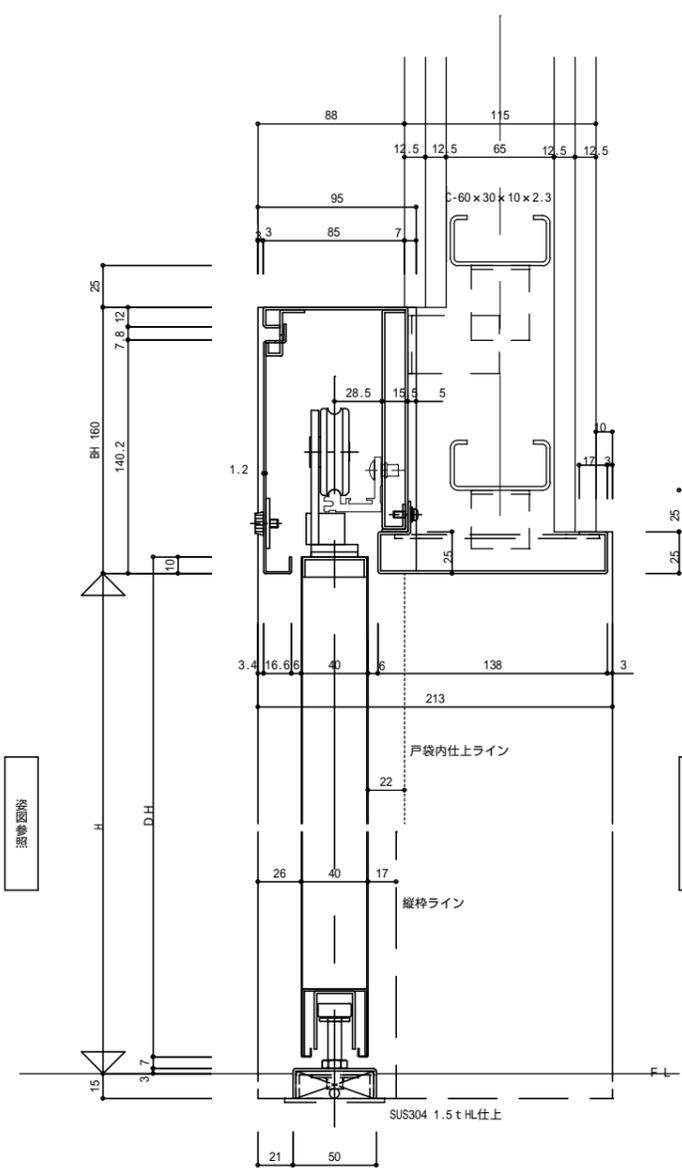
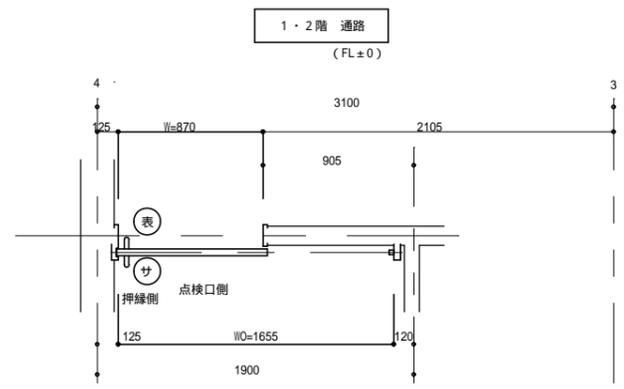


開き戸スリット窓の場合
 150 Mh 1830
 スムードスリット窓の場合
 150 Mh 1900

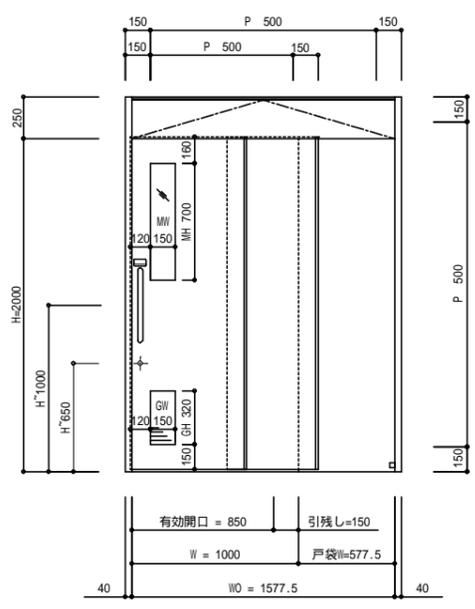


開き戸スリットガラリの場合
 100 Gh 1820
 スムードスリットガラリの場合
 100 Gh 1900

関係式
 DW=W+35
 WO=2W-85
 有効開口=W-150
 戸袋W=W-85



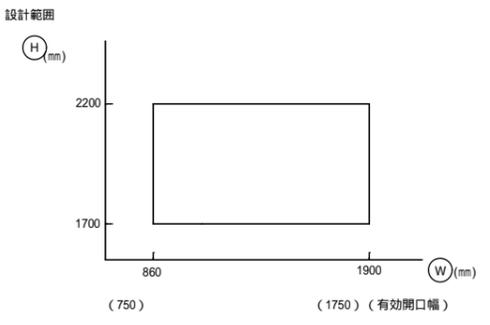
—液型ウレタン塗料は建具には不適合です。
 ゴム接触面が付着によりゴムが軟化したり、塗膜が剥離・変色します。



スムーズ二重引き
 枠：1.6t メラミン焼付 色：3分艶 扉点検逆側：
 扉：0.6t メラミン焼付 色：3分艶 扉点検口側：

符号	勝手	数量	枠性能	充填材	防火区分
LSD 2	R	1	ST	ハニカム	指定なし
	L	0			
ガラリ	スチール、山型		ガラリタイプ	LG-R1	
ガラス	F3		窓タイプ	LM-R1	
金具品名	メーカー・品番	1ヶ所数量	備考		
引戸加サ-	三和制成品	1			
引き棒	ｼﾞﾀﾝ SB-SUS425-W	1	SUS鏡面		
ﾎｯﾄﾞ錠	美和 SW1SD11(T)	1			
ﾎｯﾄﾞ錠用ｼﾘﾝｸﾞ	美和 SIM40-8H dt 40	1			
ﾎｯﾄﾞ錠ｽﾀｲﾌﾟ	美和 SWSD-SKT	1			
付属部品	三和制成品	1			

枠：ノックダウン 扉重量 (D1+D2/2) = 80kg以下
 製品コード：999999



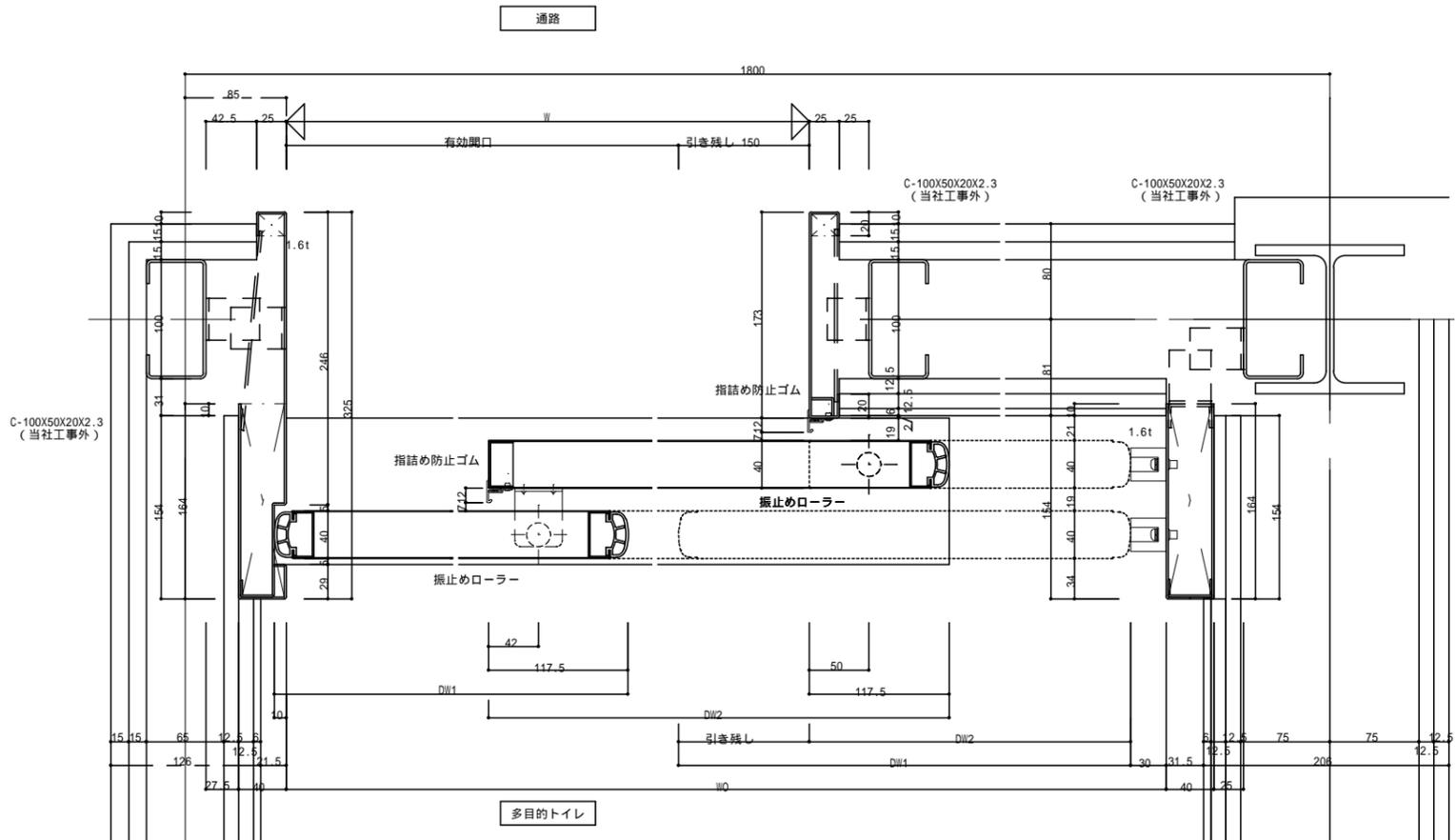
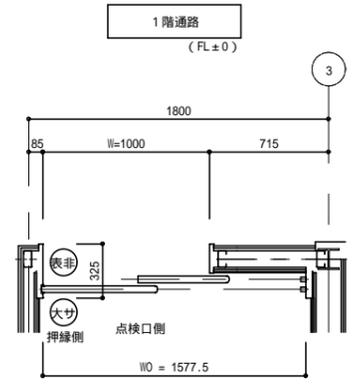
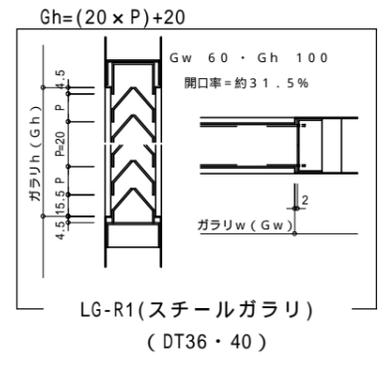
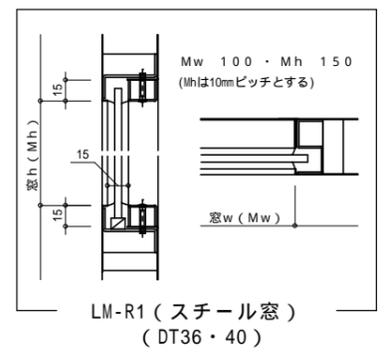
関係式

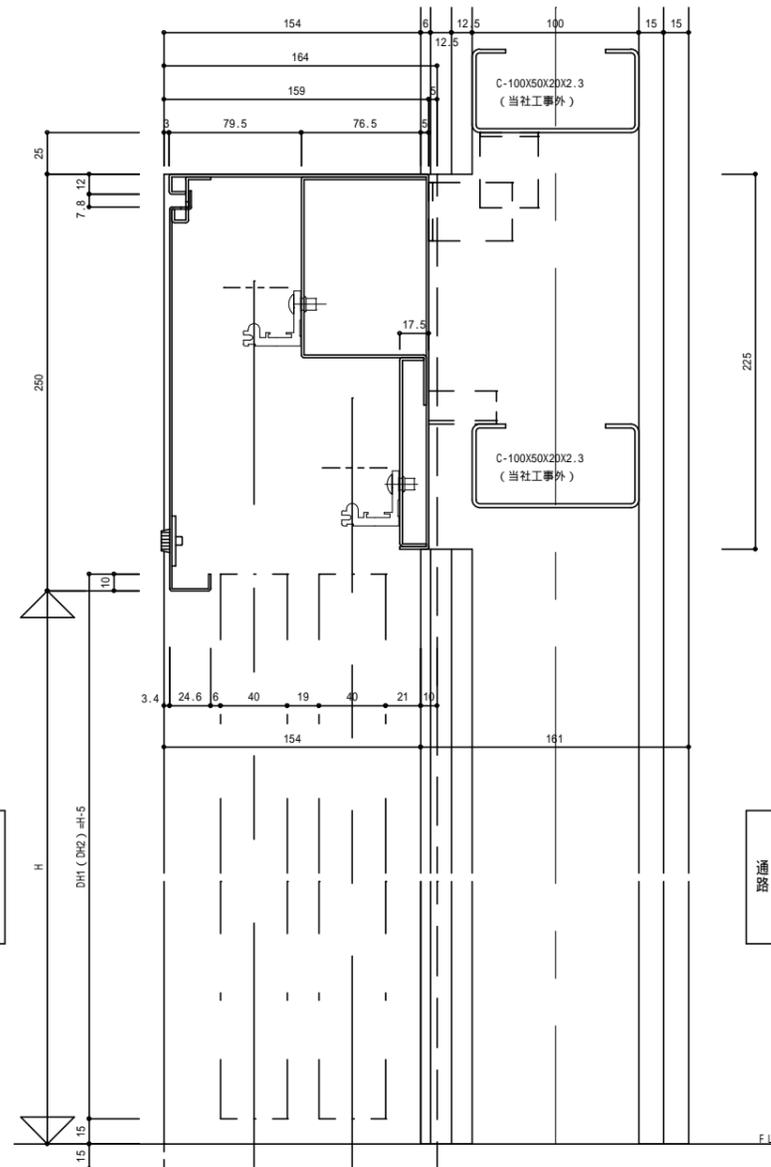
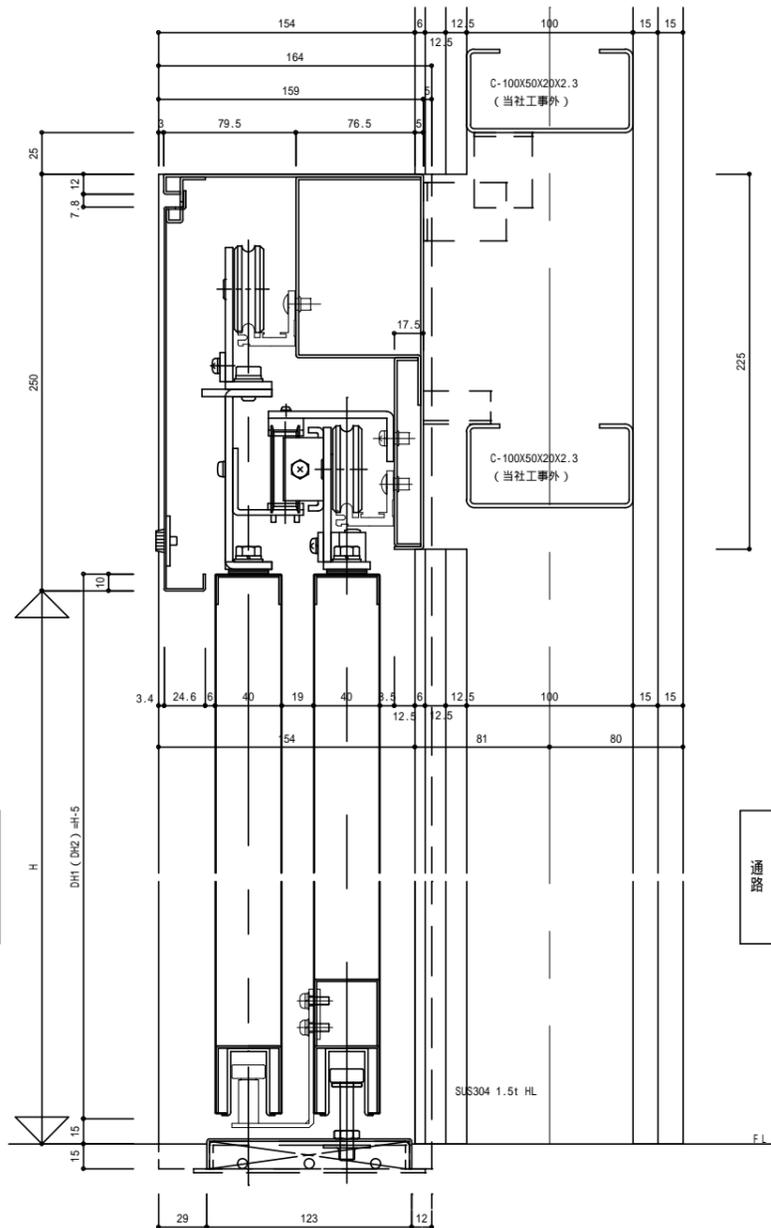
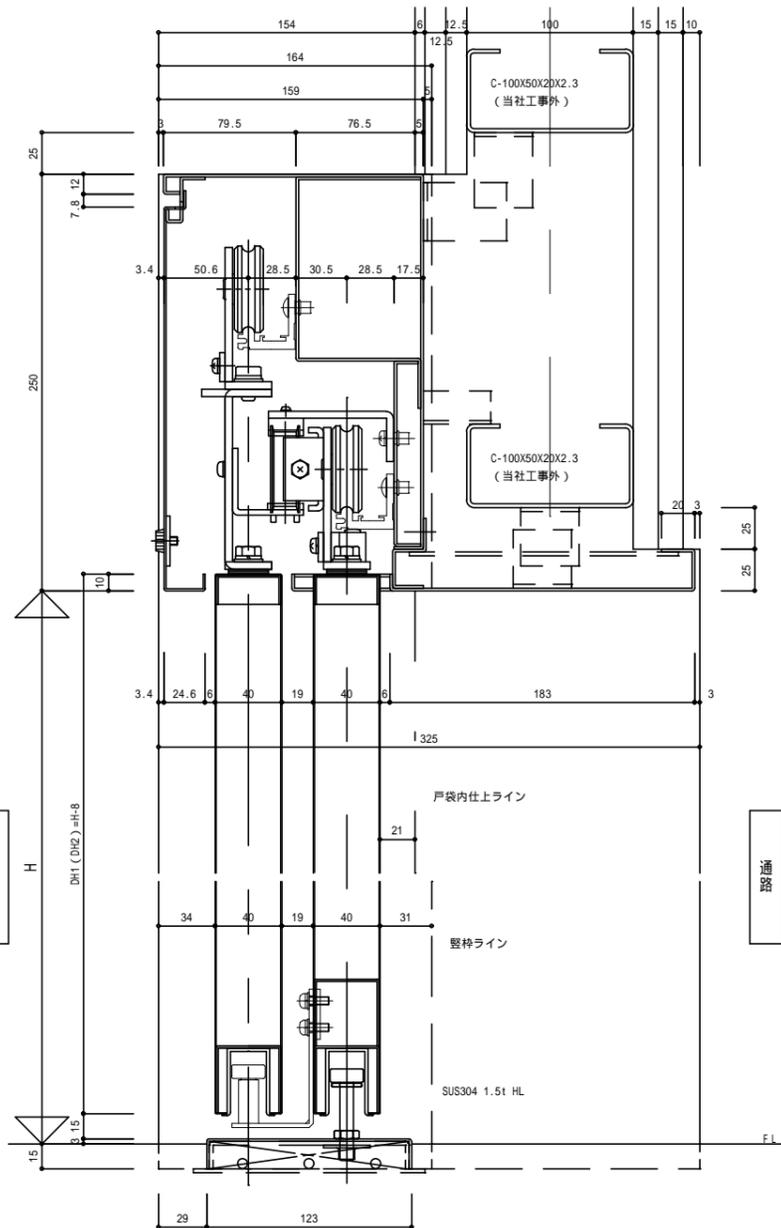
$$DW1 = W / 2 + 197.5$$

$$DW2 = W / 2 + 47.5$$

$$WO = 1.5W + 77.5$$

$$\text{有効開口} = W - 150$$





機械設備工事特記仕様書 1

【工事概要】

1 工事場所 宇治市木幡楯尾47番地の1(旧:木幡幼稚園)

2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備考
					甲 乙	
					甲 乙	
					甲 乙	
					甲 乙	

3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	ふれあい教室棟
空調設備		
換気設備		
排煙設備		
自動制御設備		
衛生器具設備		
給水設備		
排水設備		
給湯設備		
消火設備		
ガス設備		
厨房機器設備		
浄化槽設備		
医療ガス設備		
撤去工事		

- 【特記事項】
- 一般事項
 - 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和 年版」(以下、「標準仕様書」という。),「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和 年版(以下「標準図」という。))及び「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和 年版」による。
 - 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
 - 特記事項

項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。印と印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。

章	項目	特記事項
一	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集(最新版)によるものとする。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、(一社)公共建築協会発行の「建築機材・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気保安技術者	適用する 適用しない
	技能士(一級)	配管(配管工事) 建築板金(ダクト製作及び取付け) 冷凍空調調機器施工
	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まで受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	工事用仮設物	構内につくることができない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が設置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない 設置する(本工事 別途)
	監督職員事務所へ備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所へ備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) ・機械設備工事監理指針 ・機械設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック機械設備工事 ・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)
	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 引き渡しを要するもの【 再生資源利用を図るもの【 右記のほか、再生資源利用を図るもの【 特別管理産業廃棄物 P C B 使用機器 異化リチウム 現場説明書による。】】】
	建設発生土の処理	建設発生土の処理 右記のほか、現場説明書による 構外指定地に搬出処理 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 構内搬出適切処理 (運搬及び処分費は 本工事 別途) 構内指示場所に敷き均し
二	再生資源利用(促進)計画・実施書の提出	再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 詳細は現場説明書「特記事項 14 建設副産物の取扱い 2)再生資源利用(促進)計画・実施書について」による。
	1)「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。	
	2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。	
	3) 冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う(家電リサイクル法対象機器を除く)。(積込: 本工事 別途、処分費: 本工事 別途、運搬費: 本工事 別途)	
	アスベストの処理等	
	1) 次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。	
	ダクトボックス	含有 不含 要調査(分析資料数:)
	配管エルボ部保温材	含有 不含 要調査(分析資料数:)
	煙道の断熱材	含有 不含 要調査(分析資料数:)
	アスベスト成形板	含有 不含 要調査(分析資料数:)
	アスベスト成形板の処理等	
	施工調査	アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認・アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認・施工範囲等の確認 確認範囲 成形板の製造年等の確認 X線解析法
	2) アスベスト含有調査は以下のとおりとする。(ただし、調査費用は 本工事 別途 とする。) J I S A 1 4 8 1 - 2 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又は J I S A 1 4 8 1 - 3 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率の X線回折定量分析方法」による。	
	3) アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督職員との協議による。	

章	項目	特記事項																								
一	工事関係書類	営繕工事契約関係書類提出書類書集 一覧表により提出。 宇治市-A4-7参照 <http://www.city.uji.kyoto.jp>																								
	履行報告	月報 2部 3部 毎月末日、翌月の5日までに提出する。																								
	工事写真	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編(最新版)」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) デジタルカメラで撮影可とする。																								
	完成図書	名称 内容 大きさ 部数 完成図 金文字製本 A4版 1部 完成図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 施工図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書																								
	諸官庁提出書類	副 本 1式 原因 完成図 1部 完成写真 アルバム綴り 2部																								
	電子納品については、現場説明書による。																									
	著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																								
	付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表による。																								
	総合試運転調整(測定結果は報告書にて提出)	風量調整(測定共) 水量調整(測定共) 室内外気温度測定 室内気流及びびじんあいの測定 騒音の測定 別表2による 飲料水の品質の測定 雑用水の品質の測定 室内温度測定(夏冬の切替による)																								
	耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。 2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </table>	設置場所	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)
	設置場所	特定の施設		一般の施設																						
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																					
	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																					
	中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																					
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																						
注1	耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。屋外に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。																									
注2	()内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。																									
注3	設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。																									
注4	上層階の定義は、6階建以下の場合是最上階、7~9階建の場合は上階2階。																									
注5	重要機器(水櫃類)は、下記に示すものとする。(水櫃類にはオイルタンク等を含む。)																									
注6	「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」による形鋼振れ止め支持を行う場合は、S種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。																									
一般用弁	標準仕様書第2編2.2.1(ア)~(シ)によるほか、下記による。 1) 水道直結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。 2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給用水用鋼弁を使用する。																									
フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはペロウズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする。																									
伸縮管継手(鋼管用)	鋼管用伸縮管継手は下記による。 ペロウズ形 スリプ形																									
溶接接合	溶接部の非破壊検査は、適用しない 適用する(放射線透過検査 浸透深傷検査又は磁粉深傷検査)																									
地中埋設配管及び埋設表示用テープ	1) 給水管 地中埋設(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 2) 消火管 地中埋設(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 3) ガス管 地中埋設(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 4) 油管 地中埋設(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 5) プライ管 地中埋設(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 用途表示のあるテープ(幅は150mm以上)で、2倍長以上重ね合わせて使用する。																									
防食処理	土中埋設の排水用埋パイプ鋼管は、防食処理を行う。																									
保温	1) 保温材の使用は、下記による。 給水管・排水管 ポリスチレンフォーム保温材 排煙ダクト・煙道、排気筒 ロックウール保温材 その他 グラスウール保温材 ロックウール保温材 2) 膨脹管及び膨脹水櫃からの補給水管の保温は、冷水管に準ずる。 3) 鋼板製タンクの保温 必要 不要 4) 保温を施す膨脹水櫃等の蓋の保温 必要 不要 5) エア抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜弁までとする。 6) 露出配管の保温外装種別は、下記による。 ・屋内 合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2 カラー亜鉛鉄板 ・屋外 ステンレス鋼板 7) 弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 ・屋内 カラー亜鉛鉄板 ステンレス鋼板 ・屋外 カラー亜鉛鉄板 ステンレス鋼板 8) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 9) 合成樹脂製支持受 硬質ウレタンフォームに準ずるもの ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの																									
塗装	標準仕様書による他下記の配管は塗装(指定色塗装)を行う。ただし保温を行う配管ダクトを除く 屋外(ダクト 配管) 屋内 P S (ダクト 配管) 屋内機械室・電気室(ダクト 配管)																									
吹出口及び吸込口ボックス	ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合は J I S A 4 0 0 9 (空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材)によるものとし、厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものとす。 ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。																									
ステンレス製の板厚	ステンレス製ダクトの板厚は J I S A 4 0 0 9 2 0 1 7 による																									
ボックス	P F 管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。																									
容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。																									
誘導電動機	電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、J I S C 4 2 1 3 (低圧三相かご形誘導電動機-低圧トランナーモータ)による。																									
開放形膨脹タンク等	開放形膨脹タンク、補給水タンク及び消火用充水タンクの材質は次による 鋼板製 ステンレス鋼板製																									
電線及び電線管	電線及び電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による																									

章	項目	特記事項
一	はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	インサート及びアンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 施工後確認試験 行う(国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年度))による。
	防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復旧方式は 遠方復旧式(電気式(定格入力 DC24V 0.6A以下)) 手動復旧式
	消音内貼	ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り(箇所図示)は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は 不要 必要 ・チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。) ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
	ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー類に必要に応じて設ける。
	取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
	機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等(溶融亜鉛メッキ SUS) ビット内 ・その他(一般品) 機器側の材質がSUSの場合は、SUS製とする。
	防火区画	平面図 図示
	掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。 ()書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	天井仕上区分	
	給油設備	地下オイルタンク 設ける 設けない 連隔油量指示計 設ける 設けない 副指示計 設ける 設けない オイルサービスタング 油面計 ゲージ式 ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 給油ポンプの起動、停止制御用 返油ポンプの起動、停止制御用 満油警報 連隔警報(減油 満減油) 油管(露出、トラフ内) 配管用炭素鋼管(黒) 油管(地中) ポリエチレン被覆鋼管
	建物導入部配管(排気及び通気を除く)	標準図 施工4(a) (ルキア・リフトを使用) 標準図 施工5(b) (ホ・リフトを使用) 標準図 施工5(c) (スリ・リフトを使用)
	鋼材	屋外部分 溶融亜鉛めっき(2種35) ステンレス鋼製(SUS304)
	制御及び操作盤	構成 進相コンデンサー 運転時間計 表示等 運転(赤色)及び停止(緑色)表示 保護継電器の動作表示 接点及び端子 遠方発停用端子 湿度調節器用端子 運転時間表示用端子 温水出入口温度用端子 冷水出入口温度用端子 消費電力表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) 給水量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) 燃料消費量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用)
空	主方式 全空気方式(中央 各階ユニット) ファンコイル・ダクト併用方式 個別方式 主要熱源機器 吸収冷温水機 チリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット 空冷ヒートポンプ方式パッケージ型空調機(EHP GHP)	
気	設計時の温湿度条件 場所 屋外 屋内(調整目標値) 配膳室 時期 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 冬期 % % % % 夏期 % % % %	
調	長方形ダクトの工法 アンクルフランジ工法 コーナーボルト工法(共棒フランジ工法 スライドオンフランジ工法) ダクトの分岐方法 割込み工法 直付け工法 配管材料(図面特記部分は除く) 冷温水管 配管用炭素鋼管(白) 冷却水管 配管用炭素鋼管(白) 塩化ビニル鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) 空調用排水管 配管用炭素鋼管(白)(ねじ接合 MDジョイントによる接合) 配管用水管 配管用炭素鋼管(白) 水配管用亜鉛めっき鋼管 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VF) ビニル管(VF) 保温VF管 補給水管 配管用炭素鋼管(白) 膨脹管 配管用炭素鋼管(白) エア抜き管 配管用炭素鋼管(白) 冷媒管 鋼管 断熱材被覆鋼管(ガス管:ハイレッド仕様) パッケージ型空調機と2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。	
和	冷媒管接続方法 火無工法とする。	
設	温度計 工業用バイメタル式温度計 ガラス製棒状温度計 ガラス製電管温度計 定風量ユニット メカニカルタイプ 変風量ユニット 風速センサータイプ(プロペラ形センサー 熱線センサー) ファンコイルユニット 風量分配ダクトは 亜鉛鉄板製 自己消火性のポリスチレンフォームなど パナソニック バーナー制御方式 オン・オフ制御 ハイ・ロー制御 比例制御 電動機盤 進相コンデンサー(要 不要) 排熱投入再生器 直ち吸収冷温水機に(要する 不要である。) 高温再生器の構造 図面による。 コージェネレーション装置 発電機 燃料電池 熱回収装置 温水熱交換機 排ガスボイラー 排ガス熱交換機 熱回収ポンプ その他 その他装置等 補機付制御装置 冷却塔(放熱用)	
備	集中リモコン 表示機能 屋外機吸込温度 空調エネルギー使用量按分 運転時間積算 室内温度 データ管理機能 屋外機吸込温度 空調エネルギー使用量按分 運転時間積算 室内温度 外部記憶媒体への出力	

機械設備工事特記仕様書 2

章 項 目	特 記 事 項			
空 気 調 和 設 備	鋼板製煙道	厚さ 3 . 2 mm 4 . 5 mm		
	ばい煙濃度計	ばい煙濃度計の取付座 伸縮継手	ばいじん量測定口 掃除口	
	瞬間流量計	ファンなし (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)	ファンなし	
	保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠ぺい部 不要 必要 露出部 保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) カラー亜鉛鉄板 ビニル化粧テープ巻き ・屋外 ステンレス鋼板 保温化粧ケース (樹脂製 アルミ合金製) ・保温化粧ケースの下部カバー 必要 不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。		
換 気 設 備	ダクトの工法	アングルフランジ工法 コーナーボルト工法 (共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法) スパイラルダクト アルミフレキシブルダクト		
	ダクトの分岐方法	給気ダクト 配気ダクト	翻込み方式 直付け方式	
	厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。		
	排気フード 排気ウェザーカバー	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板 (補強共) 亜鉛鉄板 2) 排気フード取りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 本工事 別途工事 3) グリスフィルターの予備 不要 必要		
排 煙 設 備	保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 必要 必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要	不要 必要 不要 必要 不要 必要	
	排煙対象部分	廊下 事務室 図示	最大面積	m ²
	ダクトの種類	高圧1ダクト	高圧2ダクト	
	ダクトの工法	アングルフランジ工法		
設 備	ダクトの材料	亜鉛鉄板製	普通鋼板製	
	排煙口	1) 形 状 スリットフェース形 パネル形 ダンパー形 2) 排煙口の開放 手動 (機械式 電気式) 煙感知器連動 3) 復帰装置 手元復帰式 (手動式 電気式) 遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との取り付け配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。		
	保温	床下及び暗渠内の保温	不要 必要 (図示)	
	自動制御	図面による。		
衛 生 器 具 設 備	小便器用節水装置	電気供給方式	A C電源 乾電池 水流発電充電電池	
	自動水栓	電気供給方式	A C電源 乾電池 水流発電充電電池	
	大便器用洗浄弁	操作方式	手動式 電気閉閉式 (センサー式 タッチスイッチ式)	
	水石けん入れ 身障者用器具	手洗器一体型	手洗器分離型	
給 水 設 備	給水方式	水道直結方式	高置タンク方式 増圧ポンプ方式 (水道用直結加圧形ポンプユニット)	
	配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管	ステンレス鋼管 (S U S 3 0 4) (呼び径60 S u以下は拡管式、呼び径75 S u以上は溶接接合) ビニル管 (H I V P) ポリ粉末ライニング鋼管 (S G P - P B , S G P - F P B) 塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A , S G P - F V A) 保温付き (保護材) ポリブデン管	
	配管材料 (図面特記部分は除く)	地中配管 [屋外]	ステンレス鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径60 S u以下は拡管式、呼び径75 S u以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (5 0 以下) (2 種 1 種) (ポリエチレン管の接合方法は 電気融着 メカニカル) ビニル管 (H I V P) ポリ粉末ライニング鋼管 (S G P - P D , S G P - F P D) 塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D , S G P - F V D)	
	配管材料 (図面特記部分は除く)	便所配管 ヌット埋設配管	ステンレス鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径60 S u以下は拡管式、呼び径75 S u以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (5 0 以下) (2 種 1 種) ビニル管 (H I V P) ポリ粉末ライニング鋼管 (S G P - P D , S G P - F P D) 塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D , S G P - F V D) 保温付き (保護材) ポリブデン管	
緊急遮断弁装置	要	不要		
	駆動方式	電気式	機械式	
量水器	現地表示式 (直読式) 遠隔表示式			

章 項 目	特 記 事 項			
給 水 設 備	水栓柱	合成樹脂製 (7 0 x 7 0 x 1 3 0 0 H) ステンレス製 () アルミニウム合金製 () 特記なき場合、水栓取付け高さは約6.00とする。		
	管の埋設深さ	1) 一般敷地 3.00mm 2) 構内車両通路 6.00mm 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。		
	加入金・負担金	不要 必要 (別途 本工事)		
	本管引込工事	本工事 別途工事		
排 水 設 備	排水方式	汚水と雑排水 [屋内] 汚水・雑排水と雨水 [屋外]	分流式 合流式 分流式 合流式	有り (雑排水 汚水 雨水 湧水 浄化槽2次側) なし
	放流式	汚水 雑排水 雨水ポンプアップ 湧水ポンプアップ	直放流下水管 浄化槽 直放流下水管 浄化槽 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹	別途樹・側溝
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 屋内汚水排水管	排水用塩ビライニング鋼管 (D - V A) 鋼管 (S G P W) (ねじ接合 M Dジョイントによる接合) ビニル管 (V P) 耐火二層管	
	配管材料 (図面特記部分は除く)	通気管	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 鋼管 (S G P W) (ねじ接合 M Dジョイントによる接合) ビニル管 (V P) 耐火二層管	
給 湯 設 備	配管材料 (図面特記部分は除く)	地中配管 [屋内]	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (R E P - V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) ビニル管 (V P)	
	配管材料 (図面特記部分は除く)	地中配管 [屋外]	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (R E P - V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U) ビニル管 (V P) ビニル管 (V U)	
	配管材料 (図面特記部分は除く)	鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、塩ビライニング鋼管 (S G P - V A , S G P - F V A) (地中配管は S G P - V D , S G P - F V D) とし、継手はフランジ又はハウジング形継手とする。		
	給湯試験継手	必要 (図示箇所に取付ける)	不要	
消 火 設 備	負担金	不要 必要 (別途 本工事)		
	本管接続工事	本工事 別途工事		
	給湯方式	中央式 局部式	ガス湯沸器	
	配管材料	鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ステンレス鋼管 圧縮・プレス接合 耐熱性塩ビライニング鋼管 保温付き (保護材) ポリブデン管 架橋ポリエチレン管		
ガ ス 設 備	保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2-3.5による。		
	消火設備の種類	屋内消火栓 泡消火 連結送水管	スプリンクラー 不活性ガス消火 ()	
	表示灯	屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。		
	配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 地中配管	配管用炭素鋼管 (白) 圧力配管用炭素鋼管 (白) 消火用ポリエチレン管 (P E) 外面被覆鋼管 (S G P - V S)	消火用ポリエチレン管
設 備	保温	消火用充水タンクの保温を 消火用呼水タンクの保温を 屋外露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を	施工する (膨張タンクによる) 施工しない 施工する (膨張タンクによる) 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる)	
	ガスの種類	都市ガス (発熱量 4 5 , 0 0 0 k J / N) 液化石油ガス (5 0 k g 本立)	KJ / N m ³) 本立	
	ガスメーター	親メーター	貸与品 購入	
	配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 屋内外地中配管	配管用炭素鋼管 (白) ポリエチレン被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管	
設 備	都市ガスの場合は、供給者仕様による。			
	地中埋設管の接合法	S G M工法 ネジ工法 P E管工法		
	ビット内施工法	溶接工法		
	負担金	不要 必要 (別途 本工事)		
本管接続工事	本工事 別途工事			
設 備	掘削工法	バーカッション式 ロータリー式	ダウンザホールハンマー式	
掘削工法	掘削工法	掘削工法	掘削工法	
掘削工法	掘削工法	掘削工法	掘削工法	
掘削工法	掘削工法	掘削工法	掘削工法	

その他	コア抜き (穴径 1 0 0 mm)	鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 参考メーカー 日本無機機 ハンディサーチRCレーダー N J J - 1 0 5 型同等品
	校正記録	試験機器類の校正記録を提出する。
	交通誘導員	
	保安器材	カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
鉄板敷き		

別表 付属品・予備品 鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパンナー、ハンマー)	マンホールフック	パイプレンチ	ポンプブライヤー	ラバーカップ (大、小)
イーザーキャビネット	箱	キーボックス		

盤類予備品 (ランプ及びヒューズの 1 0 0 %)

試験・検査

水圧試験	排水満水試験	排水通水試験	機器類動作試験	風量測定	吹出口温度測定
気密試験	点火試験	機器類動作試験	絶縁試験		
騒音測定	振動測定	水質検査	水槽水張り試験	アンカー引張試験	

凡 例

記 号	名 称						備 考
		S G P - P B	H I V P	V P	FDPD-VP PS・2階	その他	
———	給水管 (地中埋設、土間下部分)						
———	給水管 (便所・一般部分)						
—○—	屋外汚水管 (便所・一般部分)						
———	雑排水管 (便所・一般部分)						
-----	通気管 (便所・一般部分)						
—X—X—X—X—	撤去汚水管						
—X—X—X—X—	撤去雑排水管						
—X—X—X—X—	撤去給水管	VLP-VA					
—X—X—X—X—	撤去給湯管			銅管			
—X—X—G—X—X—	撤去ガス管			白ガス管		大阪ガス	
●FE	埋設表示ピン (鋼製)						
□PC	埋設表示ピン (コンクリート製)						

製造業者指定

NO	品 目	製 造 者 名 簿
1	衛生陶器及び附属品	TOTO (株) (株) LIXIL
2	排水金具 (マンホール・掃除口等)	ガイドレ (株) (株) 小島製作所 福西鋳物 (株)
3	送風機、換気扇	三菱電機 (株) 松下エコシステムズ (株)
4		

- 1) 上表中 印を適用する
- 2) 管材は下記の通りとする
- | | |
|-------------|--------------------|
| S G P - P B | 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 |
| S G P (白) | 配管用炭素鋼鋼管 |
| V P | 硬質塩化ビニル管 |
| H I V P | 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 |

保温・塗装の種別

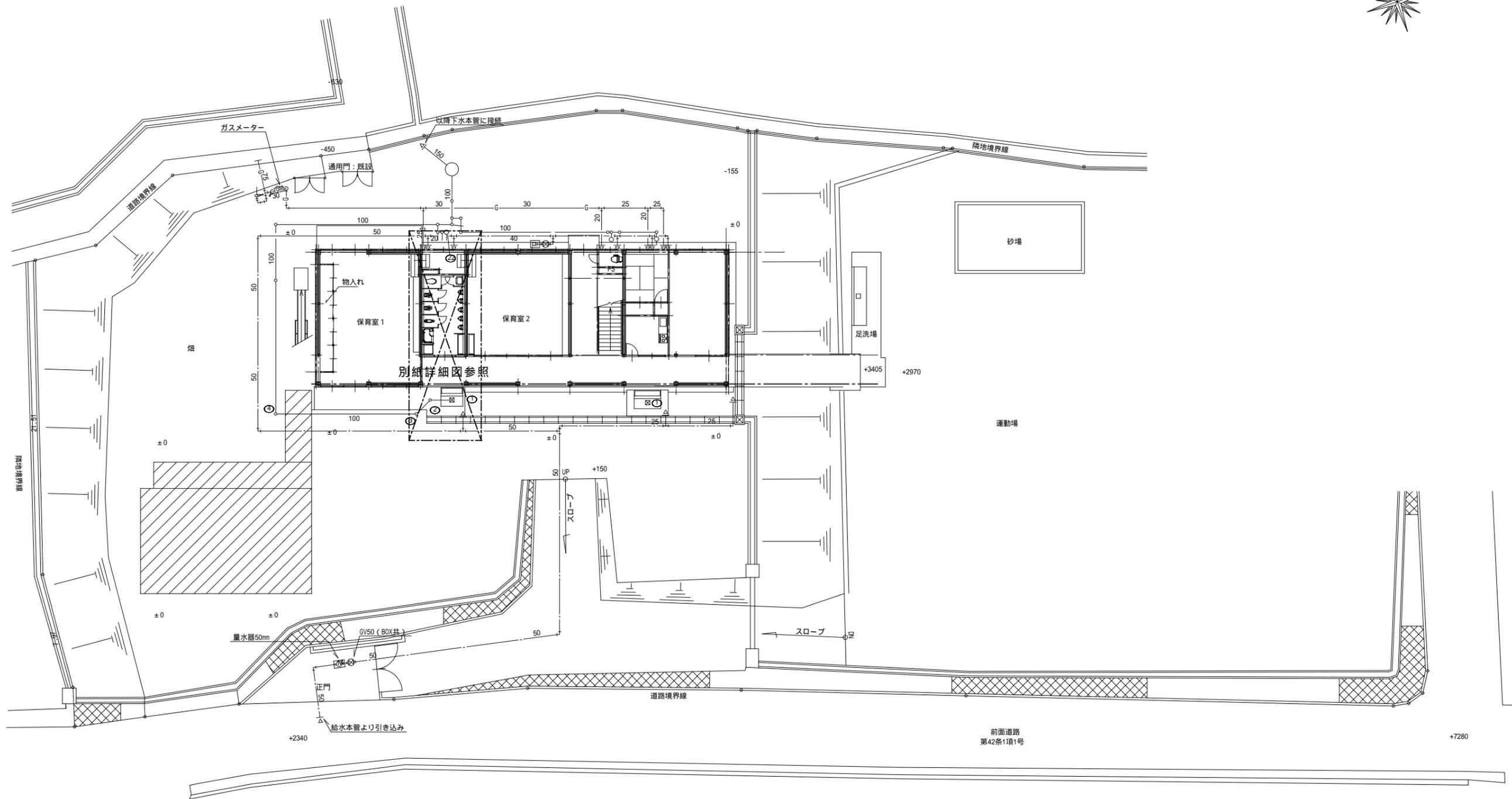
名 称	管 材	屋内露出		屋内		屋外露出	コンクリート埋めこみ
		屋内露出	天井インベイ 床下インベイ	P S			
給水管	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	D	D		B	C	防食テープ巻
排水管	硬質塩化ビニル管	—	—	—	B	—	—
排水管	耐火二層管	—	—	—	—	—	—

保温材料及び施工順序

記号	保 温 材	施工順序
B	ポリスチレンフォーム保温筒 (20mm)	粘着テープ+アルミガラスクロス・ブ
C	ポリスチレンフォーム保温筒 (20mm)	粘着テープ+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板 (SUS304, 0.2mm) つや消し
D	ポリスチレンフォーム保温筒 (20mm)	粘着テープ+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス

塗装及び防食施工順序

記号	施工順序
I	錆止め2回 (亜鉛鍍金部のみ下地処理としてエッチングプライマー1回+錆止め1回)
J	防食テープ巻き (ハ・フラップ2回巻き)



 足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040	所長	主任	担当	工事名	Ujiふれあい教室改修工事	縮尺	SHEET	年月日
				図面名	配置図	1/200	M-04	R7.05

衛生器具表 新設

品名	参考品番(TOTO)	附属品	参考品番(LILIX)	附属品	計
洋風大便器	CS597BCS	SH596BAYR TC301 YH702 付属金具一式 掃除口付 便器ふた有	BC-P20SUM	DT-PA250U CF-49AT CF-63HST 付属金具一式 掃除口付 便器ふた有	5
小便器	US900RX1X	ターゲットマーク付き AC100V 付属金具一式	U-A51AP-T1B	ターゲットマーク付き AC100V	2
掃除流し	SK22A	TK22 T23AE20C T37SGEP TN114 T9R (Sf) 付属金具一式	S202A	LF-7E-19-U SF-20SAF-P SF-10E SF-202 付属金具一式	2
洗面器	L351CM	TLE26SS1A TLDP2105JA TS126ADR 自動水栓 カウンター式 付属金具一式	L2094CL	AM-300CV-1 LF-105PAL 自動水栓 カウンター式 付属金具一式	3
車いす対応便器	CS20AB	SH30BA TCF5841P EWC283CR EWC385CS(ロータンク) TCA348 YH702 付属金具一式	BC-220SK	DT-K250 CW-KA32QC-C KFC-271T1U2 KFC-270T1U KFC-271T1U2 付属金具一式 CF-63HST	1
多目的洗面器	L270CM	TLE28SS1A TLDP2105JA TS126ADR TL220D	L275FCR-H	AM-311CV-1	3
化粧鏡	YM4510FA	耐食鏡 寸法 450X1000H	KF-4510A	寸法 450X1000H	3
化粧鏡	YM4560FA	耐食鏡 寸法 450X600H	KF-4560A	寸法 450X600H	9
可動式テスリ	T112HK8R	T110D17S	KF-471EH70JU	KF-019	1
L型テスリ	T112CL12	T110D3R 700X700X230	KF-926AE80D25	KF-016	6
小便器テスリ	T112CU22	T110D3R	KF-701AEJ	KF-016	2
横水栓	T23BNR13C				12
横水栓	T200SNR13C				3
横水栓	T28AUNH-13				3

衛生器具表 撤去

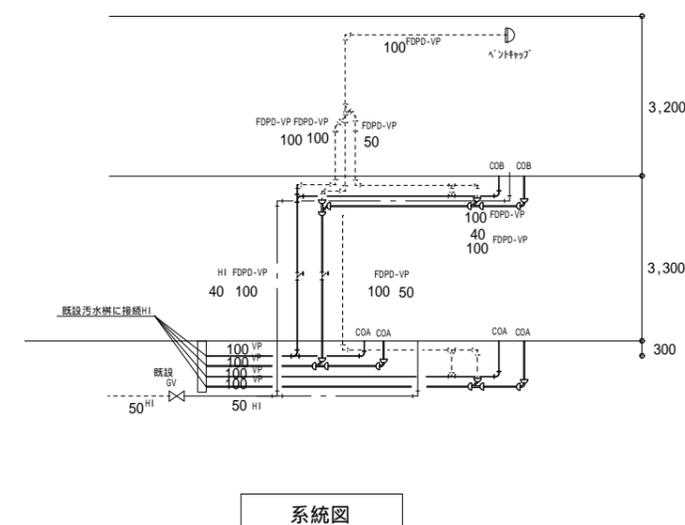
品名	品番	1階便所	2階便所	1階教室	2階教室	屋外洗場	合計
洋風大便器	CS60B	1	1				2
洋風大便器	C425B 幼児用	2	2				4
和風大便器	C103VCS 幼児用	1	1				2
小便器	U310 幼児用	5	5				10
掃除流し	SK22A	1	1				2
シャワーパン	PFS1100	1	1				2
洗濯パン	PWSP64ASW	1	1				2
横水栓	T200SNR13	1	1			3	5
横水栓	T23BNR-13	3	3	3	6	3	18
化粧鏡	TS119ASY-3	3	3	3	6		15

機器表 新設

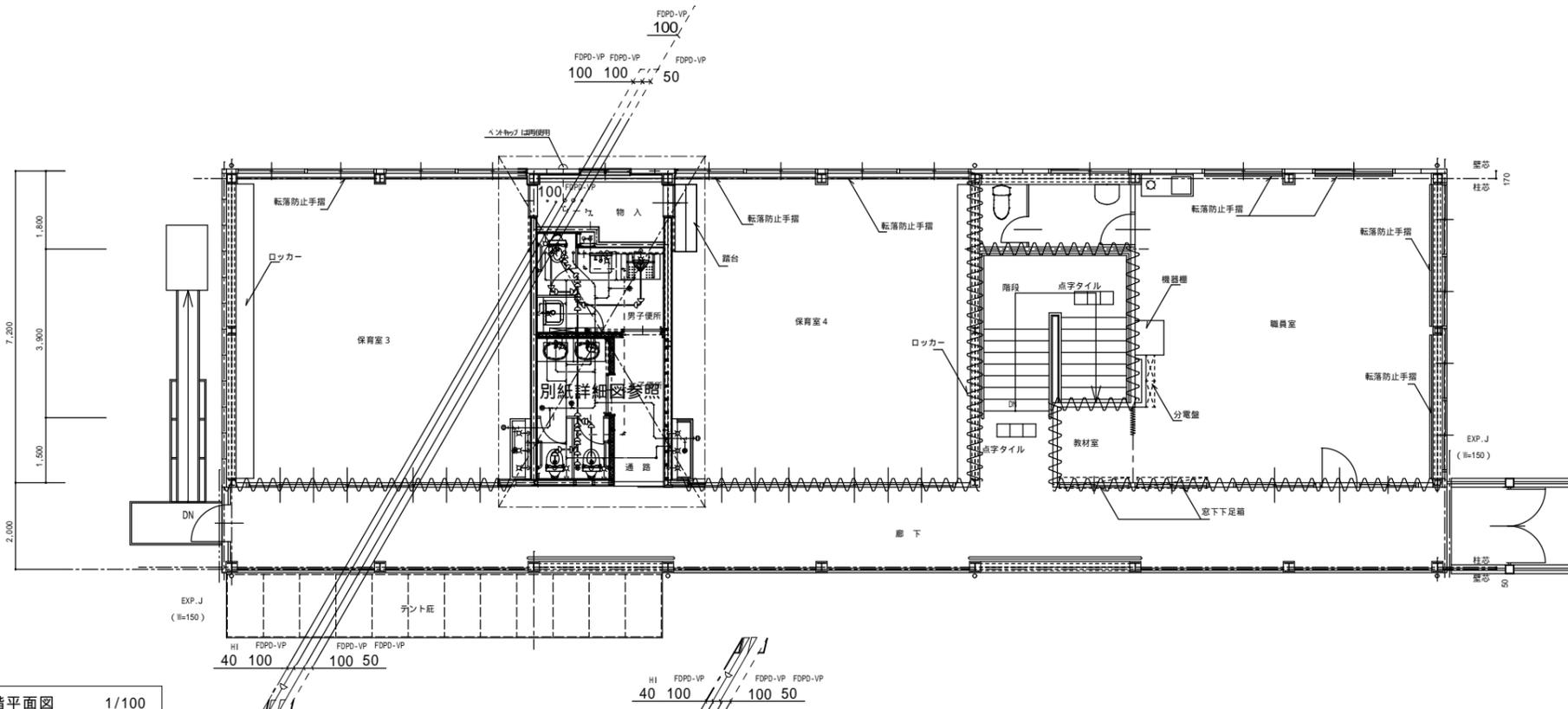
記号	機器名	仕様	電気容量	×v w	台数	品番、備考
F-1	中間ダクトファン	プラスチックファン ダクト径 150 送風量 400m ³ /h以上 静圧 40pa 送風電動機 1 ×100v x 58.0w 重量 8.2kg 排気グリル P-13GLC4型 X6			2	V-20ZM5型 便所

機器表 撤去

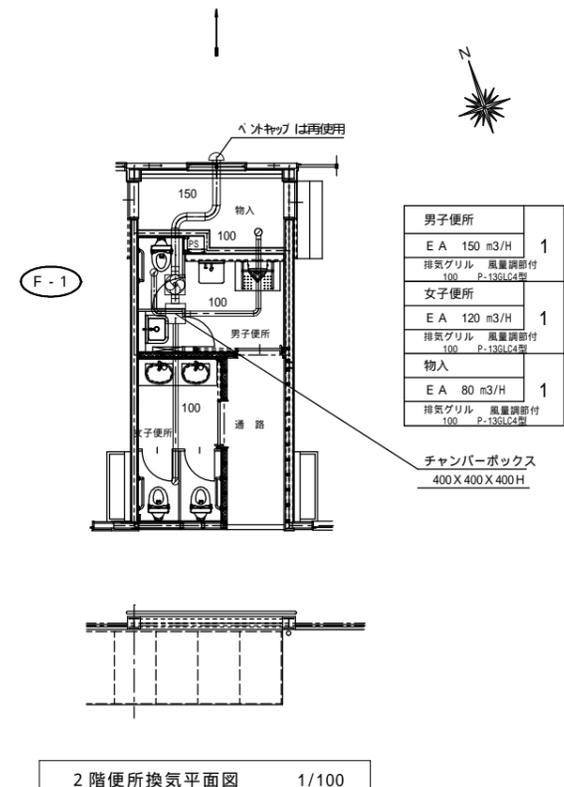
記号	機器名	仕様	台数	品番、備考
F-2	天井換気扇	オール金属タイプ ダクト径 150 重量 6.5kg 送風量 400m ³ /h 送風電動機 64.0w	2	VD20ZP型 便所
GB-1	ガス給湯機	屋外壁掛け給湯専用タイプ 給湯能力：24号 リモコン×2、壁掛け金物、配管カバー(600mm) 重量 26.0kg	1	屋外 撤去



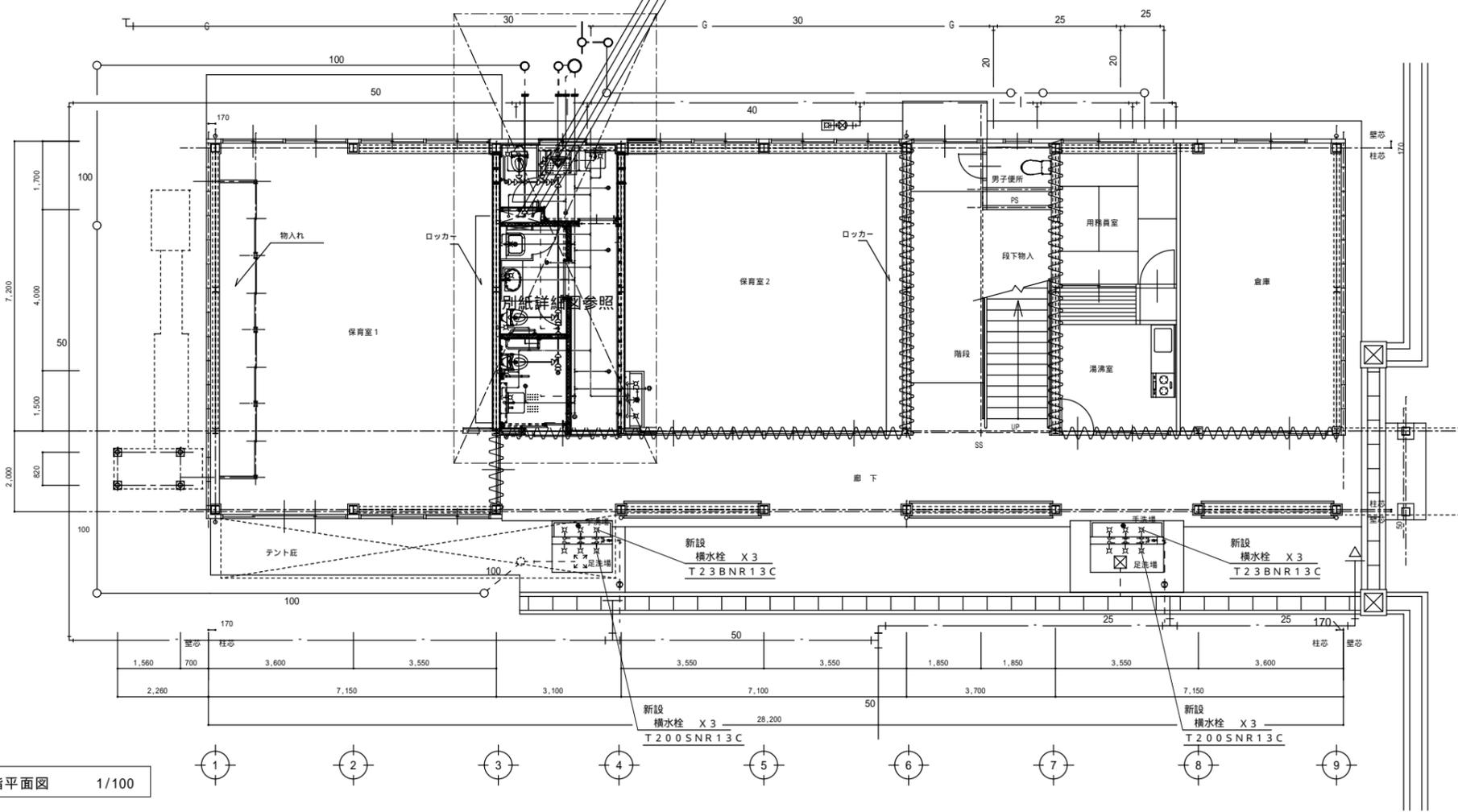
系統図



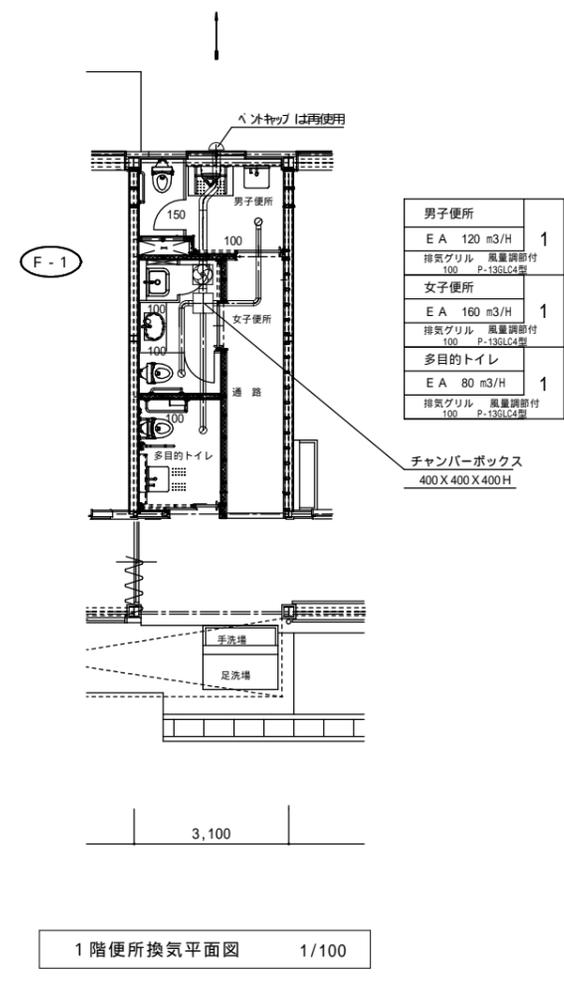
2階平面図 1/100



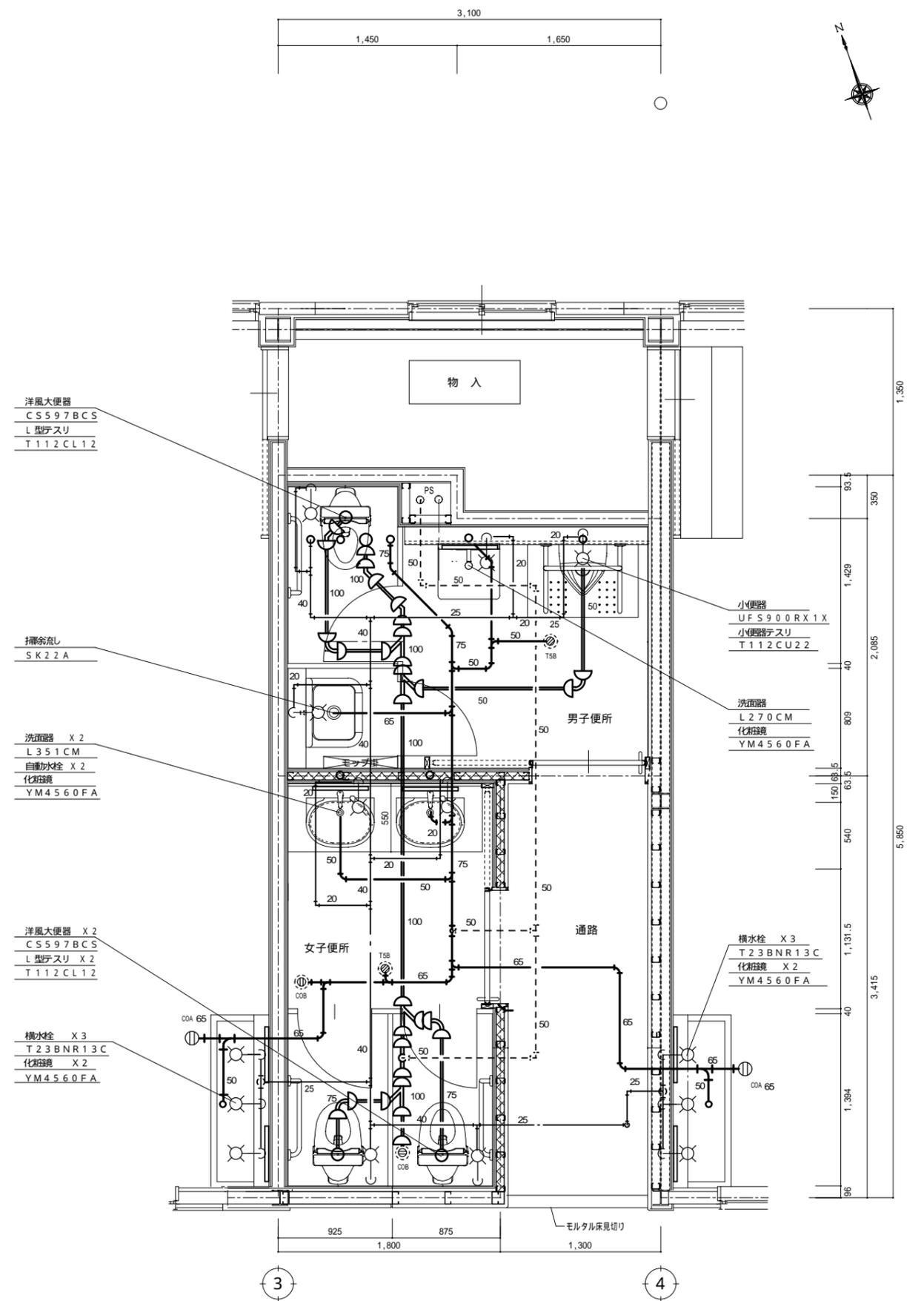
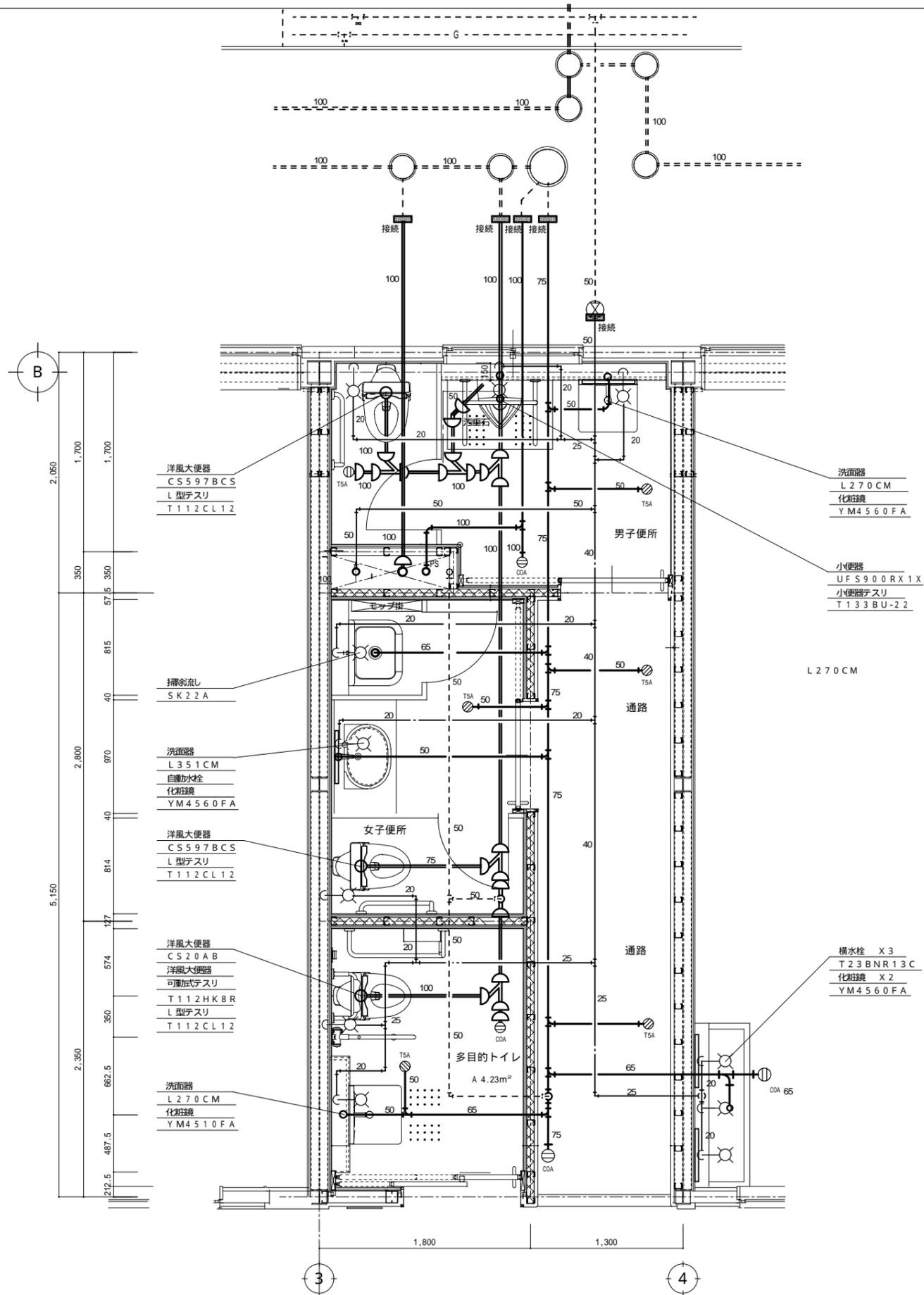
2階便所換気平面図 1/100

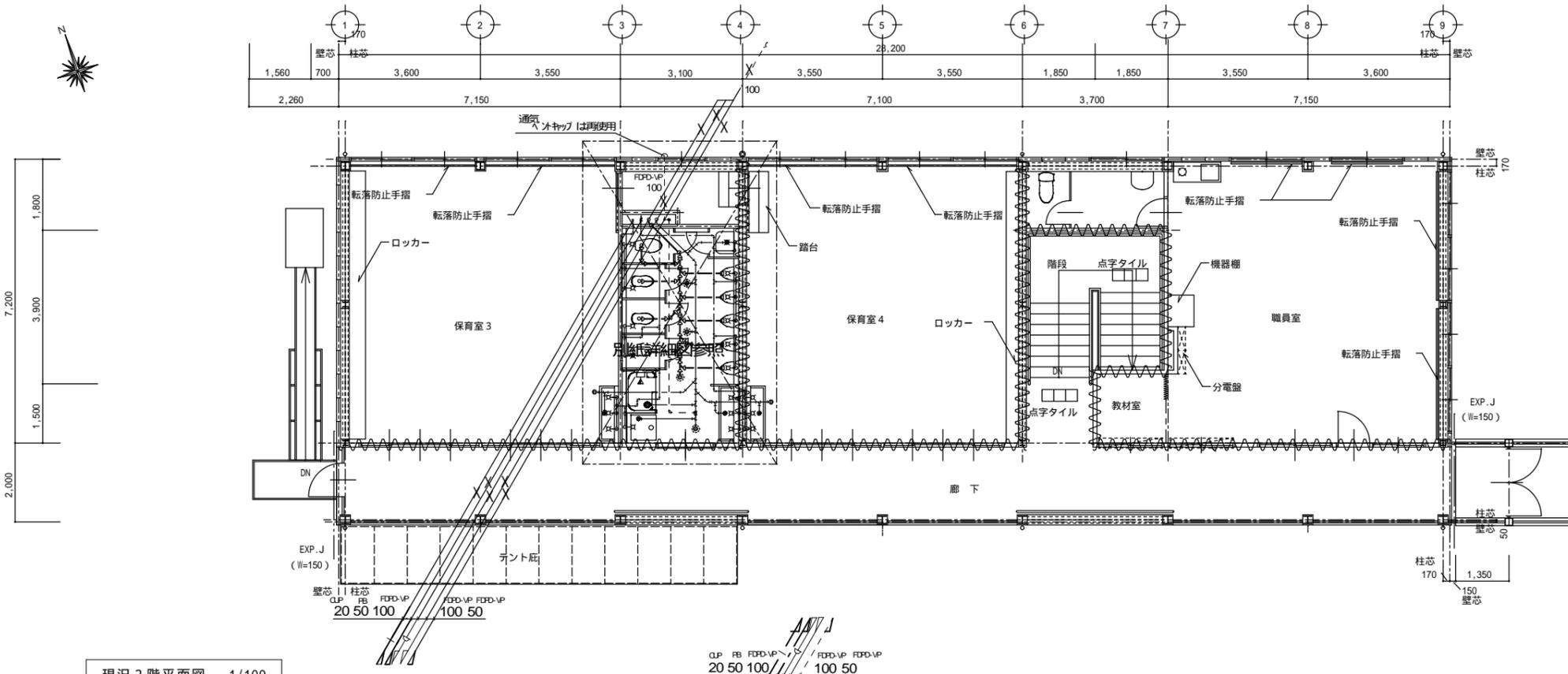


1階平面図 1/100

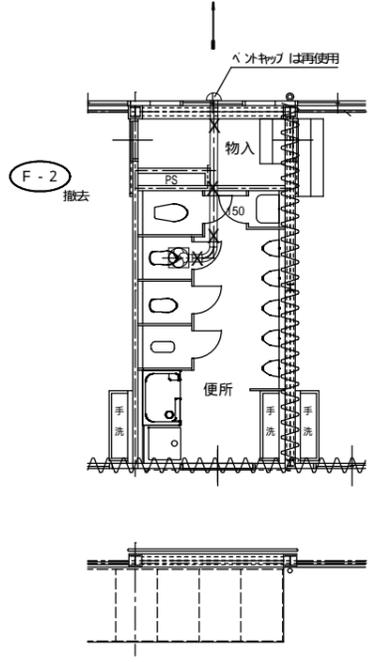


1階便所換気平面図 1/100

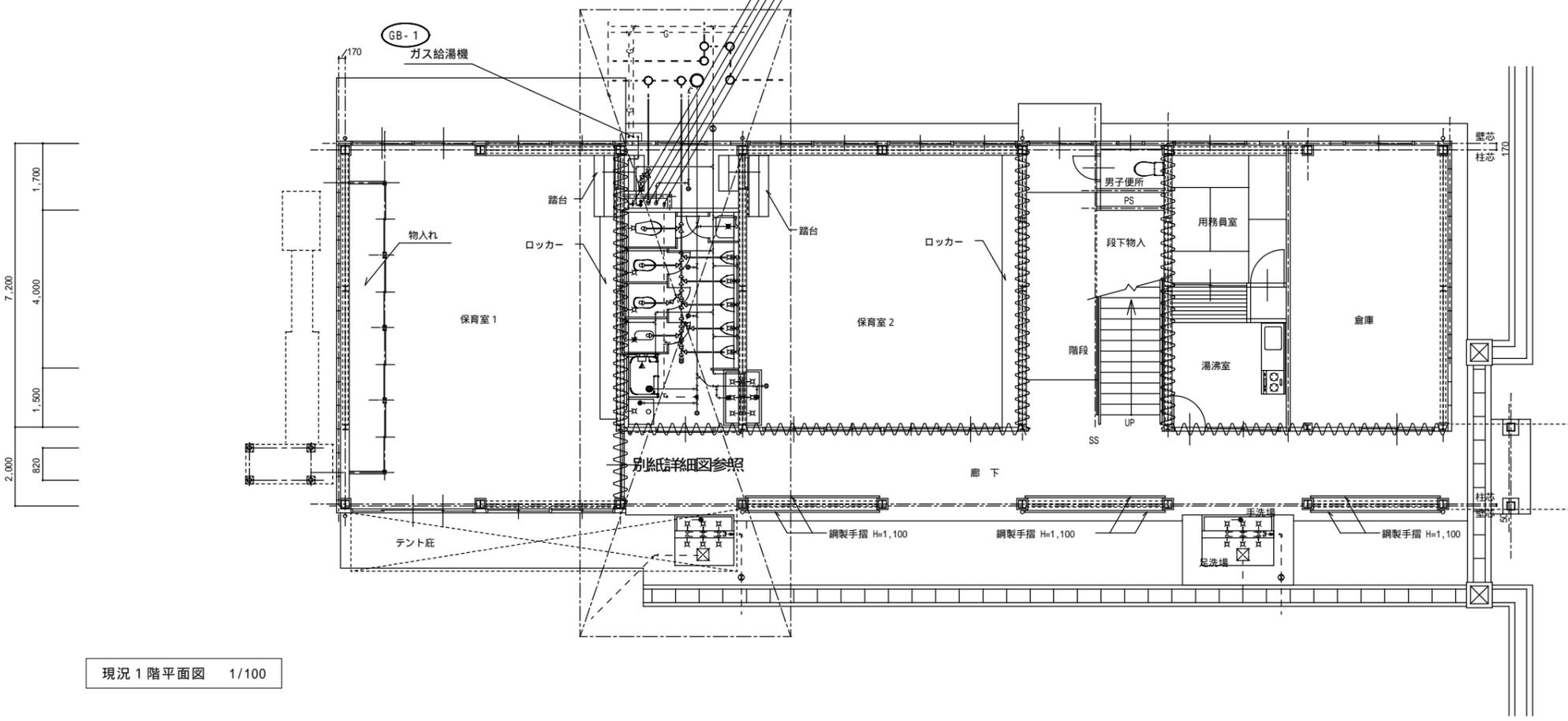




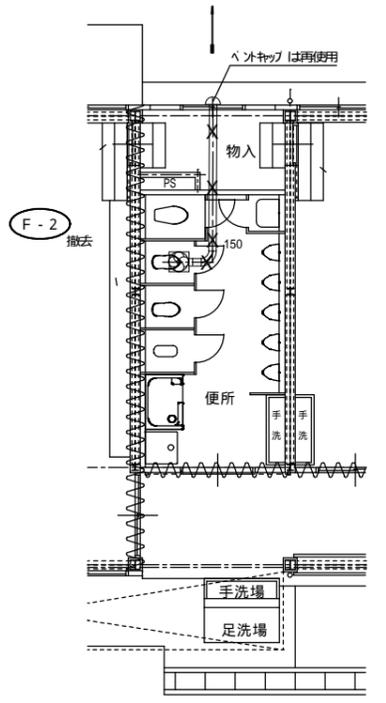
現況2階平面図 1/100



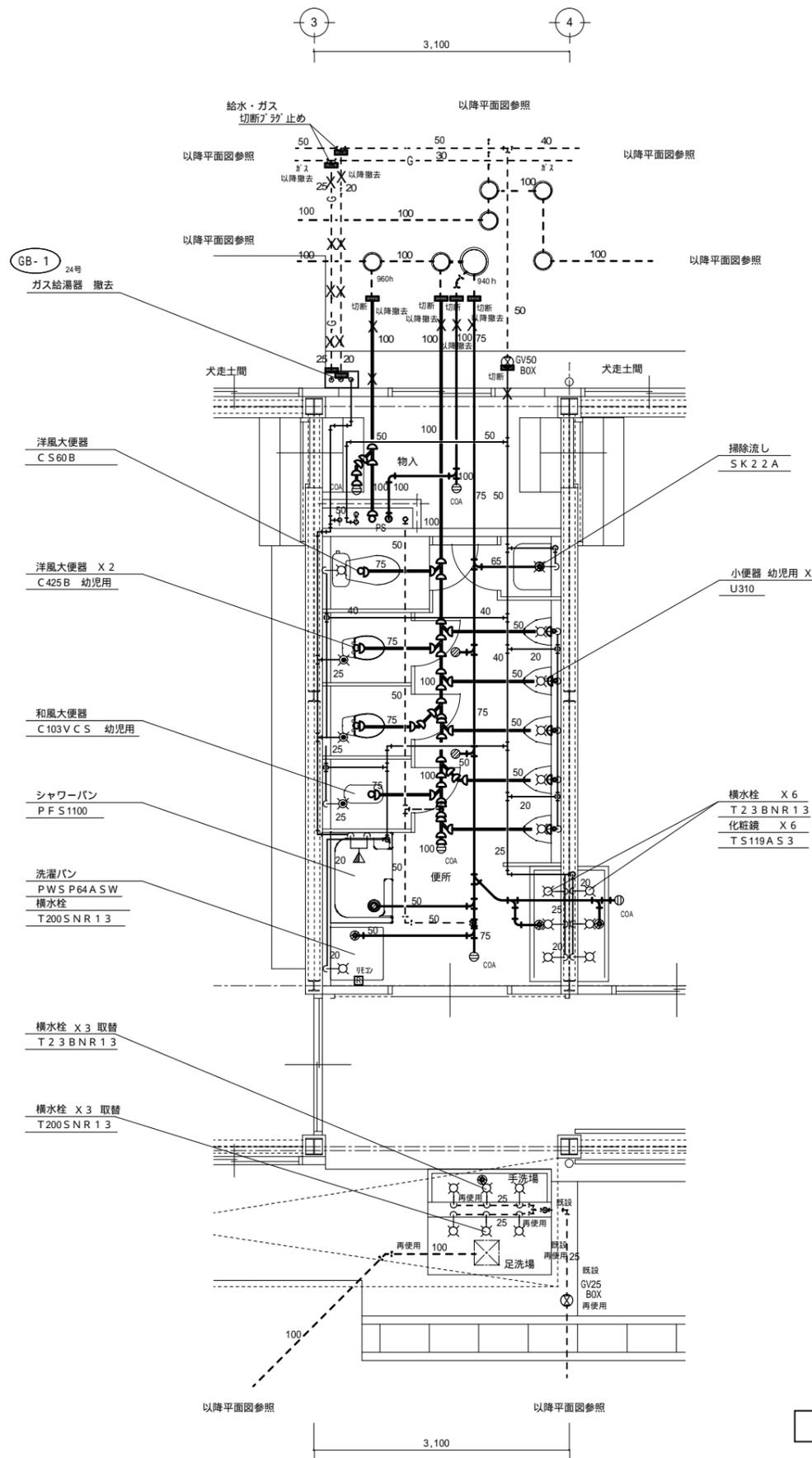
2階便所換気撤去平面図 1/100



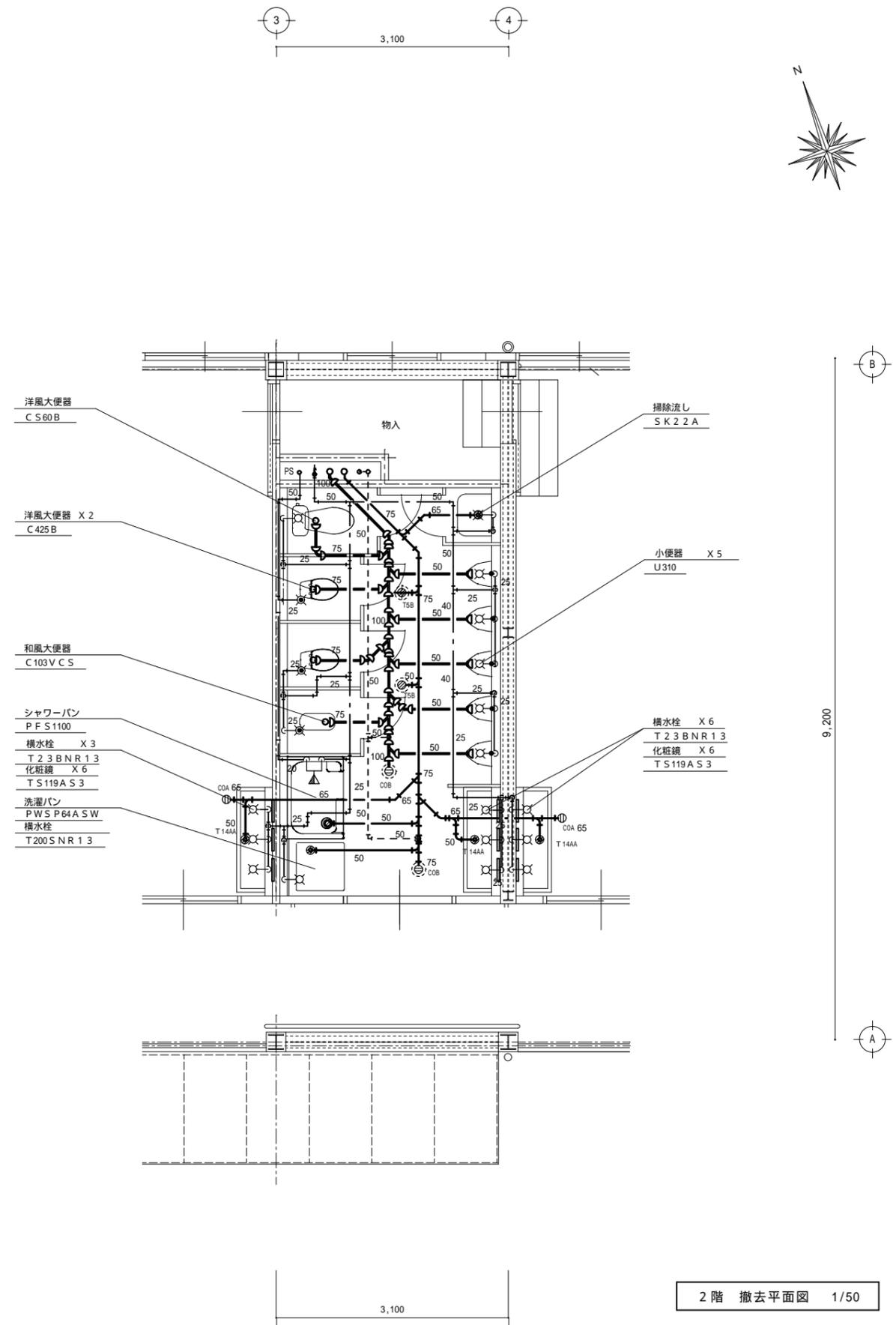
現況1階平面図 1/100



1階便所換気撤去平面図 1/100



1階 撤去平面図 1/50



2階 撤去平面図 1/50

足立建築工房 一級建築士事務所
 京都府宇治市木幡平尾 1-65
 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

所長
 主任
 担当

工事名
 Ujiふれあい教室改修工事
 図面名
 1・2階 撤去便所平面図

縮尺	SHEET	年月日
1/50	M-09	R7.05

電気設備工事特記仕様書ー 1

【工事概要】

- 1 工事場所：宇治市木幡楠尾47番地の1 (旧:木幡幼稚園)
- 2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備考
					甲 乙	執務並行改修
					甲 乙	
					甲 乙	

- 3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	ふれあい教室棟
電灯設備		
動力設備		
雷保護設備		
受変電設備		
電力貯蔵設備		
発電設備		
構内情報通信網設備		
構内交換設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
監視カメラ設備		
駐車場管制設備		
防犯・入室管理設備		
火災報知設備		
中央監視制御設備		
医療関係設備		
構内配電線路		
構内通信線路		
電波障害調査		
撤去工事		

【特記事項】

- 1 一般事項
 - 1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和4年版」(以下、「標準図」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」による。
 - 2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 2 特記事項
 - 項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。

章	項目	特記事項
一	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気工士 工用電力・水その他 官公署への手続き 工用仮設物 足場・作業構台 監督職員事務所 監督職員事務所 に備え付ける図書	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工士による施工を行う。 本工事に必要な工用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。 官公署への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。 構内につくることができない 別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。 設置しない 下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針 ・電気設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
二	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 再生資源利用を図るもの【 右記のほか、 現場説明書による。】 再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。 再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。
	建設発生土の処理	建設発生土処分 右記のほか、 現場説明書による。 再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。
三	建設発生土の処理	1) 「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。
	建設発生土の処理	1) 「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。
四	建設発生土の処理	1) 「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。
	建設発生土の処理	1) 「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。

章	項目	特記事項																																																				
一	工事関係書類	普通工事契約関係提出書類書式集 一覧表により提出。 宇治市ホームページ参照 <http://www.city.uji.kyoto.jp>																																																				
	履行報告	月報 2部 3部 毎月末に於て、翌月の5日までに提出する。																																																				
	工事写真	1) 国土交通大臣官房官庁官庁官庁「普通工事写真撮影要領(最新版)」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小黑板情報電子化については、現場説明書による。。																																																				
	完成図書	名称	内容	大きさ	部数																																																	
		完成図	金文字製本	A4版	1部																																																	
		完成図	背貼り製本(版)	A4ファイル止め	2部																																																	
施工図		背貼り製本(版)	A4ファイル止め	2部																																																		
機器完成図等		機器製作図 保守指導案内書(機器取扱書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書	ファイル止め	A4版	2部																																																	
諸官庁提出書類		副 本			1式																																																	
二	原図	完成図		1部																																																		
	完成写真	アルバム綴り		2部																																																		
	著作権等	電子納品については、現場説明書による。 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																				
三	付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表による。																																																				
	耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1 階 及 び 地 下 階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <th colspan="2">水 槽</th> <th colspan="2">水 槽</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td colspan="2">2.0</td> <td colspan="2">1.5</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td colspan="2">1.5</td> <td colspan="2">1.0</td> </tr> <tr> <td>1 階 及 び 地 下 階</td> <td colspan="2">1.5</td> <td colspan="2">1.0</td> </tr> </tbody> </table>				設置場所	特定の施設		一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1 階 及 び 地 下 階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)	設置場所	特定の施設		一般の施設			水 槽		水 槽		上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5		中 間 階	1.5		1.0		1 階 及 び 地 下 階	1.5		1.0
設置場所	特定の施設		一般の施設																																																			
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																		
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																																																		
中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																																																		
1 階 及 び 地 下 階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																																																		
設置場所	特定の施設		一般の施設																																																			
	水 槽		水 槽																																																			
上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5																																																			
中 間 階	1.5		1.0																																																			
1 階 及 び 地 下 階	1.5		1.0																																																			
共	耐震施工	注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設、乙類の建物は一般の施設を適用する。 注2 屋外に設置する機器は、建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 注3 ()内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 注4 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 注5 上層階の定義は、6階建以下の場合是最上階、7～9階建の場合は上階2階。 注6 重要機器(水槽類含む)は、下記による。(水槽類にはオイルタンク等を含む。) 配電盤 直流電源装置 自家発電装置 交換機 電算用電源 中央監視装置 UPS装置 自動火災報知装置 注7 操作卓は本体を床又は壁にアンカーボルトで固定できるように固定金具を備えたものとし、卓上機器は、転倒防止用の措置を講じたものとする。																																																				
	風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分 Vo(30 32 34) 地表面粗度区分()																																																				
	風圧力(耐風力)	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員に提出する。なお、検討(計算)範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 受雷部システム及び引下げ導線システム 太陽光アレイ及び接続箱 〇風力発電装置 テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト																																																				
	電線類	1) 特記なきものは、EM-Eとする。 2) EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>EM - アクセスフロア</th> <th>JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-E E)</th> <th>及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-CE)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EM-MEES</td> <td colspan="2">JCS4271に準じ、絶縁材料及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの</td> </tr> </tbody> </table>				EM - アクセスフロア	JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-E E)	及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-CE)	EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材料及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの																																												
EM - アクセスフロア	JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-E E)	及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-CE)																																																				
EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材料及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの																																																					
三	電線管	電 線 管 P F 管 ただし、露出部分はメタルモールとする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(鋼製電線管 P F管)とする。 ねじなし電線管 1) 雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 2) スラブ厚の1/4を越える外径の配管及び(PF22)又は(E25)相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。 下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 屋外(屋上を除く) 屋内居室 屋内PS・EPS 屋内機械室・電気室 〇廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。																																																				
	電線本数、管路等	電線管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。																																																				
四	ボックス	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。																																																				
	予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本天井内で立上げる。ケーブルラックの床の防火貫通部に(51)を1本以上立上げる。																																																				
	フラッシュプレート	和 室	樹脂製	金属製(新金属製 ステンレス製)																																																		
五	床配線器具等	その他 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製) 床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 二重床 インナー形 〇飛び出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 二重床以外 飛び出し形 〇引出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 (フロアベースは水平高低調整式(空転防止リング付) 砲金製 〇アルミ製とする。)																																																				
	機器	寸 法	盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。																																																			
	接続	接 続	電動機への接続は、本工事とする。																																																			
六	アンカーボルト	アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等 (溶融亜鉛メッキ SUS) その他 (一般品 SUS)																																																				

章	項目	特記事項																																			
一	あと施工アンカー	施工後確認試験 行う 行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通大臣官房官庁官庁官庁の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年度版)「8.12.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。																																			
	機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 分電盤 O A盤 実験盤 開閉器箱 制御盤 キュービクル式配電盤 直流電源装置 交流無停電電源装置(UPS)(簡易型を除く)																																			
	はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。																																			
	再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛り部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。																																			
二	その他	屋内外の盤類・開閉器箱 SUS 銅板製 屋内外のプルボックス SUS 鋼板製																																			
	工事範囲	配管 配線 機器取付																																			
三	電気方式	幹線 単相3線式 100V/200V 直流2線式 100V 分岐 単相2線式 100V 200V 直流2線式 100V																																			
	照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。 照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。 多重伝送制御システム 多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。																																			
四	LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはLX又はLZ、それ以外はLN又はLJとする。																																			
	RP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。																																			
五	非常用照明の形式	電池内蔵形 電池別置形																																			
	フロアコンセント	引出し形 飛び出し形 内部固定形 外部固定形 O Aフロア用																																			
六	分電盤等	1) 本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JISC 8201-2-1「回路遮断器」、同付属書J C「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、JISC 8201-2-2「漏電遮断器」、同付属書J C「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」、による1種サイズのものとする。 2) SPD分離器(配線用遮断器)は(警報接点付 警報接点無)とする。 3) SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 O A盤の端子盤部に 通気口 冷却ファン を設ける																																			
	照明用ポール	開閉器を設ける(配線用遮断器 カットアウトスイッチ) 開閉器を設けない 一般照明の照度測定 実施 しない																																			
七	工事範囲	配管 配線 機器取付																																			
	電気方式	幹線 三相3線式 200V 分岐 三相3線式 200V																																			
八	制御盤	1) 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2) インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、開扉時に冷却装置を休止させる。 3) インバータ発熱対策用冷却装置の故障を盤面に表示(させる させない)																																			
	監視方法	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視																																			
九	インターロック	自動火災報知設備の受信機、運動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。																																			
	インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率、次表の値以上とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>電動機出力(kW)</th> <th>0.4</th> <th>0.75</th> <th>1.5</th> <th>2.2</th> <th>3.7</th> <th>5.5</th> <th>7.5</th> <th>11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インバータ効率(%)</td> <td>86.0</td> <td>88.5</td> <td>92.0</td> <td>93.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.5</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <td>電動機出力(kW)</td> <td>15</td> <td>18.5</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>37</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>インバータ効率(%)</td> <td>95.0</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> </tr> </tbody> </table> 備考) 1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2) インバータ効率は、100%負荷時の値とする。	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	インバータ効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75	インバータ効率(%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11																													
インバータ効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5																													
電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75																													
インバータ効率(%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																													
十	工事範囲	配管 配線 機器取付																																			
	保護レベル	保護レベル																																			
十一	受雷部システム	突針支持管 鋼製 ステンレス製																																			
	接地システム	A型接地極(板状接地極 垂直接地極 放射状接地極) B型接地極(環状接地極 網状接地極) 構造体利用接地極(構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を〇設ける 設けない)																																			
十二	工事範囲	配管 配線 機器取付																																			
	電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 三相3線式200V 単相3線式100V/200V 三相3線式 V 三相4線式 V/V																																			
十三	配電盤形式	屋内キュービクル式配電盤 屋外キュービクル式配電盤 開放形配電盤 変圧器盤 コンデンサ盤 系統連系保護制御盤																																			
	変圧器の規格〔グ〕	1) 変圧器(スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。)は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。 2) ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。																																			
十四	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視																																			
	基礎	本工事 別途工事 既設																																			
十五	付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。																																			
	その他	低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込で埋込形とする。 低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 低圧配電盤に内部点検空間を設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) 盤内照明器具はLEDとする。 換気扇を設ける場合は回転センサー付とする。(盤面警報ランプ共)																																			

電気設備工事特記仕様書 - 2

章	項目	特記事項		
電力貯蔵設備	工事範囲	配管	配線 機器取付	
	直流電源装置	用途	建築基準法用 消防法用 受変電設備専用 その他 過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。	
	交流無停電電源装置 (UPS)	用途	()	
発電設備	工事範囲	配管	配線 機器取付	
	形式	オープン形	簡易形 キュービクル	
	連続運転可能時間	10時間(乙)	7.2時間(甲)	
	発電機	電気方式	三相3線式 210V 定格出力 kVA以上	6.6kV 415V 力率 0.8
	原動機	種別	ガスタービン マイクロガスタービン kW(PS)以上	ディーゼル機関 燃料電池 コージェネレーション
		定格出力	電気式 ラジエーター式	空気式 水循環式
		始動方式	ラジエーター式	水循環式
		冷却方式	ラジエーター式	水循環式
		現地負荷試験	行う	行わない
		燃料	種類	重油 軽油 灯油 ガス()
電気設備	監視方式	監視盤による代表監視	中央監視盤による監視	
	太陽光発電装置	太陽電池	アレイ 公称最大出力 (kW以上) 設置可能建築面積 m ² 以下(長辺 m x 短辺 m)	
		系統連系	受動 能動	
		パワーコンディショナ出力	相線式 V kW以上	
		逆潮流	有 無	
		交流出力電圧	100V 200V	
		出力電気方式	三相3線式 単相3線式 単相2線式	
		外部移報	有 無	
	通信線設備	工事範囲	配管	配線 機器取付
		施工方法	金属管配線	ケーブル配線
構内交換設備	工事範囲	配管	配線 機器取付	
	保安器用接地	本工事	別途工事	
情報表示設備	形式	電子交換機	ボタン電話装置	
	工事種類	マルチサイン装置	出退表示設備 時刻表示設備	
	工事範囲	配管	配線 機器取付	
映像音響設備	親時計及び付属装置	CR - P M	CW - P M プログラムタイム(カード式 キー式)	
	子時計	特記なきものは	SWA33-GP-B7	
	工事範囲	配管	配線 機器取付	
拡声設備	施工方法	金属管配線	ケーブル配線 合成樹脂管配線	
	工事範囲	配管	配線 機器取付	
	増幅器	用途	全館放送用(一般放送 非常放送) ローカル放送用 自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。	
誘導支援設備	スピーカ	特記なきものは	SCHi-1V3-M	
	工事範囲	配管	配線 機器取付	
	工事内容	音声誘導装置	検出方式 (磁気式 無線式 画像認識)	
		インターホン	電話式 相互式	
		テレビインターホン	親機に子機カメラ角度調整機能(上下)を設ける。	
		トイレ等呼出し装置	1窓 3窓 5窓 呼出しボタン 壁付ボタン(プルスイッチの長さは0.2m程度とする) 壁付握りボタン(握りボタンの長さは1.2m程度とする)	
		受付呼出し装置	誘導音	
		工事範囲	配管	配線 機器取付
		アンテナ	UHF用 BS用 CS用 AM用 FM用 CATV	
		アンテナマスト	壁面取付形 自立形 配管用ステンレス鋼鋼管 一般構造用炭素鋼鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ) 圧力配管用炭素鋼鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	
	電界強度測定	電界強度及び電圧は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。		

章	項目	特記事項	
監視カメラ	工事範囲	配管	配線 機器取付
	画像	カラー	白黒
	伝送方式	ネットワーク伝送方式	デジタル同軸伝送方式 ○
駐車設備	工事範囲	配管	配線 機器取付
	車両検出方式	ループコイル方式	光線方式
防犯・侵入退室管理	工事範囲	配管	配線 機器取付
	工事種類	機械警備用配管 防犯装置	緊急通報設備用配管 入退室管理制御装置
火災報知設備	自動火災報知装置	工事範囲	配管 配線 機器取付
		受信機	形 級 級 級 壁掛形 自立形 単独形 複合形 副受信機 窓 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
		光警報装置	
		消火ポンプ始動	消火栓箱内押ボタン 発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)
		機器収容箱	消火栓一体形 単独形
	自動閉鎖装置	工事範囲	配管 配線 機器取付
		運動制御器	回線 【予備電源(蓄電池)内蔵】 自火報受信機と一体
		自動閉鎖装置	防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式)DC24V 0.7A以下】 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
	非常警報装置	工事範囲	配管 配線 機器取付
		電気方式	DC24V
	電源装置	非常電源(蓄電池) 自動火災報知設備と兼用	
ガス漏れ火災警報装置	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	受信機	単独形 自火報受信機と一体	
	ガスの種類	都市ガス(13A) 液化石油ガス	
	諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。	
中央監視	工事範囲	配管	配線 機器取付
	監視方式	警報盤	監視制御装置
医療関係設備	工事範囲	配管	配線 機器取付
	非接地電源用分電盤	キャビネット	鋼製 ステンレス製
	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の 呼出押ボタン	有線式 無線式 防滴 防湿
	その他	オプション等の試験は、監督職員の指示による。	
	工事範囲	配管	配線 機器取付
	電気方式	高圧 低圧	三相3線式 6kV 三相3線式 200V 単相3線式 100/200V 単2線式 (100V 200V)
	ふ設方式	地中線	管路式 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)
		埋設深さ	特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面) から600mm以上とする。
		架空線	電柱 遠心カプレストレストコンクリートポール
	区内閉閉器	用途	高圧負荷閉閉器 7.2kV 300A
構造		耐中埋じん用	耐重埋じん用
形式		引外し装置付き(SOG形)	引外し装置なし 避雷器内蔵 制御電源用変圧器内蔵
マンホール及び ハンドホール		構造・寸法	標準図による 図示による。 蓋の文字 蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。 屋外に使用する高圧ケーブルはEM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」に(よる Oよらない) 高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
余長		高圧ケーブル	一般用 耐塩用 重耐塩用
端子、高圧ケーブル 端末処理		一般用	耐塩用 重耐塩用
避雷器		屋外形	耐塩形
装柱材		一般用	耐塩形
外灯		基礎 本工事 別途工事	
		外灯ボールの材質が鋼製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定塗装とする。	
構内通信線路	工事範囲	配管	配線 機器取付
	ふ設方式	地中線	管路式 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)
		埋設深さ	特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面) から600mm以上とする。
		架空線	電柱 遠心カプレストレストコンクリートポール
マンホール及び ハンドホール	構造・寸法	標準図による 図示による。	
	蓋の文字	蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。	

章	項目	特記事項	
調査	調査範囲	測定のみ	対策工事実施設計書作成まで
	測定時期	工事前 工事中	完成後
	測定箇所	箇所	
	測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。	

別表 付属品・予備品

イーゼルキャビネット	箱	キーボックス	テスター	マンホールフック
工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スパナ、ハンマー)				
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。			

試験・検査一覧

工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。
検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記項目とする。
受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの
工事前手際し、事前に必要な機器(照明機器、空調機器、放送設備等)の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。
工事前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。(照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。)
着工前・工事完成後、テレビ機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
着工前・工事完成後、放送設備・自動火災報知設備の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
後施工アンカーの施工確認試験(引張試験機による引張試験)は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。
例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等

その他

試験機器類の校正記録を提出する。
停電工場の必要時は、当該高圧受変電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針(令和元年度版)の資料5(P1127)に基づき施工する。
鉄筋コンクリ-トをダイヤモンドル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
整備不良の電動工具等持ち込まない。
構外搬出適切廃棄処分とする(電線、電線管、器具、管路等報告書を提出する)。
交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
配線接続部分は点検できるように施工する。

機器取付高さ(参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。)

電	力	共	通	名称	測点	取付高(mm)	電	名称	測点	取付高(mm)
				取引用計器	地上-上端	2,000		端子盤	床下-上端	1,900
引込開閉器	〃	1,800	保安器函	天井下-上端	200					
			壁付位置ボックス	床下-中心	300					
動	力			壁掛型制御盤	床下-上端	1,900	話	〃(和室)	〃	150
				手元開閉器	床下-中心	1,500				
				操作スイッチ	〃	1,300				
電	灯			壁掛スピーカー	天井下-上端	200	計	アッテネーター	床下-中心	1,300
				壁掛型親時計	床下-上端	1,900				
				子時計	天井下-上端	200				
				分電盤	床下-上端	1,900				
				スイッチ(一般)	床下-中心	1,300				
				〃(身障者便所)	〃	900				
				コンセント(一般)	〃	300				
				〃(和室)	〃	150				
電	灯			壁掛インターホン	床下-中心	1,500	ン	〃(身障者)	〃	1,100
				壁付位置ボックス	〃	300				
				〃(和室)	〃	150				
				〃(台上)	台上-中心	300				
				〃(土間)	床下-中心	1,300				
				〃(鏡上)	鏡上端-中心	150				
電	灯			機器収納函	天井下-上端	200	レ	直列ユニット	床下-中心	300
				〃(和室)	〃	150				

足立建築工房 一級建築士事務所
京都府宇治市木幡平尾1-65
TEL(0774)33-6022 FAX(0774)33-6040

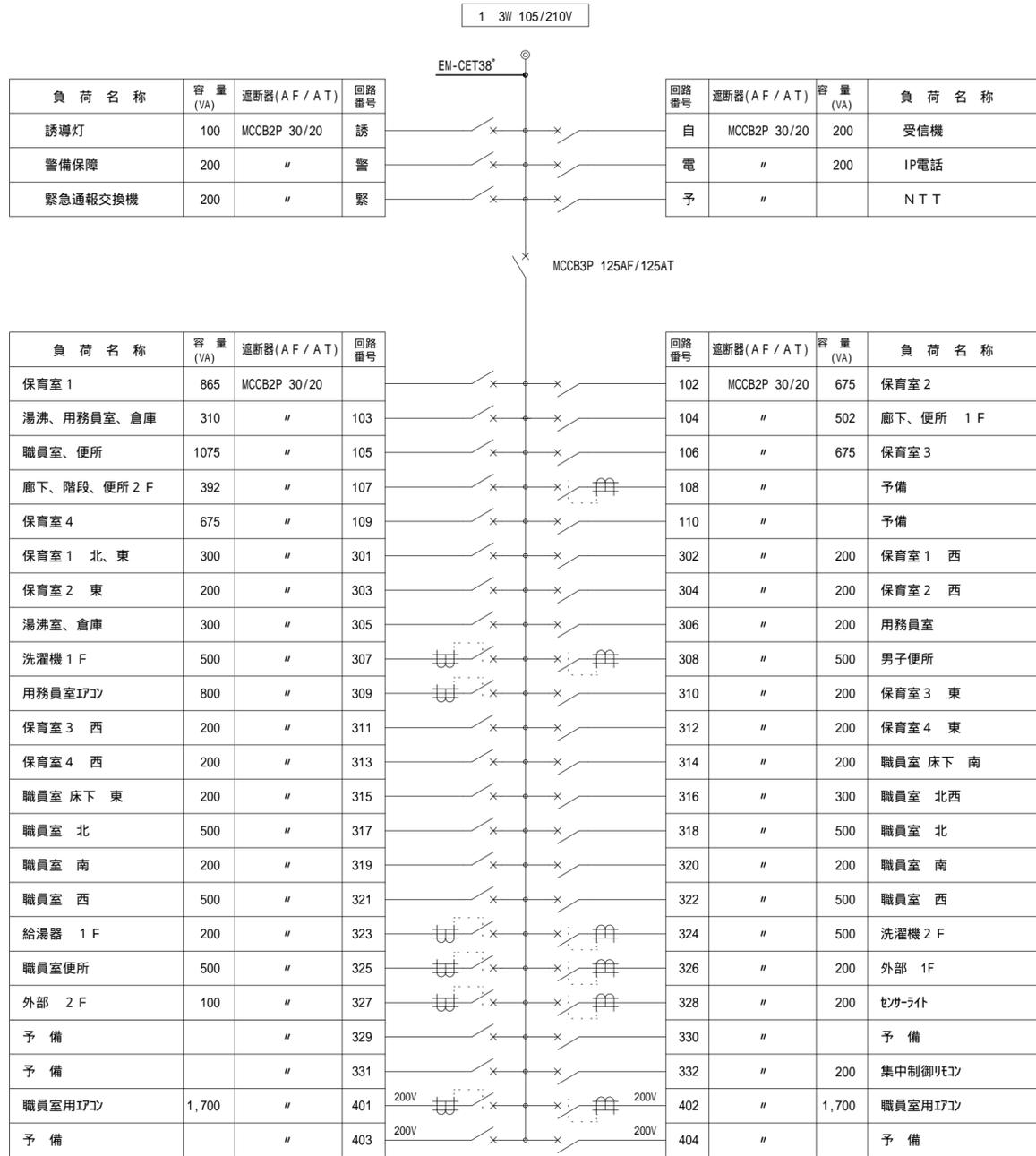
所長 主任 担当

工事名 Ujiふれあい教室改修工事
図面名 電気設備工事特記仕様書 - 2

縮尺 SHEET E-02 年月日 R7.05

改修前

電灯分電盤 (L - 1)



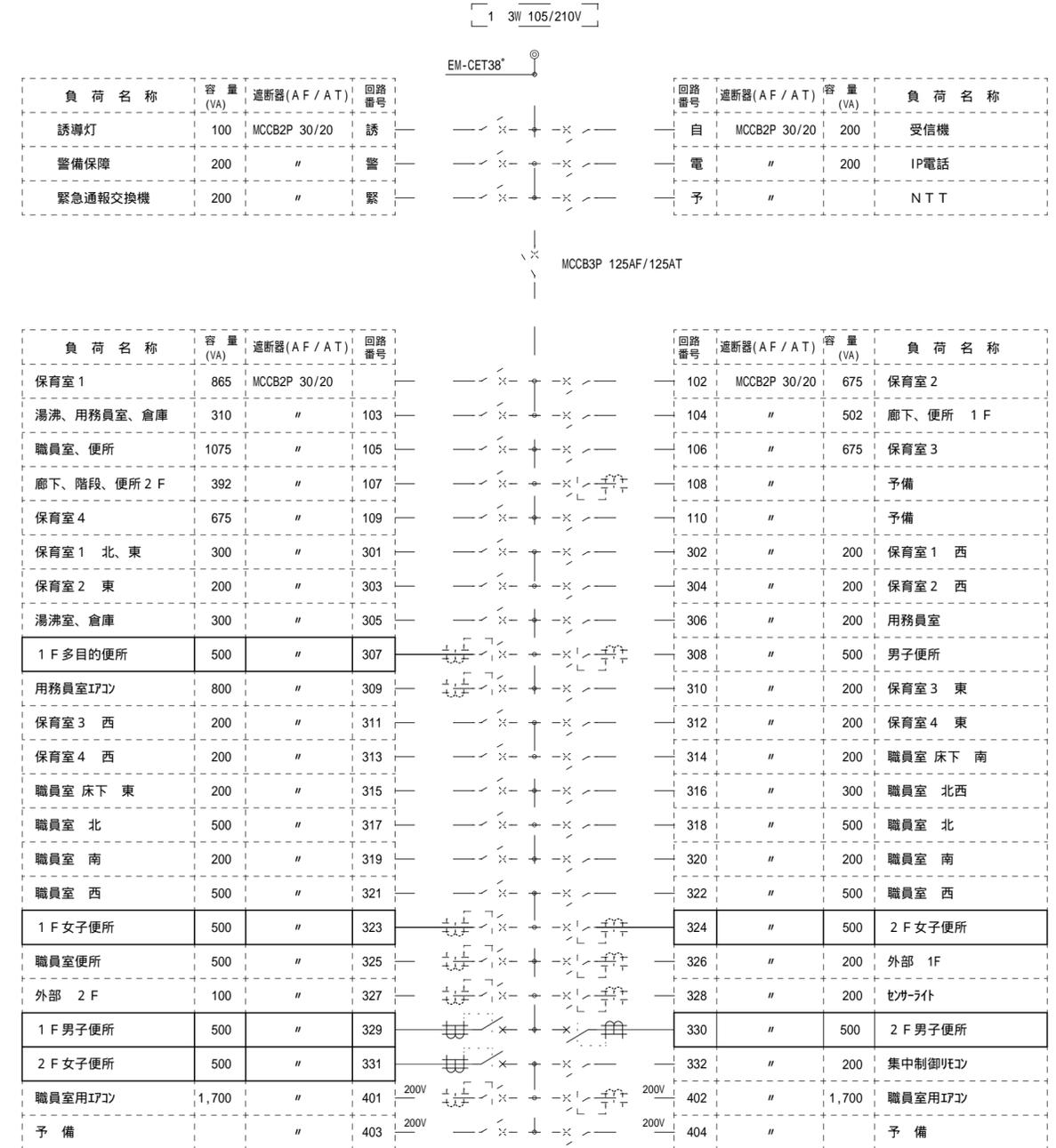
ET

ET

MCB 2P30/20(100V)	× 38
ELB 2P30/20(100V)	× 10
MCB 2P30/20(200V)	× 2
ELB 2P30/20(200V)	× 2
合計設備容量	17,569VA

改修後

電灯分電盤 (L - 1)



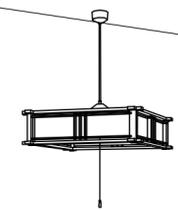
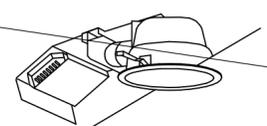
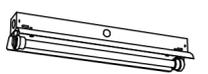
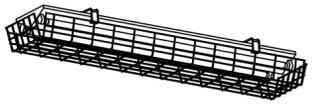
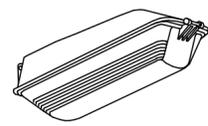
ET

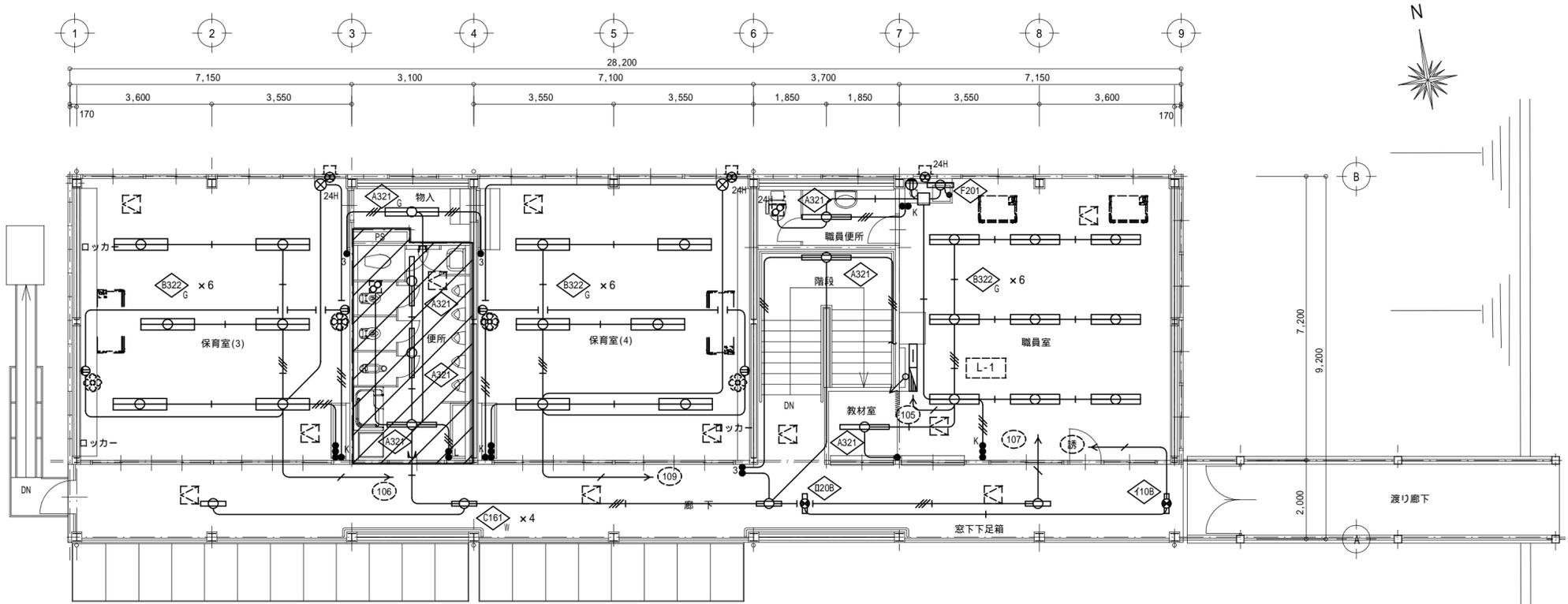
ET

今回改修
改修前 MCB 2P30/20(100V) 撤去 × 3
改修後 MCB 2P30/20(100V) 新設 × 3

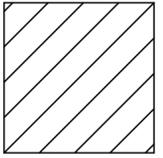
MCB 2P30/20(100V)	× 35
ELB 2P30/20(100V)	× 13
MCB 2P30/20(200V)	× 2
ELB 2P30/20(200V)	× 2
合計設備容量	20,569VA

既設照明器具姿図

A 3 2 1	F H F 3 2 W x 1 富士型 (環境配慮型)	A 3 2 1 G	F H F 3 2 W x 1 富士型 (環境配慮型)								
1・2階便所, 職員便所, 階段 湯沸室, 職員室  初期照度補正型 公共品番 FSS9 - 321 PF9		物入, 倉庫  パナソニック電工 FK41534 (ガード) 公共品番 FSS9 - 321 PN9									
F 2 0 1	F L 2 0 W x 1 流し元灯	G 7 0	F H D 7 0 W x 1 ペンダント	H 2 4 1	F H T 2 4 W x 1 ダウンライト (環境配慮型)	I 3 2 1	F H F 3 2 W x 1 ウォールライト	I 2 0 1	F L 2 0 W x 1 ウォールライト	J 1 6 1 W	F H F 1 6 W x 1 反射笠付 (環境配慮型)
湯沸室, 職員室  パナソニック電工 HW2622		用務員室  パナソニック電工 HFD6513		男子便所 埋込穴 150 埋込高H=105  パナソニック電工 NDFT21772		階段  パナソニック電工 FSA41825		階段下  パナソニック電工 HW2118T		渡り廊下 防湿・防雨型 本体: 亜鉛鋼板 (クロムレス) 反射笠: 亜鉛鋼板 (クロムレス・ホワイト)  パナソニック電工 FSW21201-PH9	
B 3 2 2 G	F H F 3 2 W x 2 富士型 (環境配慮型)	C 1 6 1 W	F H F 1 6 W x 1 富士型 (環境配慮型)	D 3 2 2	F H F 3 2 W x 2 直付下面開放 (環境配慮型)	K 4 2 1 W	F H T 4 2 W x 1 防犯灯	I 1 0 B	LED 避難口誘導灯片面型	Q 2 0 B	LED 避難口誘導灯両面型
保育室 1, 2, 3, 4  パナソニック電工 FK42533 (ガード) 公共品番 FSS9 - 322 PF9		廊下 防湿・防雨型 本体: 亜鉛鋼板 (クロムレス) 反射板: 亜鉛鋼板 (クロムレス・高反射白色粉体塗装)  パナソニック電工 FSW21001A-PH9		職員室  公共品番 FSS6 - 322 PJ		屋外 防雨型  パナソニック電工 YFG41412		C級 壁・天井直付 内照パネル形 電池内蔵型・ニッケル水素蓄電池 公共品番 SH1 - FBF20 - C 		B級 壁・天井直付 内照パネル形 電池内蔵型・ニッケル水素蓄電池 公共品番 ST1 - FSSF23 - BL 	



2階平面図 1/100



撤去改修部分を示す
 範囲内の機器・配管配線は撤去
 ただし工事に支障のないものは監督職員の承認を得て残置

記載なき配管配線は、下記に依る。

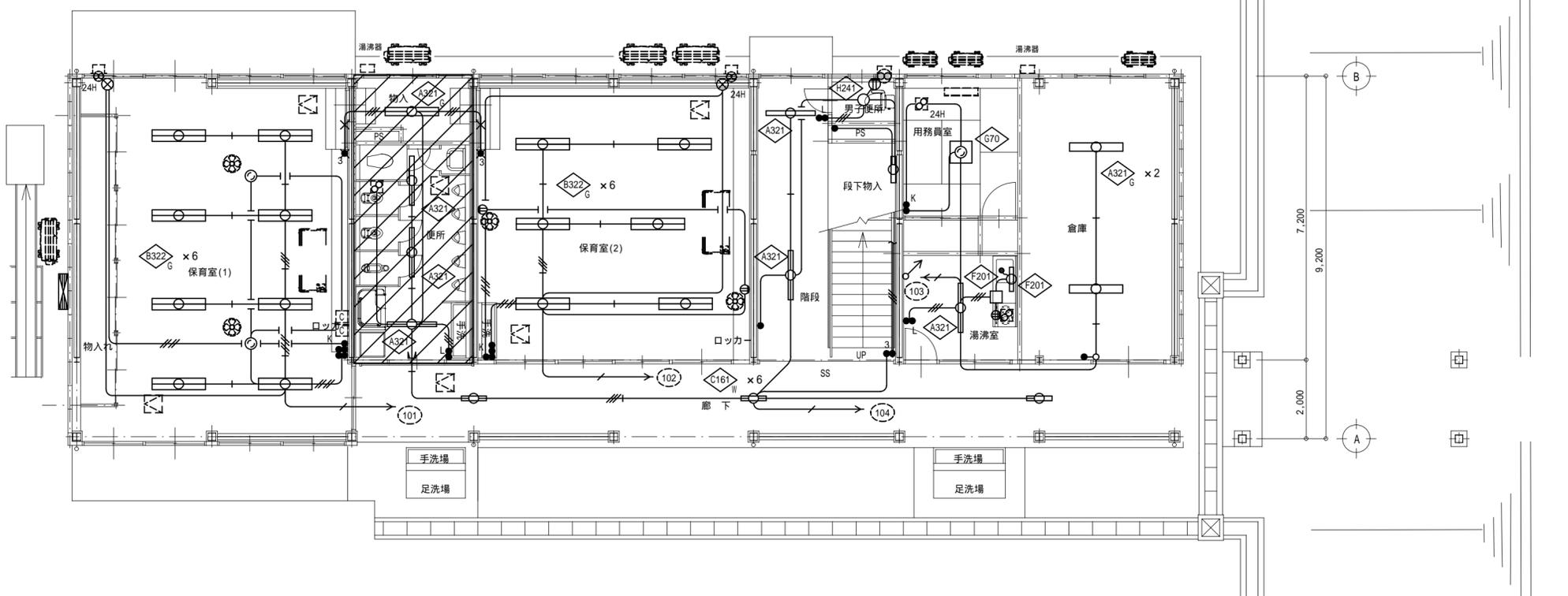
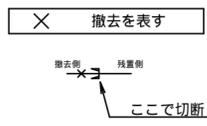
	EM-EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EM-EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EM-EEF 1.6 - 2C x 2	(PF22)
	EM-EEF 1.6 - 2C + 3C	(PF22)
	EM-EEF 1.6 - 3C x 2	(PF28)
	EM-EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
	EM-EEF 1.6 - 2C x 2 (1E)	(PF22)
	EM-EEF 1.6 - 3C x 2 (1E)	(PF28)
	EM-EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)

配管・配線	露出配管・配線
	天井・壁いんべい
	床下配管・配線
	地中埋設配管・配線
	ラック配線

凡例

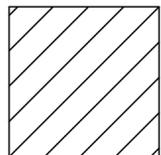
	電灯盤
	壁付スイッチ 1P15A
	" 3W15A
	" 1P 4A Ⅱ'ロットラフ付
	24H換気スイッチ (機械設備工事)
	埋込コンセント 2P 15A x 1
	" 2P 15A x 1 抜け止
	新金加V-プレート
	アクトボックス 樹脂製 四角中浅
	壁付換気扇 傍記24Hは24時間換気扇
	天井換気扇 "
	サイカファン
	サイカファン コントラ 機械設備工事

F : 国交省認定区画貫通処理



1階平面図 1/100

①	EM-CE38 [°] -3CE5.5 [°] E5.5 [°] 1 3W	メッセージワイヤー-22 [°]	架空	
	EM-CEE2 [°] -4C	LGR		
	EM-AE0.9-2C	インターホン		
②	CET 38 [°]	3 3W	メッセージワイヤー-38 [°]	架空
③	CET 38 [°]	3 3W	(GP54)	
④	EM-CET38 [°] E5.5 [°] E5.5 [°] 1 3W		二重天井内ころがし	
	EM-CEE2 [°] -4C	LGR		



撤去改修部分を示す
 範囲内の機器・配管配線は撤去
 ただし工事に支障のないものは監督職員の承認を得て残置

凡例	電灯盤		
②	埋込コンセント	2P 15A x 2	
①EET	"	2P 15A x 1 接地端子付	
②EET	"	2P 15A x 2 接地端子付	
①LK	"	2P 15A x 2 抜け止	
①ENP	"	2P 15A x 2 接地極付防雨形	
①AC	"	2P 15/20A x 1 接地端子付	
①ET	床埋込コンセント	2P 15A x 1 接地端子付	
□	アクリルボックス 樹脂製 四角中浅		
[R]	給湯器コントローラ	機械設備工事	
[C]	空調機コントローラ	機械設備工事	
⊗ NP	新金加工プレート		
⊗ WP	防雨入線カバー		

F: 国土省認定区画貫通処理

記載なき配管配線は、下記に依る。

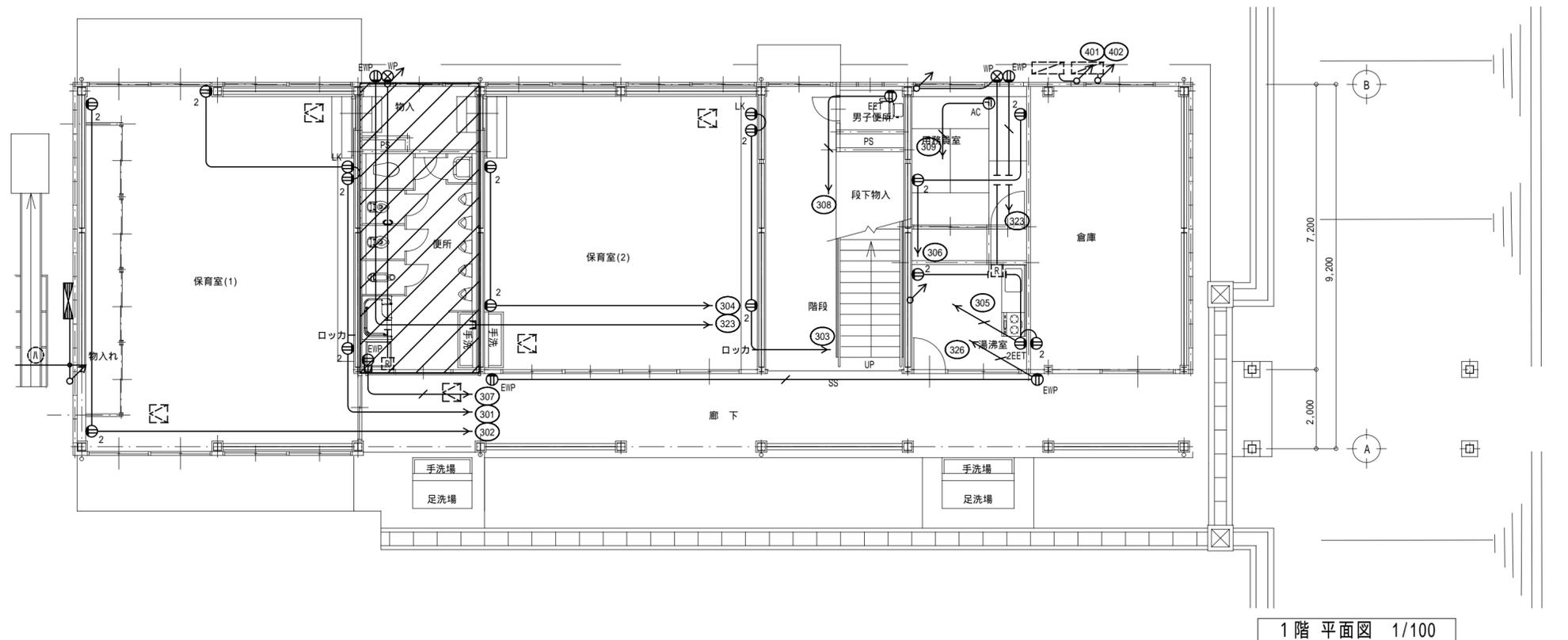
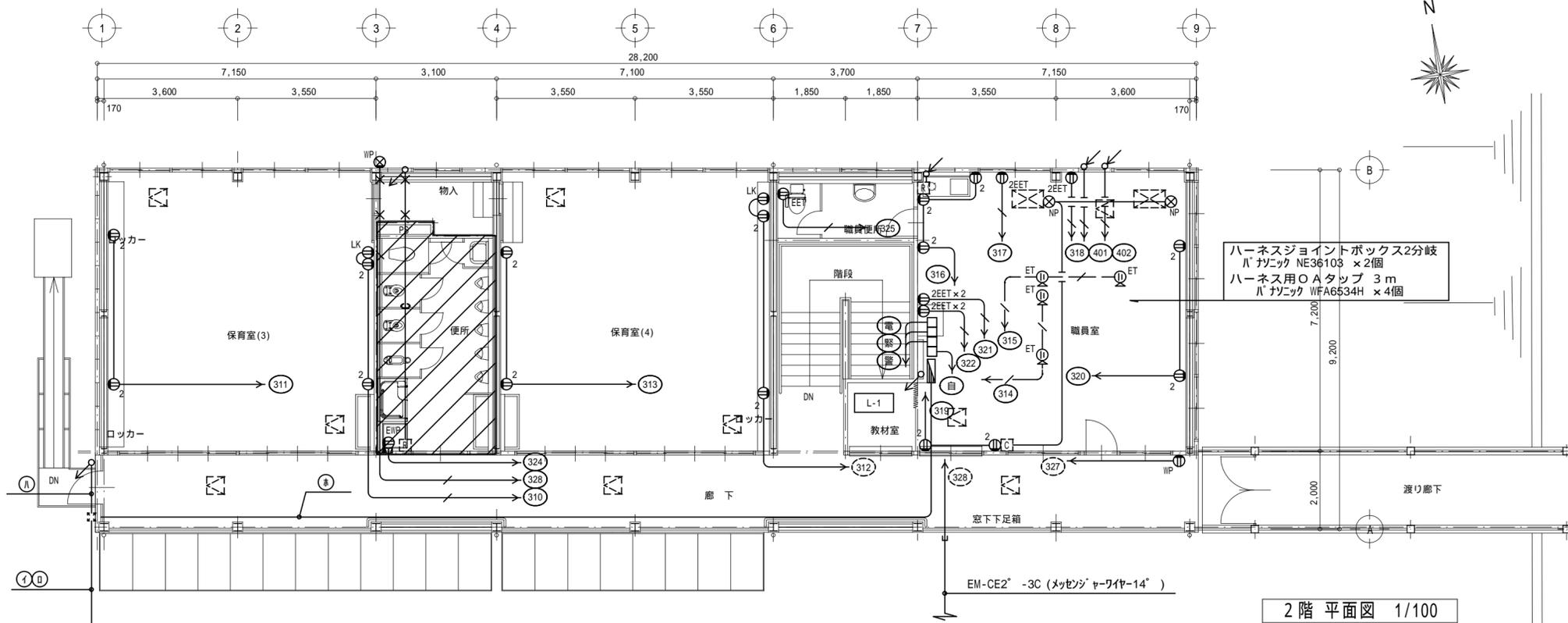
—	EM-EEF 2.0 - 2C	(PF16)
- - -	EM-EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
- / -	EM-EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
- // -	EM-EEF 2.0 - 3C (1E) x 2	(PF22) x 2
—○—	空配管	(PF16)

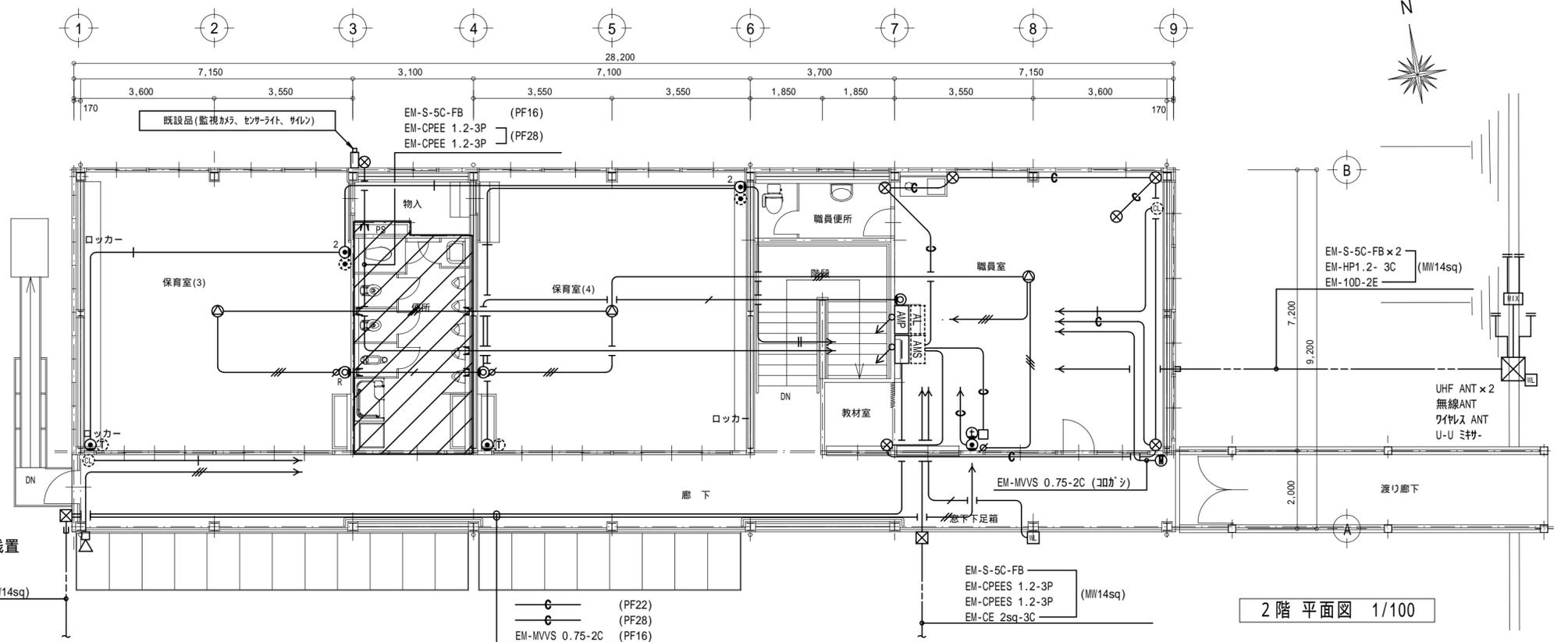
二重天井内はころがし配線とする。

配管・配線

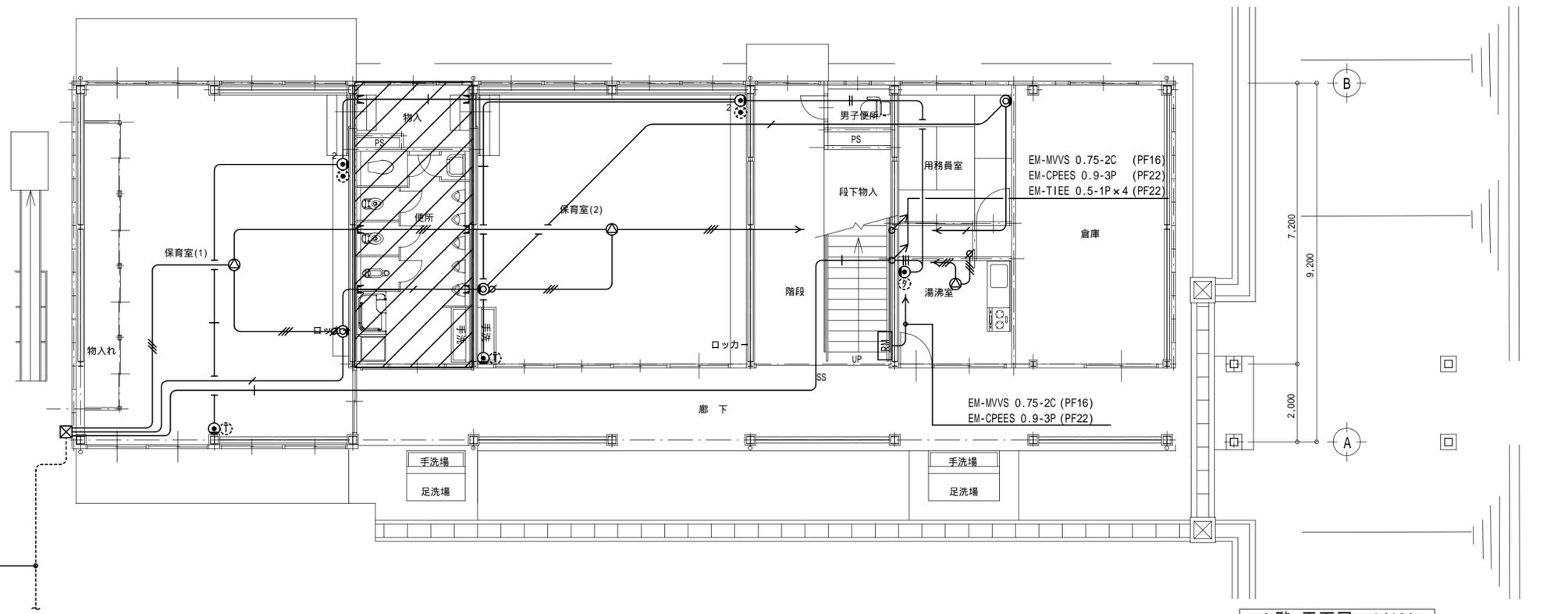
—	天井埋込
- - -	床埋込
- / -	露出
- - -	地中埋設
- - -	ころがし配線

✕ 撤去を表す

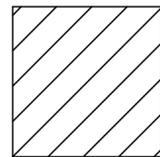




2階平面図 1/100



1階平面図 1/100



撤去改修部分を示す
 範囲内の機器・配管配線は撤去
 ただし工事に支障のないものは監督職員の承認を得て残置

配管・配線

——	天井いんべい
----	床いんべい
----	露出
----	地中埋設

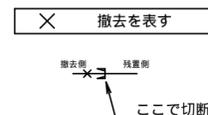
記載なき配管配線は、下記に依る。

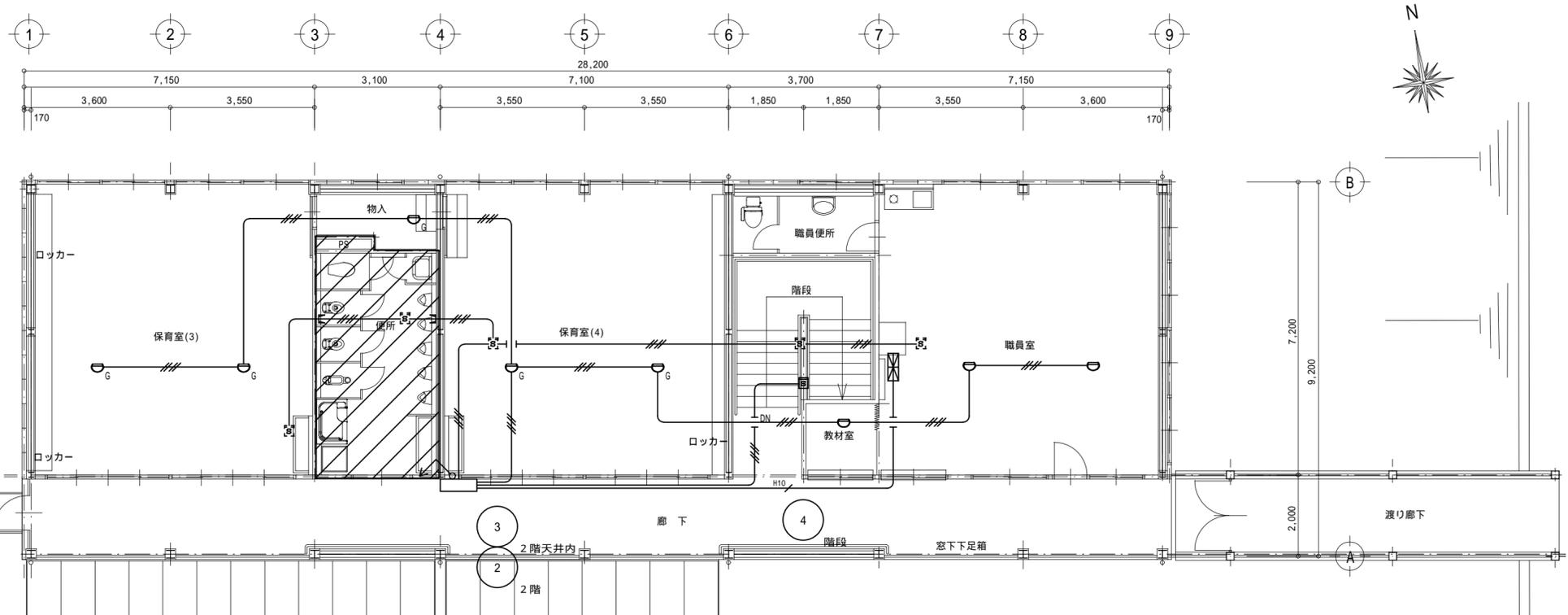
——	EM-S-5C-FB	(PF16)
——	EM-AEO.9-2C	(PF16)
——	EM-HP1.2-3C	(PF16)
——	EM-HP1.2-4C	(PF16)
——	EM-TIEE 0.5-1P	(PF22)
——	EM-TIEE 0.5-1P x 2	(PF22)
——	EM-TIEE 0.5-1P x 3	(PF22)
——	空配管	(PF16)

二重天井内はこしがし配線とする。

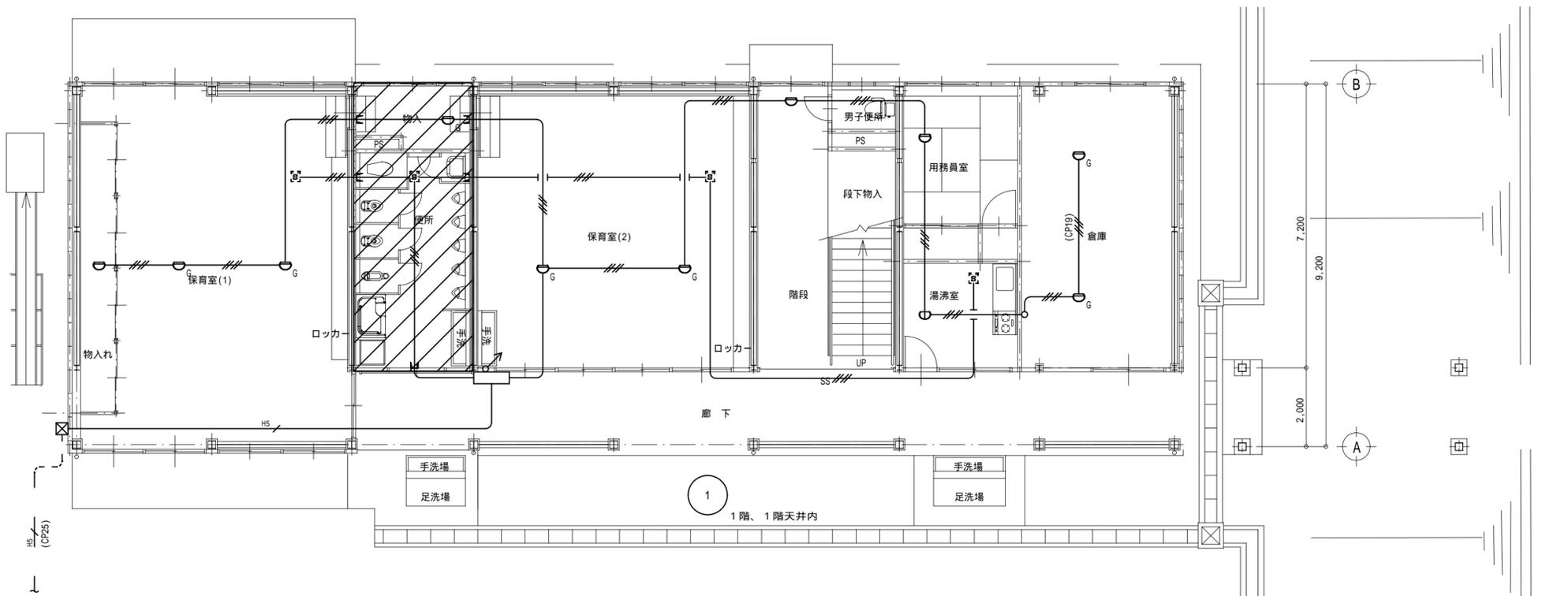
凡例

⊖	弱電用端子盤	
⊙	テレビ用アウトレット	CS-7F-7
⊙R	テレビ用アウトレット	CS-7F-R
⊙	電話用アウトレット	RJ-11
⊙2	"	RJ-11 x 2
⊙T	内線電話機	NTT工事
⊙	非常用押し釦	"
⊙	多機能電話機	"
⊙	コ・ドレスホン	"
AMP	卓上アンプ 60W	
RM	リモートマイク	
⊙	埋込型スピーカー 1W	
⊙	ワイドホンスピーカー	
⊙	音量調整器 埋込	
⊙	マイクジャック受口	
⊙	ワイヤレスアンテナ	
⊙	インタホン	IF-DA(71#)
⊙	ドアホン子機	IF-1A(71#)
AL	防災無線	
⊙	中継ボックス	新金メスプレート

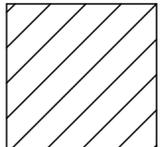




2階平面図 1/100



1階平面図 1/100


 撤去改修部分を示す
 範囲内の機器・配管配線は撤去
 ただし工事に支障のないものは監督職員の承認を得て残置

記載なき配管配線は、下記に依る。

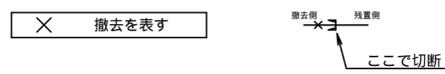
	EM-AE1.2- 2C (PF16)
	EM-AE1.2- 4C (PF16)
	EM-HP1.2- 2C (PF16)
	EM-HP1.2- 7P (PF22)
	EM-HP1.2-10P (PF28)

配管・配線

	天井いんべい
	床いんべい
	露出
	地中埋設

凡例

	自動火災報知受信機 P型2級5回線
	総合盤 縦埋込型 (B) (P) 内蔵
	電鈴 150 DC 24V
	感知器 差動式スポット 2種
	感知器 差動式スポット 2種 カ・ド付
	感知器 定温式スポット 1種 防水
	感知器 光電式 煙 2種
	感知器 光電式 煙 2種 天井内
	中継・分岐ボックス



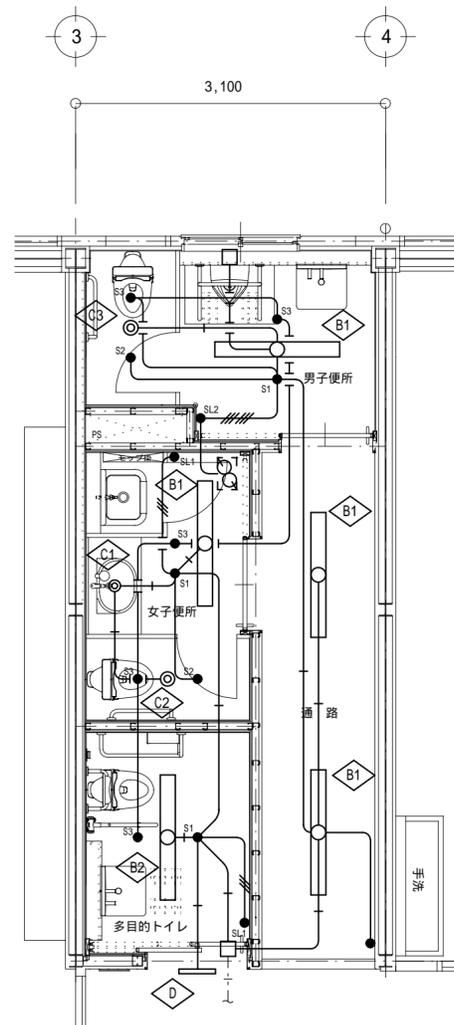
●	壁付スイッチ	1P15A
●3	"	3W15A
●L	"	1P 4A ｼﾞｲｯﾄﾞﾗﾝﾌﾞ付
●K	24H換気スイッチ	(機械設備工事)
●S1	熱感知スイッチ	WTK24818 100V 8A 相当品
●S2	"	WTK29129 子機 "
●S3	"	WTK2933K 換気扇用子機 "
●SL1	操作ユニット	WTA5820WK "
●SL2	"	WTA5822WK "
⊗ NP	新金加'-プレート	
□	ﾌﾞﾗｯｼﾞｯｸｽ 樹脂製 四角中浅	
⊗	壁付換気扇	
⊗	ﾀﾞｲｸﾞﾙ換気扇	

F : 国交省認定区画貫通処理
熱感知スイッチと各機器の配線方法について十分確認を行うこと。

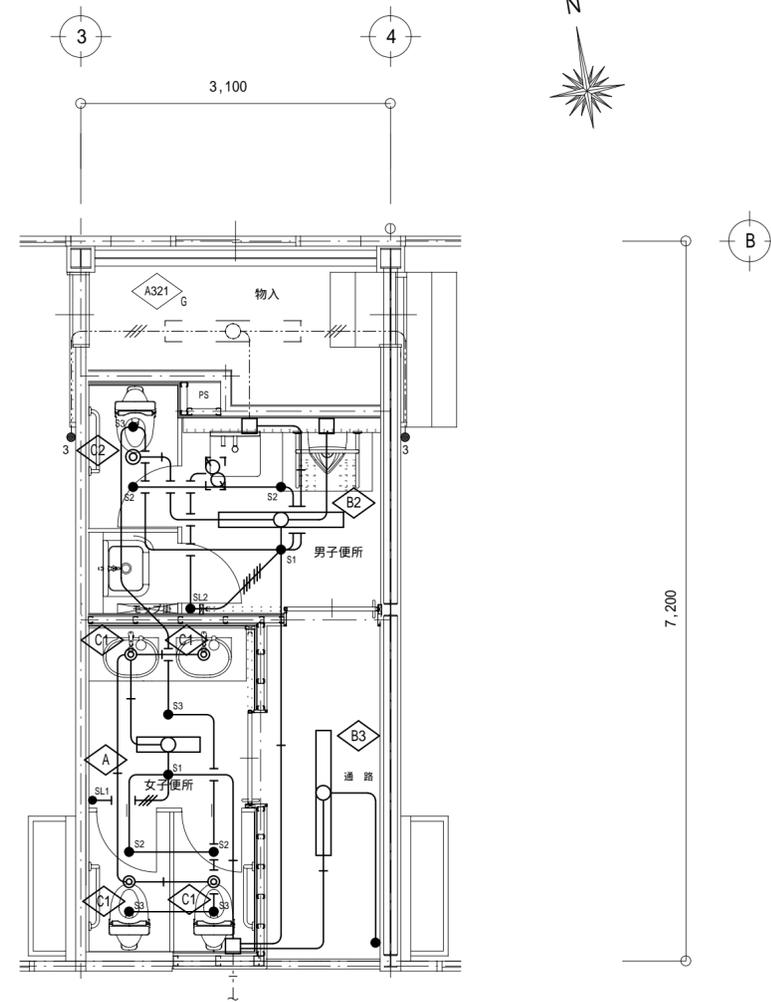
記載なき配管配線は、下記に依る。		
—	EM-EEF 1.6 - 2C	(PF16)
—//	EM-EEF 1.6 - 3C	(PF22)
—//	EM-EEF 1.6 - 2C×2	(PF22)
—//	EM-EEF 1.6 - 3C×2	(PF28)
—+	EM-EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
—C	空配管	(PF16)
二重天井内はこしがし配線とする。		

配管・配線

—	天井埋込
—	床埋込
—	露出
—	地中埋設
—	こしがし配線



1階平面図 1/50



2階平面図 1/50

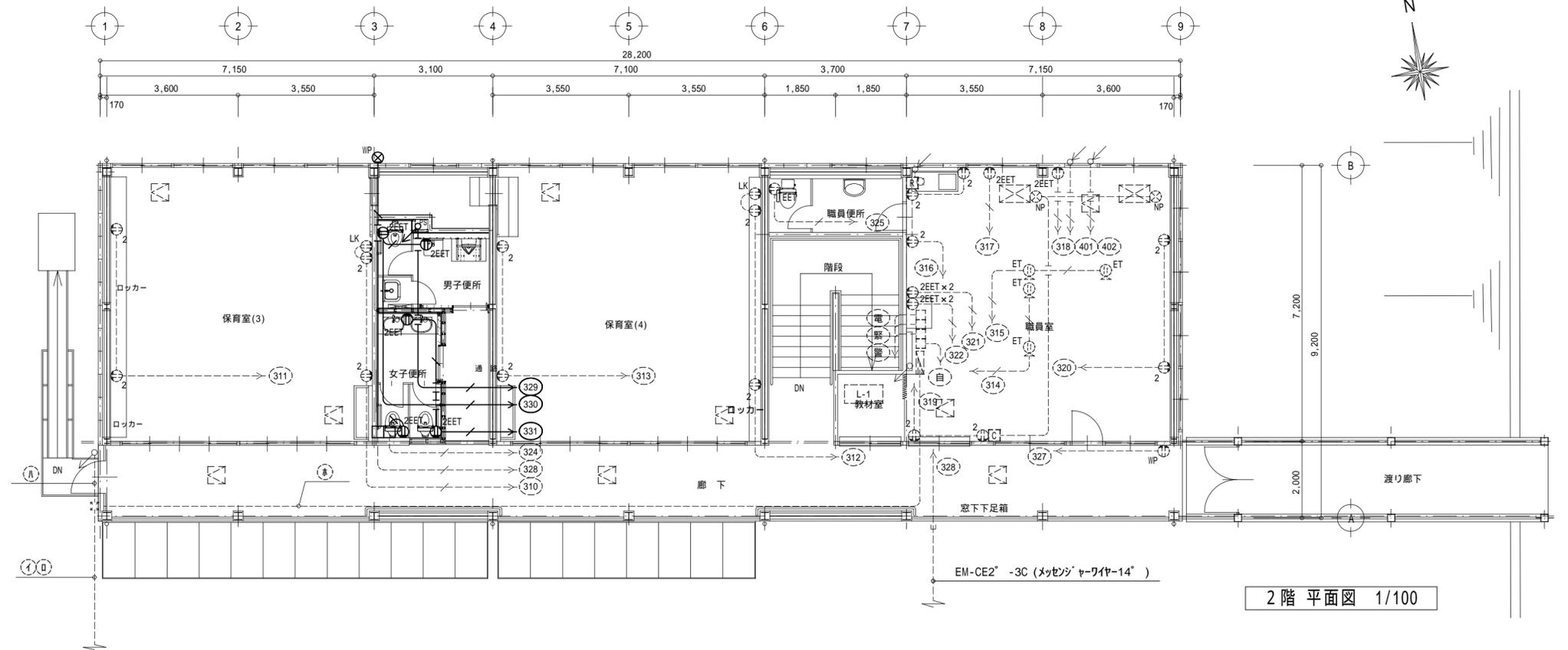
△ A	LSS9-2-15	1600LM LED 11.6W	△ B1	LSS9-4-23	2500LM LED 16.3W	△ C1	LRS1-05	610LM LED 4.2W	△ D	NNF11930 LE1	LED 5.0W
			△ B2	LSS9-4-30	3200LM LED 20.6W	△ C2	LRS1-08	1045LM LED 7.0W		FK11571J	
			△ B3	LSS9-4-37	4000LM LED 25.0W	△ C3	LRS1-13	1695LM LED 11.6W			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">使用中</div>											
消し文字パネル											

①	EM-CE38° -3CE5.5° E5.5° 1 3W	メッセージワイヤ-22'	架空
	EM-CEE2° -4C	LGR	
	EM-AE0.9-2C	イカボン	メッセージワイヤ-14'
②	CET 38°	3 3W	メッセージワイヤ-38°
	CET 38°	3 3W	(GP54)
③	EM-CET38° E5.5° E5.5° 1 3W		二重天井内ころがし
	EM-CEE2° -4C	LGR	

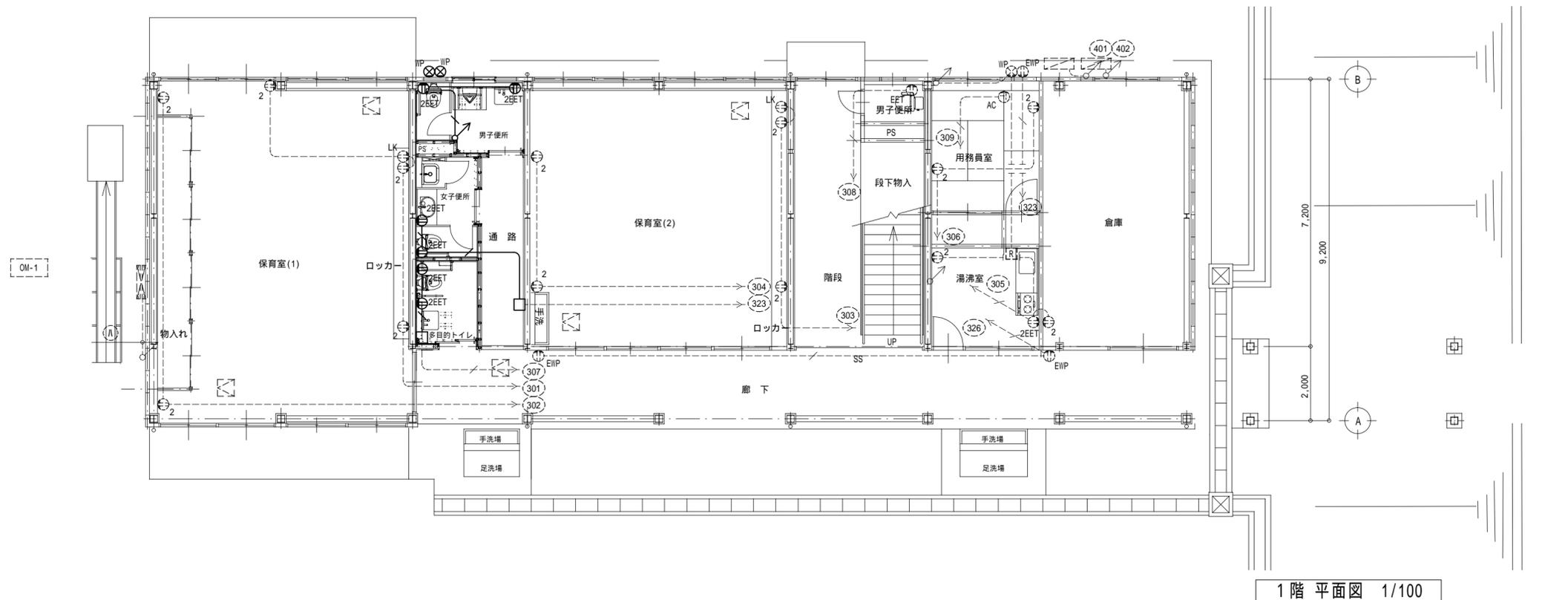
凡例	電灯盤
②	埋込コンセント 2P 15A x 2
①EET	" 2P 15A x 1 接地端子付
②EET	" 2P 15A x 2 接地端子付
①LK	" 2P 15A x 2 抜け止
①ENP	" 2P 15A x 2 接地極付防雨形
①AC	" 2P 15/20A x 1 接地極端子付
①ET	床埋込コンセント 2P 15A x 1 接地端子付
□	アクリルボックス 樹脂製 四角中浅
[R]	給湯器コントローラ 機械設備工事
[C]	空調機コントローラ 機械設備工事
⊗	新金加プレート
⊗WP	防雨入線カバー
F : 国交省認定区画貫通処理	

記載なき配管配線は、下記に依る。		
——	EM-EEF 2.0 - 2C	(PF16)
——	EM-EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
——	EM-EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
——	EM-EEF 2.0 - 3C (1E) x 2	(PF22) x 2
—○—	空配管	(PF16)
二重天井内はころがし配線とする。		

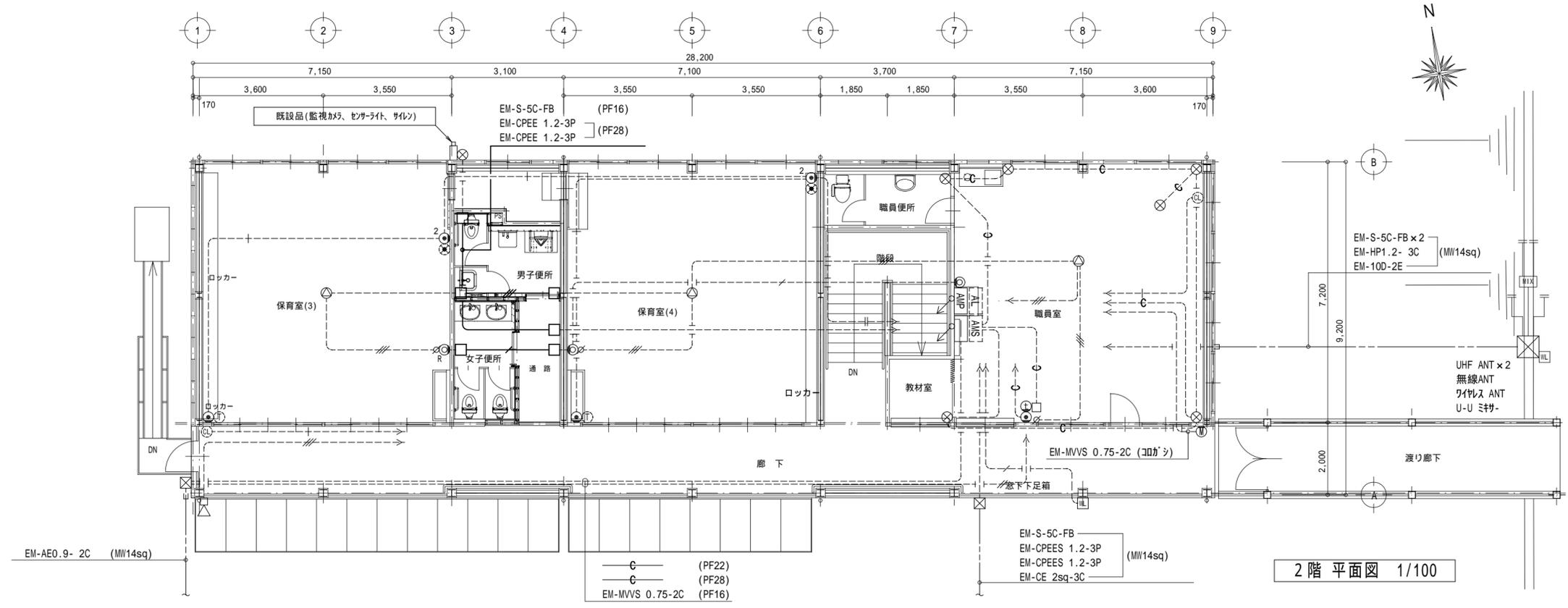
配管・配線	
——	天井埋込
——	床埋込
——	露出
——	地中埋設
——	ころがし配線



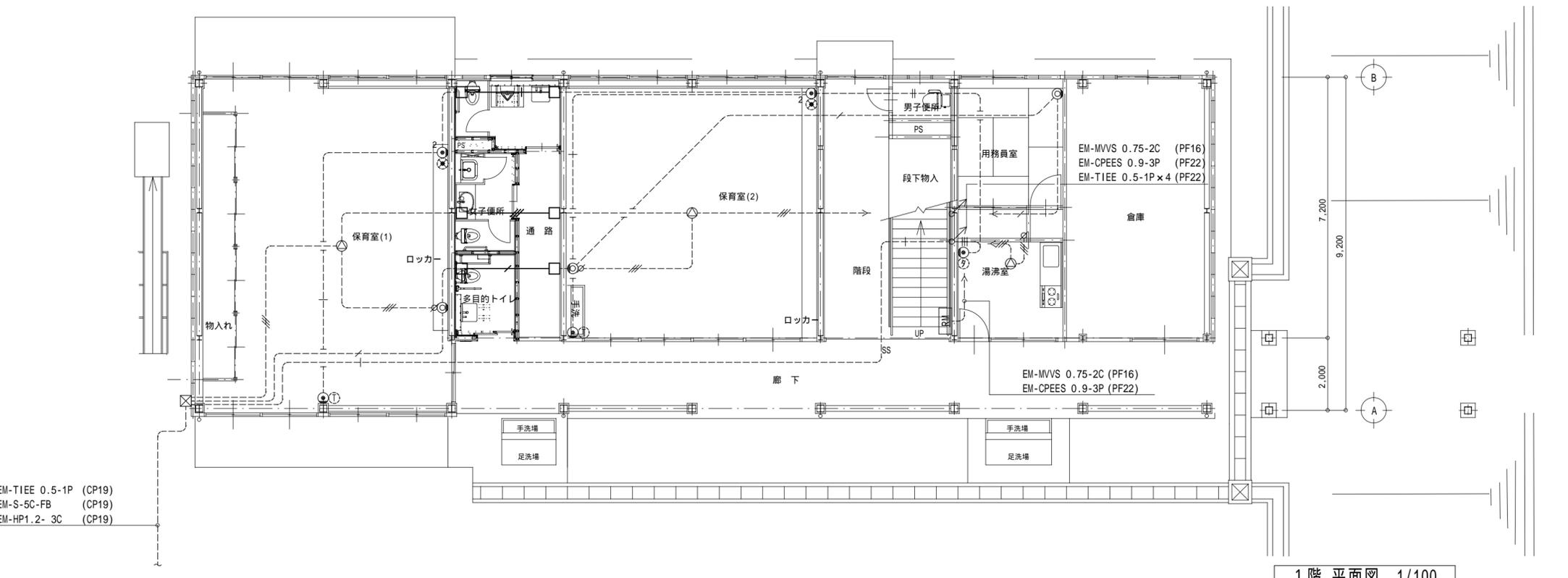
2階平面図 1/100



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



1階平面図 1/100

配管・配線

——	天井いんべい
----	床いんべい
- - - -	露出
.....	地中埋設

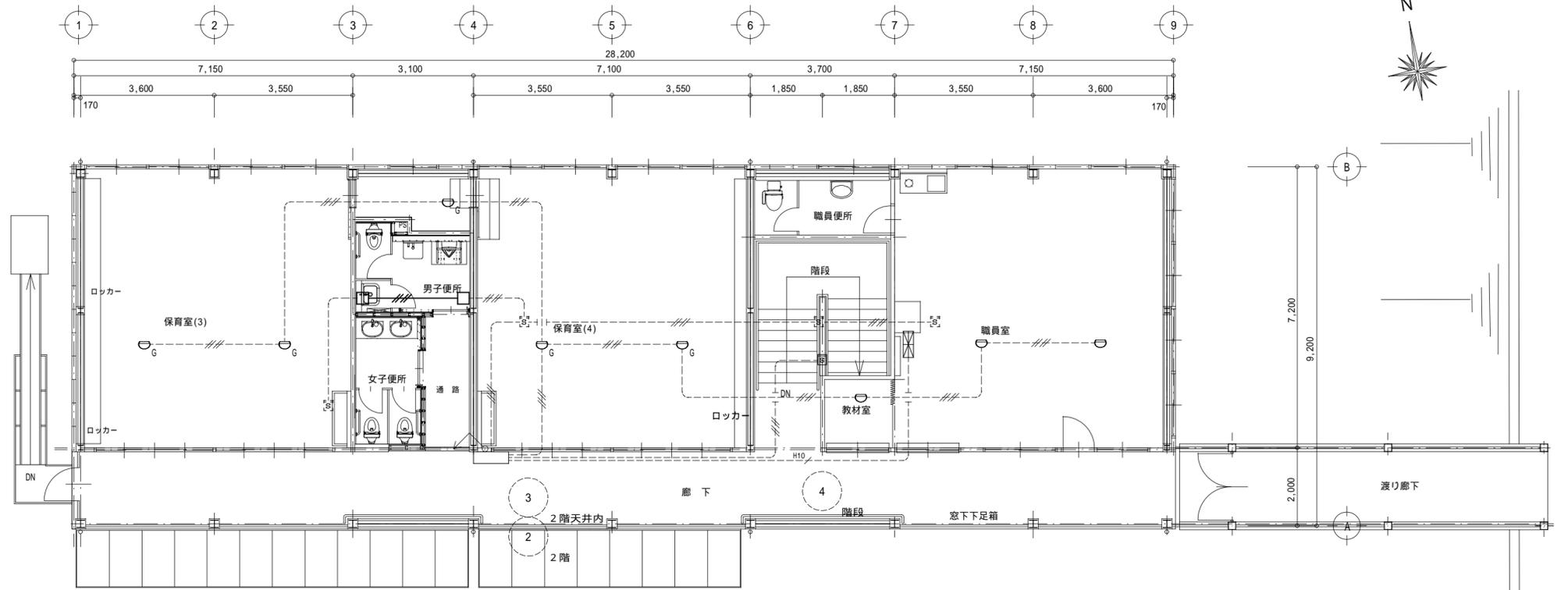
記載なき配管配線は、下記に依る。

——	EM-S-5C-FB	(PF16)
----	EM-AE0.9-2C	(PF16)
----	EM-HP1.2-3C	(PF16)
----	EM-HP1.2-4C	(PF16)
——	EM-TIEE 0.5-1P	(PF22)
——	EM-TIEE 0.5-1P×2	(PF22)
——	EM-TIEE 0.5-1P×3	(PF22)
○	空配管	(PF16)

二重天井内はこがし配線とする。

凡例

□	弱電用端子盤	
○	テレビ用アウトレット	CS-7F-7
○ _R	テレビ用アウトレット	CS-7F-R
○	電話用アウトレット	RJ-11
○ ₂	"	RJ-11×2
⊕	内線電話機	NTT工事
⊗	非常用押し釦	"
⊕	多機能電話機	"
⊗	コ・ドレスホン	"
AMP	卓上アンプ 60W	
RM	リモートマイク	
⊕	埋込型スピーカー 1W	
□	ワイドホンスピーカー	
⊕	音量調整器 埋込	
⊕	マイクジャック受口	
⊕	ワイヤレスアンテナ	
⊕	インタホン	IF-DA(71#)
⊕	ドアホン子機	IF-1A(71#)
AL	防災無線	
⊗	中継ボックス	新金ノズMプレート
□	アウトレットボックス 樹脂製 四角中浅	



2階平面図 1/100

記載なき配管配線は、下記に依る。

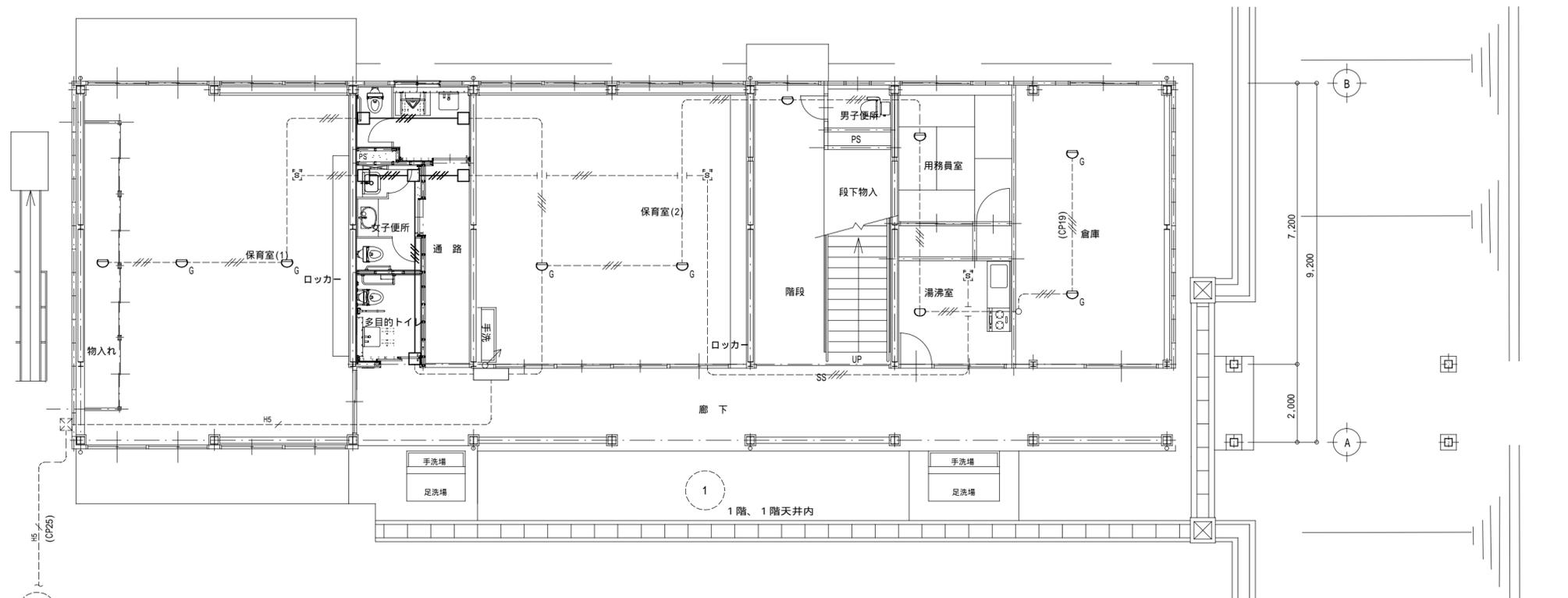
EM-AE1.2-2C (PF16)	EM-AE1.2-4C (PF16)
EM-HP1.2-2C (PF16)	EM-HP1.2-7P (PF22)
EM-HP1.2-10P (PF28)	

配管・配線

天井いんべい	
床いんべい	
露出	
地中埋設	

凡例

自動火災報知受信機 P型2級5回線
総合盤 縦埋込型 (B) (P) 内蔵
電鈴 150 DC 24V
感知器 差動式スポット 2種
感知器 差動式スポット 2種 カ・ド付
感知器 定温式スポット 1種 防水
感知器 光電式 煙 2種
感知器 光電式 煙 2種 天井内
アウトボックス 樹脂製 四角中浅
中継・分岐ボックス



1階平面図 1/100